

守口 のましまし辞典

COLUMN DE MORIGUCHI

Moriguchi

dka:

社団法人 守口青年会議所

すがたも心もきれいな百貨店



Illustration: YOSHIO HAYAKAWA



株式会社京阪百貨店 **KEIHAN**

- 守口店 京阪守口市駅前/電話(06)994-1313代表
- ひらかた店 京阪枚方市駅構内/電話(0720)46-1313代表

はじめに

人を愛するためにはその人のことを深く知ることが大切です。容姿や声だけでなく、その人の考え方や優しさ・強さ・弱さを知れば知るほど愛する気持ちは強く確かなものになります。愛の力は相手をもっと美しく変えていくことでしょう。

同様に、まちを愛するためにはそのまちのことを深く知ることが大切です。ただそのまちに住んでいるだけでなく、そのまちの文化や歴史、そのまちに住む素敵な人達を知れば知るほど愛する気持ちは強く確かなものになります。人々のそのまちを愛する気持ちが、やがてそのまちをもっと素敵なまちへと変えていくことでしょう。

「守口よみやま辞典」は守口市で生活をする人達にこのまちを再発見して頂くために、また、守口市を知らない人達に少しでもこのまちを知って頂くために「自称守口通」達が守口市を紹介した本です。守口市を深く知ることなしに愛着をもつことはできないでしょうし、私達が愛着をもつことなしにこのまちがもっと素敵なま

ちが変わることはないでしょう。守口市に住んでいることを誇らしく思えるようなそんな素敵なまちにしたいと考えている社団法人守口青年会議所の思いが「守口よもやま辞典」を誕生させました。

この「守口よもやま辞典」の特徴は、歴史・文化・経済など、守口市の様々な情報を全て五十音順に紹介していることと、ひとつの情報に完結したひとつのコラムという読み切り形式をとっていることです。全編を通じて素人で拙い文ながら強く守口市を愛する人達が、皆さんに肩肘張らずに楽しみながら読んで頂ける「守口の入門書」を目指して書き上げました。

ひとつの情報にひとつのコラム。最初のページから読むもよし、目次を見て興味のある情報から読むもよし。通勤途中の電車や夜寝る前に、またはトイレで。気軽に雑誌を読むような感覚で楽しんで下さい。巻末に「守口豆辞典」を載せています。合わせてお楽しみ下さい。この本を通じて一人でも多くの方が守口市によりいつその興味と愛着を持って下さればこんなに嬉しいことはありません。

はじめに……………2

あ行……………9

池乃めだか 池乃めだかがやってきた（篠原拓男）

魚万楼 聞いてよ!!我が家の桐の木のいわれ（岡村晃明）

エアポートリムジンバス 憧れのエアポートリムジンバス（満潮功）

江戸川乱歩 名探偵明智小五郎は守口生まれ（岡崎隆彦）

エフエムもりぐち 守口にHANAKOあり（清水英男）

大枝公園 桜の樹の下に棲む魔物（辻本卓郎）

大塩平八郎 大塩平八郎と白井家（平山龍一）

か行……………25

門真市 守口と門真 どっちがどっち？（末松広之）

門真試験場 怪談「試験場の手招き」（清水英男）

カナディアンスクエア モニュメントのある町（佐藤裕己）

関西医科大学付属病院 関西医大と松下記念病院（佐藤裕己）

喜左衛門 伝・義農両衛門（辻本卓郎）

木崎正隆 木崎家 守口の華麗な一族(岡崎隆彦)
京阪池 今は昔 大枝公園は京阪池(末松広之)
京阪電車 土居駅と滝井駅なせ近い(篠原拓男)
京阪電車 我が心の京阪電車(水谷治人)
京阪百貨店 サンドル履いて京阪百貨店へ(佐藤裕己)
剣晃 ご当地力士(辻本卓郎)
光明寺 十一面観音立像(西端良弘)
国際交流センター 教えたらか守口(高見順子)
国際花と緑の博覧会 下町の国際交流(中島淳)
ゴミ ゴミに未来はあるか!!(辻本卓郎)

さ行……………

59

咲くやこの花館 バニラの木(満潮功)
三洋電機 「三洋」へはばたく夢(岡崎隆彦)
七福の湯 風呂屋へ行こうよ(中島淳)
四国銀行 四国銀行が守口にある理由(水谷治人)
司馬遼太郎 無名時代の司馬遼太郎氏(岡崎隆彦)
市民プール 秘密の思い出(篠原拓男)

盛泉寺 除夜の鐘を二一六回聴ける場所（水谷治人）
水都祭 復興のシンボル（佐藤裕己）
水道局 八雲のおいしい水（寺崎正也）
千林商店街 私のお薦め千ぶらコース（嶋村ひとみ）

た行……………83

辰吉丈一郎 ボクサー・ジヨー（奥山享司）

地下鉄谷町線 地下鉄の謎（寺崎正也）

通過都市 交通の便利さ（奥山享司）

鶴見緑地公園 或る日曜日（岡田善雄）

鶴見緑地公園 鶴見緑地の地下はゴミ（寺崎正也）

寺方提灯踊り 伝統芸能ここにあり（岡崎隆彦）

東海道五十七次守口宿 ご存じですか守口の歴史（江端豊和）

東洋紡パレーボール部 君は大林を見たか（岡田善雄）

鳥飼大橋 全国初の有料橋（児玉慶典）

土居商店街 土居商店街をぶらり（篠原拓男）

難宗寺 いちよの葉の絨毯（水谷治人）
西三荘ゆとり道 私のポリシー（赤塚康彦）
ピバ守口 ガンバレ!! 守口スポーツプラザ（榎原健三）
文禄堤 文禄堤散策記（吉川巧二）
プリンスホテル 天下無敵のプリンスホテル（寺崎正也）

松下幸之助 松下電器歴史館は入場無料（水谷治人）
松下電器産業 松下探検隊（古野孝史）
妙楽寺 守口にある大阪府天然記念物（児玉慶典）
ムーブ21 プラネタリウム体験記（奥山享司）
モノレール 摂津は燃えている（清水英男）
守居神社 露店と神楽（江端将哲）
守口市 守口は昔森口だった？（水谷治人）
守口市 村の境界にある家（篠原拓男）

守口市 面白守口市 (辻本卓郎)

守口市歌 守口市歌紹介 (辻本卓郎)

守口青年会議所 魅力あるまちであるために (神原由次)

守口大根 華麗な細足、守口大根 (村田憲勇)

や・ら・わ行……………151

有名人 守口の有名人一挙公開 (水谷治人)

淀川 三十石船から京阪電車へ (水谷治人)

来迎寺 幽霊の足跡は男性か女性か (土川純子)

蓮根 花も実もある蓮根 (江端豊和)

渡し船 懐かしの渡し船 (児玉慶典)

わんど 自然の宝庫 (津田勝之)

守口豆辞典……………165

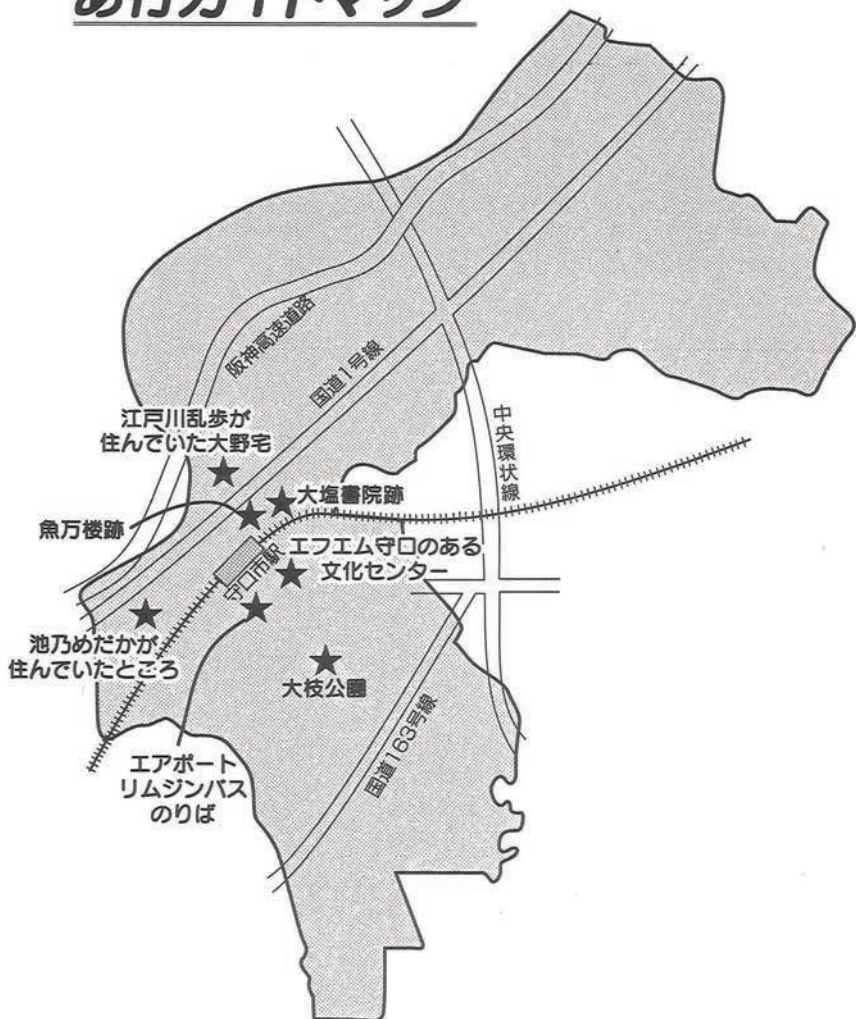
おわりに……………185

あ

行



あ行ガイドマップ



い

池乃めだか

昭和一八年（一九四三年）七月三日生まれ。言わずと知れた吉本新喜劇のタレント。猫マネやカニバサミなどのギャグはお笑いのメッカ大阪でも超一流。守口市出身でかつては三洋電機にも勤めていた。

池乃めだかがやってきた

池乃めだかがやってきた。浜村淳と奇麗なおねえちゃんとテレビカメラと沢山の野次馬を引き連れて。しかも私の勤める会社へ。何かがやってくるとは叔父である社長から聞いていたが、まさかこんなに大層なことになるとは思ってもいなかった。池乃めだかと叔父は小学校の同級生。生まれ育った土居のまちを訪問するという関西テレビの企画であった。土居に住んでいたが引越してしまったので、同級生で地元に残っている叔父を訪ねて私の勤める会社に来てきたのだ。

タレントは普段は偉そうにしているという話をよく耳にする。池乃めだかは記念写真を撮る時も穏やかで、腰が低い人でした。

（背も確かに目茶苦茶低かったが……）

吉本興業での苦勞話をもつと沢山聞きたかったが、忙しそうだったのであまり聞けなかったのが残念であった。後日、叔父はテレビによく映っていたが、私はどこにも映っていなかった。テレビのフレームの外側に野次馬と一緒に私はいた。

（篠原拓男）

う

魚万楼

飯盛女（めしもりおんな）、いわゆる遊女がいたことで知られる旅館。その跡地は現在MIDピルの駐車場となっている。

聞いてよ!!我が家の桐の木のいわれ

文祿堤の京都寄りに位置する私の実家の庭に大きな「桐の木」が昔からある。毎年、春になるとその大きな「桐の木」に薄紫色の花がいつぱいに咲くのだ。国道一号线を京都から来たら、守口警察署の手前のマクドナルドを左に曲がったところの石垣の上だね。その「桐の木」の下でいつもシートベルト着用の取り締まりを守り警察がやっているの、捕まったことのある人はすぐわかる場所だよ。

その桐の花が満開に咲く頃、朝になると道路にその美しい薄紫色の花がいつぱい落ちる。母は、毎朝その庭先を掃除するのだが、聞くとその桐の花を遠くから見に來たり、また、落ちた花を早朝から拾い集めに來る人もいるとか。知る人ぞ知る「桐の木」というわけである。

そんな我が家の「桐の木」、実は昔、守口が宿場町だった頃にあった旅館「魚万楼」の名残の一つと言えるのである。つまり、その「桐の木」の横にそびえ立つMIDビルは、元々「魚万楼」のあったところであり、MIDビルが建つ前には長年養生堀で囲



MIDビルの横にある大きな桐の木

まれて草むらのまま置かれてありました。三十年以上前の私の小学生の頃の記憶では、草むらの中に庭園灯籠も残っていたし、池跡らしきところも残っていました。そんな「魚万楼」の中にあつたと思われる我が家の「桐の木」は私達よりずっと昔から守口のまちを、また、そこを行き交うたくさんの人々を見続けているわけである。そう考えると我が家の「桐の木」に言つてやりたい。「毎年、綺麗な花をいっぱい咲かせてくれてありがとう。長生きしてや!!」と。

是非、来春五月始めに「桐の木」見物にどうぞお越し下さい。

(岡村晃明)

え

エアポートリムジンバス

平成六年（一九九四年）九月四日、関西国際空港開港に伴って京阪守口市駅と関西空港の間をノンストップで京阪バスと関西空港交通が共同で運行開始。所要時間は約八十分。現在一日十四往復運行。料金は大人一六〇〇円、子供八〇〇円。

憧れのエアポートリムジンバス

一九九四年、関西国際空港開港に伴い、わが守口市に登場した「エアポートリムジンバス」。現在京阪守口市駅前より一日十四便（土、日は十五便）運行されており。ますます盛んになる海外旅行ブームの中、すでに利用された方も多いと思います。

現在大阪では、わが守口市・大阪駅前・上本町・大阪南港・難波・京橋OBP等から運行中です。京阪守口市駅前から約八十分。重い荷物を転がす必要もなく、煩わしい乗り換えもなく、一直線に関空の玄関まで運んでくれます。

私も十一月に新婚旅行で利用させて頂きましたが、とても楽で快適でした。しかし、その後はなかなか利用する機会がありません。仕事中に京阪守口市駅前を通りますが、スーツケースを転がして旅行に向かう人をよく見かけます。「ええなあ、どこいくんやろ」と思うことがあります。

私が次に、この「エアポートリムジンバス」に乗って海外旅行に行く予定は、今のところありません……。

（満潮功）



江戸川乱歩

探偵小説作家。明治二十七年（一八九四年）一〇月二日生。本名、平井太郎。日本における創作探偵推理小説の基礎を確立した。主な書物は「陰獣」「人間椅子」「蜘蛛男」「黄金仮面」などがある。昭和二年（一九四七年）探偵作家クラブ初代会長に就任。昭和九年（一九五四）年、遺囑祝賀会の席上「江戸川乱歩賞」を制定。昭和三八年（一九六三年）探偵作家クラブを改組して、社団法人日本推理作家協会が設立され初代理事長になった。昭和三七年（一九六二年）には紫綬褒章受章。昭和四〇年（一九六五年）没。

名探偵明智小五郎は守口生まれ

推理小説の大家「江戸川乱歩」の映画として「RAMPO」が上映されて話題となり、現在アメリカでも邦画としては最大規模で上映されていますが、「江戸川乱歩」が若いころ守口に住んでいたことはご存じですか。

乱歩は、大正一三年（一九二四年）に守口の八島町に転居して、書齋付住居建物に一時住んでおり、初期の乱歩の名作がその書齋で書かれました。その内の一作である「D坂の殺人事件」には初めて素人探偵「明智小五郎」が登場しています。その意味では守口は明智小五郎が誕生した地です。この建物は守口市河原町在住の医師大野正先生が現在所有されていますが、現在大野先生は自分が生まれ育った家であるということによる思い入れから独力で乱歩の資料館として保存されています。中を見せていただきます。また、「明智小五郎」が生まれた書齋も当時のままです。

この小説の中では守口市の京阪電鉄の柵がトリックのヒントになったと言われています。一度読んでみられたらいかがですか。

(岡崎隆彦)



エフエムもりぐち

平成五年（一九九三年）七月二〇日に開局した第三セクターでは全国初のコミュニティ放送局。市民情報局を目指し市民参加型の番組が多数ある。また、阪神大震災時には市内の災害情報をいち早く独自に提供するなど災害時の防災放送局として一段の充実を進めている。平成七年（一九九五年）四月一七日からは出力を二ワットから一〇ワットに増強。所在地は京阪守口市駅前守口文化センター内。周波数八二・四メガヘルツ。

守口JHANA KORO

おらがまちの放送局FMもりぐち（愛称HANA KORO）が、平成五年七月より放送をスタートするという話はわりと前から耳にしており、市民にも番組参加を呼びかけているということで、守口を本拠地に「JACK IN THE BOX」と名乗って音楽制作活動（CDアルバム二枚好評発売中です。また、CM・社歌・イメージソング制作承ります。宣伝でした）をしている我々としてはぜひお近づきになりたいと思っていました。

ご縁があつて我々のリーダーがHANA KOROの田中本部長さんに、番組の中で我々のCDを流して欲しいとお願いする機会に恵まれました。すると本部長さんは「流して欲しいなんか言わんでも、自分らで番組やつたらええやんか」との驚きのお答え。その後はトントン拍子に話が進み、毎週土曜日に二時間の音楽番組を内容もすべて我々にお任せという破格の条件で担当させて頂けるという予想外の展開になりました。タイトルもズバリ「JACK IN THE BOX」。平成六年四月に終了しましたが、毎週一人のアーティストにスポットを当てて曲紹介だけでなくその人



文化センター地下にある録音スタジオで

物像・音楽性を深く掘り下げるメインのコーナー、またメンバー自ら自慢の腕を披露するスタジオライブ、数あるヒット曲のパクリを厳しく暴露するコーナー等バラエティに富んだ内容だったと自負しております。

ごく普通の感性（出たがり・メテア大好き）を持つ番組メンバー全員電波に自分達が主役として乗るという事実にときめきを感じ、スタートに向けて大変張り切っております。

ところが……。ここでの話題は既に解決済みの問題で今や完全に昔話になっています。

その一：試験放送が始まりましたので、職場でラジオをつけてみました。「サーッ……」。勤め先は京阪守口駅前のビルの四階角部屋です。アンテナの向きを変えてみても、「サーッ……」。良く聴こえません。窓を開けてアンテナが外に出るようにしました。やっと何かの音楽が聴こえました。一言、「雨の日は聴けん……」

当初コミュニティ放送局の出力は法律で上限が決まっており、場所によつては同じようなことがあつたそうです。番組メンバーの一人にこの話をすると、「僕、大阪城公園の横で車停めてた時



生放送をガラス越しに見る

に聴いたけどちゃんと聴こえてましたよ」とぬかしてくれました。守口の下真ん中は大阪城公園でサボっている営業マンのカーラジオに敗れました。「許せん!!」

その後平成七年四月に法律改正による出力の大幅アップがありこの問題は多いに改善されました。めでたし。

その二：番組開始前にリハーサルがあり、初めてHANAKOを訪れる日が出てきました。メンバーのほとんどにとつて初めての放送局であり、少々華やいだ気分を楽しんでいました。一号线から二度三度道を曲がり随分細い車一台がやっと通れる道に入りました。(後日あるメンバーは左のミラーを電柱にこすつてしまいました、今もその跡が残っています)そして右前方に「ちかんに注意」の看板が!!と思つたら、それはとつても地味なHANAKOの目印看板でした。そこを右折した前方に見えた建物が集会所だった外観そのままのHANAKO様でした。中に入ると一階は応接室、トイレも含めてレトロまで行かない中途半端な古さをたたえ、二階のスタジオにたどり着くまではまるで寂れた観光地の案内事務所にいるようで、先程までの華やいだ気分はどこへやら

一同地味な気分になってしまいました。「何かちやうで……」

それこそ日本各地の自治体より注目の的であり、広く市民の参加を呼びかけているHANA KOが、訪れる人を地味な気分になせたらあかんのでは？と、諸事情は無視して思ったわけです。似た時期に開局した函館や葉山のFM局等に比べて守口というところはネームバリューもわかりやすい特徴や売りも無いところでしょうから余計その印象が強かったのですが。何も金田町自体が悪いところだと言っているわけではありませんが、FM局の場所には向いていないことは確かです。訪れた人が「また来たいな」と思えるようなそんなHANA KOであって欲しかったので。

また番組開始後のある日私は、車で来ていたメンバーが用事で先に帰った為に守口駅前の勤め先まで自力で帰る羽目になり、京阪門真市駅まで歩いたことがあります。その独りぼつちの長い道のりがわりと悲しかったです。「自転車落ちてないかな……」

平成七年三月に京阪百貨店横の文化センターに移転し、随分印象が良くなりました。訪れる人はもちろん、何よりそこで働いておられる方の気分もかなり違うのではないかと勝手に思っています。近くに人が集まっている場所であり、ちよつと寄って行くこ



ゲストで出演中の円広志

とができるHANAKOになりました。めでたしめでたし。

ところでHANAKOにはいろんな独自の番組もありそれぞれ楽しめますが、私が一番好きなのはローカル色豊かな数々のCMです。中でも「焼肉のやっさん」は大いに笑かしてもらいましたし、小学校の給食に出ていた「京阪牛乳」の昭和四十年代を思わせるCMソングには涙を誘われます。他にも色々オモロイのがありますのでお気に入りを見つけてください。大変嬉しいことが作曲？させて頂いたCMソングもいくつか流れています。

このようにHANAKOは地域住民に門戸を開放しています。ほんとにちよつとのそいてみてはいかがですか？優しいお兄さんお姉さん方が迎えてくれるはずですよ。誰もが持つてる「出たがり精神」を満たしてくれる貴重な場。それがFM HANAKO。個人的にHANAKOには人々にとつての「祭り・縁日」の様な存在であつて欲しいと思います。あの老若男女、マジメも不良も一緒にたに包み込んでいる「晴れの場」に。

(清水英男)

お

大枝公園

市民球場や青少年センター・テニスコート・市民プールなどの施設のある市民の憩いの場。春は桜の名所として賑わう。

桃町緑道……地下鉄守口市駅から北西に伸びる約二五〇メートルの散歩道。約五十本の桜の樹が春の明るさを届けてくれる。その美しさは「大阪府みどりの百選」にも選ばれた。そのまま足を伸ばせば淀川河川公園に。

桜の樹の下に棲む魔物

「花」といえば桜の花をさすほど日本人は古来より桜の花を愛でてきました。三月から四月にかけて咲き誇る桜の花は、それは美しく、まさの花の王のごとく堂々たる荘厳さで私たちを魅了します。また、その花びらは塩漬にされて婚礼などのおめでたい席で桜湯として用い、葉っぱは桜餅に、樹皮は咳止薬に使用されるなど、人々の生活の中にまで深くかかわっています。桜の華々しさからサクラガイ、サクラエビ、サクラダイなど独特の呼称を用いて参りました。

守口市にも桜の名所がございます。桃町緑道・下島公園など幾箇所ありますが、本数もさることながら見事な枝ぶりの桜が咲く名所といえば何と言つても大枝公園をおいて他は無いでしょう。

(異論はあるでしょうか……)

その大枝公園も桜のシーズンともなると昼夜わかつた多くの老若男女が桜の樹の下に集い、そこかしこで桜の花をたてまつるための宴を催しています。

お花見です。



大枝公園入口

私は朝、公園の横にある整備された舗道を通ると、垣根越しに宴の残骸を発見します。それを見ると前夜の盛り上がり方が容易に空想できます。人々は気の合う仲間と酒を酌み交わして浮き世の憂さを晴らし、時のたつのを忘れるまで痛飲するのでしょう。

例えば、このように。木に耿々とランプを吊し昼間のように明るくし、約十名が車座になっております。かなりの酒量なのでしようか、ほうほうにビールの空缶やお酒の瓶が散乱しております。突然、男が立ち上がりつて踊りを始めました。変な手つきと腰つきに加えてリズム感を無視した足の動き。恐らく彼は無意識のうちに踊っているに違いありません、桜の精霊によつて操り人形のようにな動かされているのでしょうか。一夜明けても彼は踊りについて全く覚えはないし、相席した人から事のいきさつを聞いても信じないでしょう。彼は言う。「桜の樹の下に棲む魔物に踊らされたんだ」と。公園の横を通るたびに私はこの様に空想します。

桜の花は太古より私たちを見続けております。来年も、さらにその先も人々は連綿とこの様な光景を飽くことなく繰り返すでしょうが、桜の樹は私達を許してくれるでしょう。なぜなら、我々が愛してやまない桜の樹ですから。

(辻本卓郎)

お

大塩平八郎

天保八年（一八三七年）大坂騒動（大塩平八郎の乱）を率いた大坂東町奉行所の町与力。家塾の洗心洞で多くの子弟を講学していた。彼は天保の飢饉に苦しむ農民達を組織し幕府に対して挙兵した。守口ゆかりの白井孝右衛門は彼に経済援助し挙兵に協力した。

問屋場：…宿場の人馬の継立（宿場に着くたびに備えてある馬に乗り換えたり、人夫を新たに雇うことなどをいう）などの事務を行ったところ。

大塩平八郎と白井家

龍田通は昔は守口宿の中心で、現在の日通の建物のあるところに大名や幕府の役人が泊まる本陣があり、その斜め向かいの吉田さんのところが問屋場でした。八島交差点のところが高札場で立札が六枚あり、その前に白井家がありました。また、白井家の隠居所で大塩平八郎がここで守口近郷の農民達に講義をしたところとして知られているのが大塩書院です。

大塩平八郎は大坂（当時は「大阪」ではありません）の東町奉行所の与力（よりき、奉行について同心を指揮し奉行を助ける職）で、江戸時代の有名な陽明学の学者としても知られています。腐敗した幕府や商人を糾弾して天保八年（一八三七年）に大坂で反乱の挙兵をしたことでも有名です。反乱自体はすぐに鎮圧されましたが、幕府に大きな衝撃を与え幕府瓦解の動きを早めたとも言われています。

白井家の主人、孝右衛門は文政八年（一八二五年）に平八郎の門下となった熱心な門弟で、大学頭林家の財政援助や洗心洞（平八郎の学塾）の賄い等、また挙兵に際しては多くの農民を動員し



龍田通にある白井邸

ました。また、息子の彦右衛門を幼時より入門させ、内弟子として寄宿させるほどでした。

白井家は当主が代々彦右衛門を名乗っていました。この時彦右衛門はすでに隠居して息子が彦右衛門を名乗っていました。また、享保の頃（一七二〇年頃）より古手屋を営み、当時は古手屋彦右衛門と名乗り、天明の頃（一七八〇年頃）になって白井彦右衛門と名乗っています。彦右衛門の頃は身分は百姓であつて、古手屋と質屋を営んでいました。そして、その居宅は定紋付きの総瓦葺で土蔵もあり小門のような木戸を構えた大邸宅で、宅地内には溜池もあり市場町の片側をほとんど占めていたと言われていました。

現在の白井家は当時の漬け物小屋を改造したものとされています。白井家の松の木を切つて大砲を二挺作っており、明治末までその枯れた株があつて直径約六尺（約一・八メートル）あつたそうです。

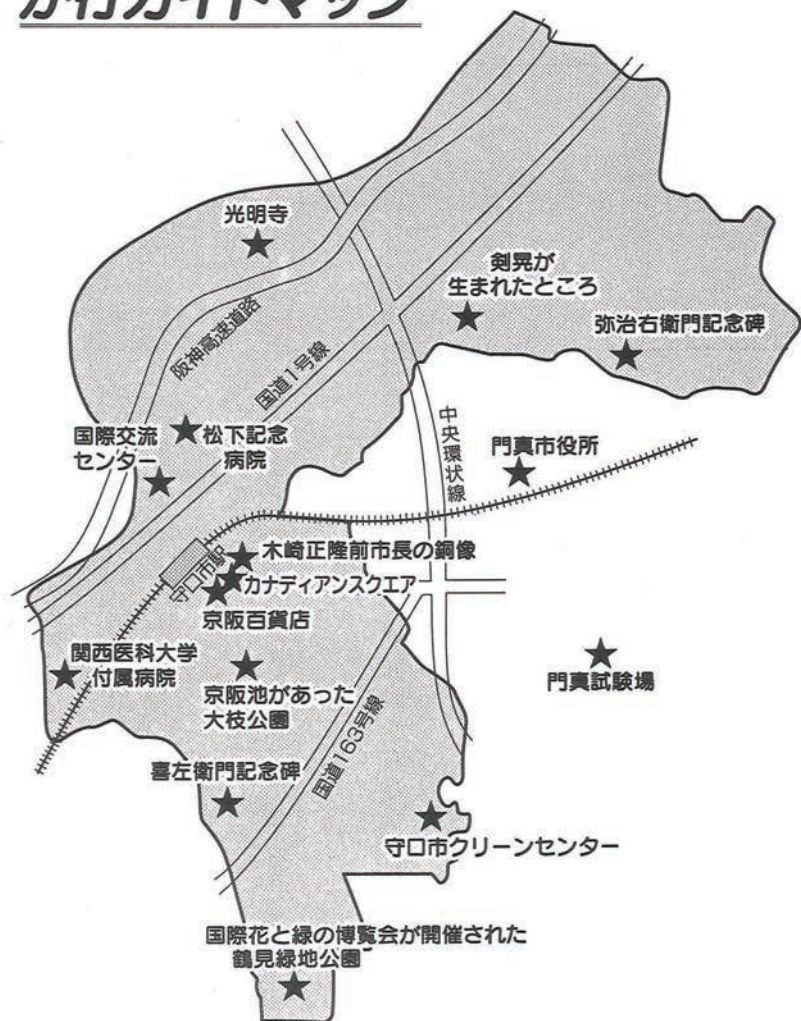
（平山龍一）

加

行



か行ガイドマップ



か

門真市

昭和三八年（一九六三年）八月一日、全国で五五六番目の都市として市制施行。大阪府の北東部に位置し、東西四・九キロメートル、南北四・三キロメートル、面積は一・二九平方キロメートル。かつて河内蓮根の特産地として知られたが、高度成長期以降、急激な宅地開発により住宅産業界都市へと移行した。

守口市と門真 どっちがどっち?

守口市と門真市を比較するのは、大変難しいと私は思う。

何故なら私は大阪市旭区で生まれ、現在門真市に住んでいるので、京阪沿線の景観を見慣れたせいかも知れないが、守口市と門真市は非常に似通った同じような町だと思っているからである。

この二つの町は面積、人口とも同じ水準であるし、いずれも松下電器産業、三洋電機を中心にその下請けの関連企業などが多く、また、昭和三十年代にはこれらの企業に働く人のための住宅が無秩序に建築されたため、一步大通りを外れると迷路のような街路になってしまっているところもよく似ている。

お互いに全国的に有名な史跡名勝もなければ、特産物もない。端から見れば境界線も入り組んでどっちがどっちか判らない。地図を見てくると字型が守口市、丸いのが門真だとわかる程度である。しかし、年の近い兄弟がよくケンカするのと同様、似た者同士しかも隣同士、何かにつけて張り合いたくなるものである。

かつて門真市駅前（当時は新門真駅）に大きなスーパーができ、た頃は守口市駅前には大きな商業施設がなかったため、門真市民



門真市役所

は守口市民に対して優越感を感じた。さらに古川橋駅前再開発でその優越感はさらに強まった。しかし、守口市民の逆襲も始まる。守口市駅前にも再開発の手が入り、京阪百貨店、守口プリンズホテルが登場するや門真市民の優越感も風前の灯かと思えた。

しかし、門真市民は最後の切り札、オールマイティを持っていたのだ。なんと門真からは首相が出ていたのである。その人、幣原重郎は外務大臣を歴任し、また特命全権大使として大正・昭和の激動の時代を生きた人物で、その政策は「幣原外交」と呼ばれ、今もその名は語り継がれているのである。また兄の幣原坦博士も東京帝大国史科を卒業後、東京帝大教授、台北帝大学長を歴任、終戦後、枢密顧問官として活躍する。守口ではあまり知られていないが門真では幣原兄弟として広く知られている。当然、門真市民には門真の誇りとなっている。(有名と思っているのは私だけかも……)

今後、守口から歴史的人物が出ない限り、門真市民は幣原兄弟を郷土の誇りとし、守口市民に優越感を持ち続けることでしょう。

門真、万歳!!

(末松広之)

か

門真試験場

大阪府警察門真運転免許試験場。昭和三七年（一九六二年）大阪市城東区から移転開設。現在一日の来場者は約三、四〇〇人。近年は施設の老朽化と利用者増加に伴う施設の狭隘化が問題となっていたが、昭和六三年（一九八八年）から施設の全面建替整備計画を進め、平成四年（一九九二年）より新庁舎建設工事に着手。平成七年七月に竣工。同九月より新庁舎での業務を開始。

怪談「試験場の手招き」

「ふるかわばし〜ふるかわばし〜自動車試験場前〜」。お馴染みのこの京阪電車のアナウンス、門真市の北東で少年期を過ごし、またかなりの車好きな子供であった私には「大きくなったらその門真の教習所ゆうとこ行つて免許取るねん!!」という青い大志をその度に確認させるそれはそれは甘美ないざないでした。

高校二年で旭区に引越したため関目の教習所に行くことになり門真の教習所で免許を取ることにはかたがた冷たい教官様の仕打ちにもめげず晴れて教習所を卒業、念願の門真の試験場に行く日がやって来ました。

門真の駅からバスに揺られて数十分、足を踏み入れたその場所は何やら妙に威圧感を与え不安な気持ちにさせる所でした。古さのせいだけではありません。内部も含めて建物の持つ色合いがそんな気にさせるようです。今日はたくさんの人間にとってそれは嬉しい晴れの日なのに似つかわしくない、と長年の恋愛感情が裏切られたようなそんな少々せつない思いになりましたが、要是試

新庁舎は、地下一階、地上六階建、延床面積二万四三二二平方メートルでこれまでの約一・六倍となり、単独の試験場として全国的に最も大きな施設である。主な特徴は、一階の吹抜大ホールや二階の技能試験コースが一望できるガラス張りの技能試験待合ホールなど来場者の快適性と空間を生かした各階待合ホールの充実、母子ルームの設置、大型コンピュータの高度化更新等による事務の効率化などがあげられる。

試験に無事合格して免許証をもらって帰れば良いのであって、何もバニーちゃんのお出迎えプラス帰りは赤いじゆうたん踏みしめ紙吹雪のお見送りなんかなくても全然構わないんです。それに二度と来ること無いです。そう、二度と……。めでたく免許証を手にした私は今までの恋い焦がれていた思いなどきれいさっぱり忘れ、どちらかと言えば一秒でも早くそこから立ち去りたいと振り返りもせず試験場を後にしました。その時は「また戻っておいで」と言われていたのも知らずに。

はいはい、戻って来ましたよ試験場に。あそこは教習と免許証交付以外にも用事があるところなんです。当時はそんなこと考えもせんかったです。ありがたくも四十九キロオーバーをオービス（自動速度取締装置）にフォーカスされて一発免許です。違反場所が西名阪の大阪行きで奈良県だったもんですから最初に郡山の高速警察隊、お次ぎは奈良の簡易裁判所と呼び出され七万円のお布施の後、我が心の故郷門真に戻って参りました。免許経験者はご存じでしょうが、処分が決まると「三十日免許の方、〇〇さん、××さん」と、こんなに丁寧だったかどうかは忘れましたが順番に呼び出されます。違反が派手すぎて覚悟が決まっている



京阪バス「試験場前」にある門真試験場

人間以外は結構心臓をバクバクさせながら待つすこいやかな瞬間です。三十日免許の時に呼ばれんかったらもうガツクリ。六十日以上決定です。脈拍は少なくなり、血圧は下がり、その時に健康診断をすれば即強制入院のような状態になります。(ほぼ一年後おバカな私はかわいい違反を二、三重ね、再度お招き頂いてこの六十日決定の瞬間を味わいました) また何かにつけ長時間待たされるのには参りました。「君達は悪いことをしてここに來てるんでしょ。おとなしく待つてなさい」てなもんです。そんな虐げられている人間達には、昔あんなに晴れの日に似つかわしくないと思つたこの建物の雰囲気は異常にマツチするんですよこれが。絶対わざとそうしてるに違いありません。あまり自分のした違反に罪の意識の無かつた私は(人や物は傷つけて無かつたので)被害者意識が膨らむばかりでした。一回目にももちろんこんな精神的虐待はもういやだと思いましたが、不本意ながらももう一度同じ気分を味わうとは何とも情けない。

ところで私は三十日と六十日の時の両方とも停止期間減免のための講習を受けましたが、明らかに客層が違うのには笑ってしまいました。一言で言えば六十日の方がより鉄火場の雰囲気があふ

新庁舎業務開始に伴って交付される免許証が小型のカードサイズとなった。免許の更新については午後二時三〇分迄に更新申請手続きをすれば即日交付される。また、門真試験場では日曜日にも免許更新業務を行っている。テレホンサービスでは免許証の更新や再交付などの各種案内を受け付けている。

〇六一九〇六一〇〇五五

れていました。(自分もそのうちの一人でしたが) そんなあほらしさ一杯の空気の中でも、休憩時間になれば「お宅は何しはったん？」なんぞ言いながら数箇所話に花が咲き、妙な連帯感でもつてそのまま「連れ」になって一緒に昼飯に行った連中も結構いました。私は一人で希望にあふれた教習生に囲まれながら犬並の速さで食事を終えて近くのパチンコ屋で時間をつぶしましたが、(なぜかこんな時は勝てるもんです。罰金の足しになりました)

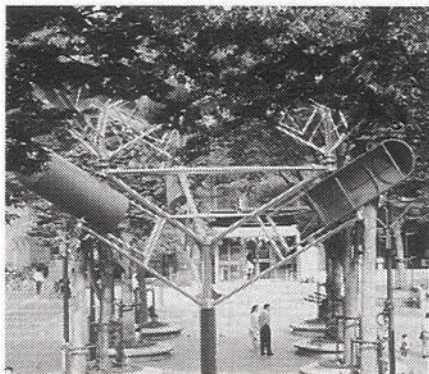
明日のドライバー予備軍の方々、晴れて免許証を手にして試験場を後にされる際には目前に広がる楽しいことの数々や目元も緩むエツチな期待ばかりで頭を一杯にせずに「また戻っておいでよ」という手招きにしっかりと「NO!!」の返事をして帰りましよう。でないと彼(彼女?)はきつとあなたを呼び戻すはず。

(清水英男)

か

カナディアンスクエア

京阪百貨店と守口文化センターと富士銀行に囲まれた京阪守口市駅前の広場。駅前再開発事業の際に整備された。幾つかのモニュメントと橋に囲まれ守口市民の買い物途中の憩いの場となっている。



カナディアンスクエアの「光の木」

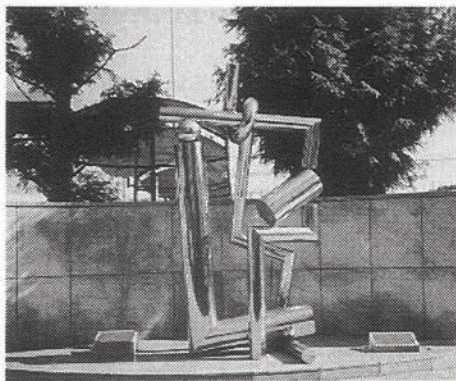
モニュメントのある町

現在、守口市の駅前にはたくさんさんのモニュメントがあります。皆さんもそのいくつかは、ご存じのことでしょう。クリスタル橋の上にある「パッセージ」、市民体育館横の「街角彫刻」、三和銀行前の「市民憲章モニュメント」、アポロン橋の上にある「カリヨンの鐘」、カナディアンスクエアの「光の木」等々。

それぞれのモニュメントにはそれぞれの顔がありますが、その中の一つ、京阪百貨店横（京都寄り）のモニュメント「愛の鈴」の創作経緯を少し追ってみました。

守口青年会議所（守口JC）では当時（一九八五年）二一世紀へのメッセージを市民から募りそれを「ロマンの壺」としてタイムカプセル化し、地面に埋めようという話が盛り上がっていました。

一方、守口市は駅前再開発の一環としてモニュメントをいくつか作ろうと計画していました。市の再開発部長だった藤重氏によると「人と人が会う」という視点でモニュメント設置を考えており、守口JC提案の壺（タイムカプセル）とともに同じく守口



「愛の鈴」のモニュメント

愛の鈴運動……昭和四九年に開始された守口青年会議所の社会開発運動。交通安全の意識向上と交通事故から子供を守る目的で、毎年四月の守口市内全一九小学校の入学式で新入生に鈴を贈呈する。

JCが行っている「愛の鈴」運動に因んだ彫刻を設置することになった、という話でした。

モニュメントを創った打浪隆夫氏には、抽象的で前衛的な作品が多いが今回の作品も含めて「時が経っても古く感じさせず、視点を将来に向けた作品作りを心掛けています」と言っておられました。

子供を象徴する小さな鈴を大人や社会を形どった丸パイプが守るといふモニュメントになっており、その横にメッセージの詰まった「ロマンの壺」が埋まっています。この壺は、二〇〇一年一月一〇日に取り出すことになっています。

ただ単に「駅があり、橋があり、車が通り、人が動く」だけでなく、このような「憩いのための空間」があると、わざわざ散歩に出掛けたくなるものです。石の真ん中に穴があいている「パッセージ」をくぐり抜けて遊んでいる子供たち、「カリヨンの鐘」の人形が音楽に合わせて踊る様を笑しげに見ている家族連れ。

モニュメントは、まちづくりに欠かせない存在ではないでしょうか。

(佐藤裕己)

か

関西医科大学付属病院

昭和三年（一九二八年）設立。昭和七年（一九三二年）に枚方の牧野から滝井に移転。現在は滝井の他、香里園・男山・洛西ニュータウンに付属病院がある。

松下記念病院…昭和十五年（一九四〇年）守口市日吉町に松下病院として設立。昭和六一年（一九八六年）現在の外島町に松下記念病院として移転。

関西医大と松下記念病院

守口市内の大きな病院といえば、関西医大（関西医科大学付属病院）と松下記念病院を思い出す方が多いのではないのでしょうか。関西医大はもともといわゆる大阪女子医専の付属病院（京阪の牧野駅近く）が前身で昭和三年の設立です。東京の女子医専とともに伝統のある学校で、年配の女医さんはこの卒業生が結構いらつしやるとのことです。戦後の昭和二年から大阪女子医科大、同二九年からは関西医科大学として共学となりました。従って他の医大と比べて今でも女子学生の比率は高いようです。昭和七年に病院は滝井に移り、牧野の方には一般教養の一部が残っています。現在は滝井の他、香里園・男山・京都の洛西ニュータウンにも付属病院があります。関西医大は関西地区では八つしかない高度先進医療承認医療機関であり、また救命救急センターとして二四時間体制をとっています。ボクサーの辰吉の手術にもあるように眼科や心臓病等、高い診療技術を誇っています。

一方、松下記念病院は昭和十五年松下電器が従業員の健康のため、日吉町に松下病院として設立されたのがその前身でありま

医師数……週間ダイヤモンド九五年度版「ニッポン全八六都市ランキング」によるデータ。

す。昭和二八年から一般市民の治療も始め、昭和六一年、今の外島町に松下記念病院として設立しました。私も子供の出産でお世話になっておりますが、廊下等を非常に広くとつてのびのびとしており、黄緑で統一された配色が綺麗で清潔な感じがします。診察券をカードにして外来の手続きをスムーズにしたり、週一回入院患者に食事のメニューを選択してもらつたりと、医療環境の充実を目指しております。

関西地区の病院は一般的に合理精神を医療に生かした先進性を持っているとされています。(「関西病院ランキング」宝島社、参照)二つの病院のそれぞれ事務部の方に取材をお願いしたのですが、双方とも地域のニーズを把握した質の高い医療を提供したい、という熱意がひしひしと感じられました。

二つの病院の一日の外来患者は合計で三千五百名近くにもなります。また、全国六八六都市中、人口千人当たりの医師数では守口市は第一九位(四・四〇)と大健闘です。残念なことに守口市には市民病院がありません。しかしまさしく、この二つの病院がその役目を果たし開業医とともに、市民の健康維持を担っているのではないのでしょうか。

(佐藤裕三)

き

喜左衛門

江戸時代の寺方の庄屋。水害に悩まされる農民を救済するため、幕府を無視して水路を設置したために一族が処刑された義農。明治期に村人達が彼を慕って建てた記念碑が今も残る。

弥治右衛門：…江戸時代の藤田の庄屋。喜左衛門と同じく一身一家を犠牲にして水路を設置し、大庭・大久保両庄五六〇ヘクタールを水害から救った。

伝・義農両衛門

我々が住まいとする守口市を含む北河内地域の大昔は底湿地帯で、農民達は毎日が水との戦いの歴史でもありました。樋と呼ばれる堰止めた水の出口となる水門や溝と呼ばれる農業用水路を設置し、農業に対して真摯に取り組んで参りました。

守口市で義農と呼ばれ、人々に敬愛される先人がいます。寺方の庄屋喜左衛門と藤田の庄屋弥治右衛門、この両衛門は、自らを犠牲にして農民のために尽力した末、捕えられて処刑されました。喜左衛門は水害に悩む農民を救済するため橋波村の樋を独断で撤去し上流の村人の怒りを買って寛永十三年捕えられ処刑。一方、弥治右衛門は大久保一帯の大水害を見かねて樋を建設するも、下流の古川の村人に訴えられ慶安二年に捕えられ処刑されました。両名とも官の怒りを買って捕えられたのですが、隣人とのトラブルを起こした首謀者であることが根本的な原因であると考えられます。守口市民は二人の義農を慕い慰霊碑を建設しました。昭和十五年に喜左衛門碑を昭和三十二年には弥治右衛門碑を、約三百五十年時代が下った時のことです。

(辻本卓郎)

き

木崎正隆

明治三五年（一九〇二年）九月一日生まれ。北河内郡三郷町長を経て昭和二八年（一九五三年）一月に守口市長初当選。以来、全国最多の九選を果たし、三四年余の永きにわたり守口市政を担当。在任中は守口市長のみならず大阪府市長会会長をはじめ全国市長会相談役、総理大臣の諮問機関である地方制度調査会委員などの要職を数多く歴任した。昭和六二年（一九八七年）七月三十一日、急性肺炎にて逝去。享年八四歳。

木崎家 守口の華麗な一族

京阪百貨店横のカナディアンスクエアに木崎正隆前市長の銅像が建っています。皆さんご存じですね。この銅像前は自転車が多くて、銅像が見張り番みたいになっています。市民の皆さん駐輪を自粛しましょう。

この木崎正隆前市長は、四條畷中時代から宝塚とテニスが大好きなモダンボーイで若い時から何にでも興味を示され、自宅に帰ればトランプ占いをするし、ゴルフもグリーンに乗ったらOKという楽しいゴルフ、パチンコ大好き、ヘビースモーカー、髪はバサバサ、身だしなみをかまわぬ……というような、若々しく庶民的で飾らない人柄だったそうです。

晩年は七回入院を繰り返したものの、選挙の時には不死鳥のようによみがえり、全国最多の九選を果されましたが、任期中で倒れられ松下記念病院で八十四歳で亡くなりました。

私は昨今中央地方を問わず金儲けが目的の金に汚い、また、有名になりたいがための「政治屋」が目立つと思っていますが、いろいろ話を聞く中では、金にきれいな「政治家」と感じました。

また、長期政権の弊害もあまり聞かれず、名物市長と市民に親し
みをもって思い出されるのもその人柄によるものと思います。

私は、十年以上前だと思いますが、新聞の社会面でこの名物市
長とひ孫の天才少女バイオリニストの記事を読んだ記憶がありま
す。多分「天才少女」が守口に里帰りをした時だったのだと思
います。この「天才少女」は、五嶋みどりという名前ですが、守口
市の松下記念病院で生まれ（ここまでは私の長女と一緒です）ハ
イオリニストである母の節さん（名物市長の孫）の手ほどきを四
歳から受け、六歳でソリストになりました。

「天才」と言われますが、取材をして聞いてみると「集中力」
「信念」は子供とは思われないもので、教育・能力開発の賜物だ
と思います。その後、アメリカの名門ジュリアード音楽院の名ハ
イオリン教授ティレー女史に師事しましたが、十代からの世界的
活躍はあまりにも有名で、現在三億円もするバイオリンを自在に
操る世界のビッグネームです。

特に十四才の時マサチューセッツ州タングルウッドで開催され
たレナード・バーンスタイン指揮ボストン交響楽団の演奏会での
エピソードは伝説的なものとなっています。演奏中にバイオリン



木崎正隆前市長の銅像

のE線（四弦のうち最も細い弦）が二回切れましたが、いずれも臨機応変にコンサートマスターなどのバイオリンと交換して完璧な演奏を続けて、熱狂的な喝采を受けました。この演奏は翌日のニューヨークタイムズの一面で称賛され、名声は不動のものになりました。

さらに驚くべきことに、今年の七月に五嶋みどりさんの実弟の龍君（七歳）がバイオリニストとしてデビュー、「超神童」とマスコミで話題になりました。大人でも至難のバガニーニのバイオリン協奏曲を難なくこなし、聴衆を魅了、才能は姉を超えるとの記事もあり、将来が本当に楽しみです。

また、五嶋みどりさん、龍君の母節さんの父の木崎友晴さんは空手の剛柔流の達人（八段）で唯心館道場主。全国学生空手道連盟の元会長などを歴任された世界的に有名な空手界の重鎮です。

以上は木崎家の分家の方になりますが、本家でも多くの著名人を輩出しています。例えば、医学博士で大阪日赤の内科学部長であった木崎国嘉氏（前市長のいとこに当たるとのことです）は、博学で有名であったことからかつての人気テレビ番組の「11PM」に出演し「イレブンドクター」として全国的に親しまれました。

また、ロシア史・日露交渉史が専門の木崎良平立正大学文学部教授には「漂流民とロシア」（中公新書）など多くの著書があります。

昔、菊水通の西三荘用水路には木崎家にちなんだ「木崎橋」がかかっていたそうです。この橋は昭和四一年三月竣工の「木の崎橋」となりましたが、その後西三荘用水路が埋め立てられたために撤去されて、現在は「西三荘ゆとり道」となっています。また、現在八島町となっているあたりに昔俗称「木崎島（きざきしま）」がありました。明治十八年の淀川大水害の後、水害防止のために淀川の付替工事がされましたが、工事によりできた旧淀川低地の土地を明治末期から大正にかけて木崎本家とその親戚の白井家とが協力して開発したということです。

なお、三洋電機株式会社元副社長後藤清一氏の著書「後藤清一が二六人の先達から学んだ社長の器」（明日香出版社）という本の中で、守口縫工株式会社の田代通相談役から、その昔木崎家が松下を今の地に誘致されたと聞いたという話が紹介されています。

（岡崎隆彦）

け

京阪池

昭和初期、京阪電車の蒲生信号所〜守口間新線建設に伴う築堤式高架工事のために土砂を搬出した跡地に雨水などが貯まってきた池。現在は埋め立てられ大枝公園になっている。



当時の京阪池

今は昔 大枝公園は京阪池

昭和二五〜六年頃というから今から五十年ほど前まで現在の大枝公園は京阪池という名の池だったそうです。聞くところによると当時は手漕ぎの舟で投網で漁をする人やのんびりと釣り糸を垂らす太公望が大勢いたそうです。

そう言われると公園の隅に溜池みたいなものがありましたし、下水道のポンプ場もありますので、その名残りかなという気がします。

ちなみにこの京阪池はもたらあつたのではなくて、京阪電車が昭和の初期、土居から野江までを高架にする際に盛り土に使う土を取った場所で、それがその後、池になったものだそうです。

大枝公園はその京阪池を埋め立てて造ったのですが、今になって思えば、公園の中に大きな池があつたらまた少し趣の違う憩いの場になっていたかもしれません。休みの日に釣竿下げて大枝公園へ行くことは今はできませんが、子供を連れて公園でこんな話をしてあげるのもいいんじゃないでしょうか。

(末松広之)

け

京阪電車

明治四三年（一九一〇年）四月
一日開業。開業当初の営業区
間は大坂天満橋から京都五条間
で守口には開業時から駅が設置
されていた。また、開業当初は
電灯電力供給事業も行っており
守口を始め、沿線の村々に明か
りを灯していた。

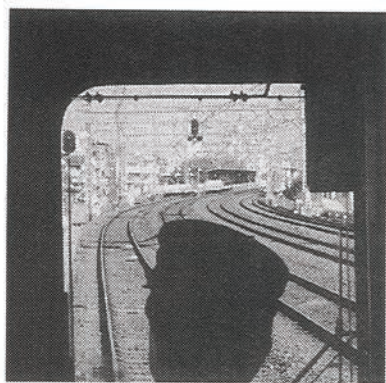
土居駅と滝井駅なぜ近い

京阪電車の普通に乗って京橋から守口へ向かうと、滝井駅から加速してすぐに減速して土居駅に到着するのに不思議がる子供を見かけた事はありませんか。

京橋と守口市間は京阪電車の中で一番長い直線区間なのですがその間には滝井駅と土居駅の間のように非常に短い間隔で野江・関目・森小路・千林・滝井・土居と六つの駅があります。土居と滝井駅間は四百メートルしかないそうです。しかも、駅間が四百メートルと言ってもそれは駅の基準点と基準点との間のことでホームの端から端ではありません。

京阪電車へ問い合わせると、千林駅と守口市駅がまず最初からあり、昭和六年一〇月一四日に滝井駅ができ、翌七年六月一四日に土居駅ができたそうです。しかしながら、ほぼ同じ時期になぜそうなったのかはよくわからないそうです。

そんなに駅間が短いにもかかわらず京阪電車は輸送力増強のための列車の増結を繰り返したため、その度毎にホームの延長工事がなされました。特に土居駅は滝井駅の方へ、滝井駅は土居駅の



滝井駅に止まっている電車から土居駅を見る

方にホームが延長されたため、ホームの端と端はそのたびにどんどん近くなってきたており、今や国道の内環状線を挟んで目と鼻の先です。現在、最長八両連結の列車が十両になればこの二つの駅のホームはくつついてしまうかも知れません。

土居駅をよく利用する私としては、滝井駅が邪魔に感じます。滝井駅を利用して京都方面へ向かう用事の多い友人は逆に土居駅が邪魔に感じているそうです。しかしそれ以外の駅を利用する人はふたつとも邪魔に感じておられるんでしょうね。

でも土居駅は私にはなくてはならない駅なのです。昔、鉄道ストが毎年のようにあった当時、線路上を幾つの駅を走破できるか一駅毎に数えながら歩いたものです。去年は土居駅から大阪方面へ六つの駅を歩いたから、今年は京都方面へ七つ目の駅を目指そうとかやったものでした。しかしながら、京都方面は駅の間隔が広くて途中であきらめてしまい、子供ながらに挫折感を味わったものでした。

駅のひとつやふたつ簡単に歩けるといふ子供の頃からの感覚は今でも私の判断を時々狂わせてしまいます。

(篠原拓男)

け

京阪電車

現在の阪急京都線は昭和三年（一九二八年）に当時京阪の別会社の新京阪鉄道によって天神橋〜高槻間が敷設され、京阪と新京阪の合併後の昭和六年（一九三一年）に四条大宮までの全線が開通した。京阪は第二次世界大戦中に国策により阪神急行電鉄（今の阪急）と合併し京阪神急行電鉄となったが、戦後の昭和二十四年（一九四九年）に再び分離独立。その際、淀川右岸の新京阪線は阪急に残り、現在に至っている。

我が心の京阪電車

その事件は私が大学の時、学食で起きたのだった。話の流れで友達が「俺、住むんやったら阪急沿線がええな」と言ったので、私が「京阪沿線も便利やで」と言つと、何と彼は「はあ？京阪で何？」と言いやがったのである。最初は冗談だと思つたがどうやら彼は本当に京阪電車を知らないらしいのだ。ビックリしたが広い世の中にはこんな無知な奴もたまにはおるわいと思ひ丁寧に説明していると、彼はキョーレツなことをのたまつたのだった。

「そやけど京阪はプロ野球の球団持つてへんやろ。そらあかんわ」「ん？アレ？アレ？」

当時、在阪五大私鉄の中で阪神はタイガース、阪急はブレーブス、近鉄はバファローズ、南海はホークスというプロ野球球団を持つていた。それまで考えたこともなかったが、京阪電車だけが球団を持っていなかったのだ。私は「あほ、こつちにはこつちの事情があるんじや」と訳のわからないことを言つたもののシヨツクだった。それは最愛の恋人をけなされて腹が立つたけれど言い返せなかつた惨めな気持ちに似ていた。



京阪電車 守口市駅

私は京阪電車が好きだ。だれが何と言おうと電車と言えば緑のツートンカラーの京阪電車である。しかし、しかしである。もし京阪電車がプロ野球の球団を持っていてくれたら、我々京阪電車ファンはもつと胸を張って京阪電車を自慢することができるのにと、それ以来悔しい日々を過ごしていたのだった。

すると突然その日がやってきた。南海がホークスをダイエーに売却するというビッグニュースが飛び込んで来たのであった。これで京阪電車が在阪五大私鉄の中で唯一プロ野球の球団を持っていないというだけでローカル扱いされることがなくなるのだ。しかも、朗報は続いた。あの大阪急までもブレーブスをオリックスに売却したのだ。しかも「一電鉄会社がプロ野球の球団を経営する時代ではない」というコメントまでつけて。これでプロ野球の球団を持つステータスはなくなった。

そして、南海と阪急の球団売却と相前後して、我が心の京阪電車は守口に百貨店を作り、南海電車を在阪五大私鉄の中で唯一その名のつく百貨店を持たない電鉄会社に追いやり、我々京阪電車ファンの溜飲を大いに下げてくれたのであった。

(水谷治人)

け

京阪百貨店

京阪守口市駅前再開発事業に伴い昭和六〇年（一九八五年）開業。「きれいな百貨店」をキャッチフレーズに今年十周年を迎えた。世界のグラフィックデザインの大巨匠早川良雄氏のイラストが人々の目を楽しませる。

サンダル履いて京阪百貨店へ

京阪百貨店というのは、おそらく私が思っていた以上にメジャーな存在でした。私は幼い頃、京阪の伏見桃山の近くに住んでおり、従って守口に転居するまでは、京阪百貨店といっても伏見桃山駅にある小さなデパートと似たようなものと思っていました。しかし、その規模もさることながら土日ともなると駐車待ちの車の列。実際私の友人も遠方から何回も「よそ行きの服」を着てやってくるのを知っています。

私は今でこそ守口市民ではありませんが、結婚後、まる六年間、守口に住んでいました。しかも京阪百貨店まで百メートルあまりの至近距離でした。

京阪百貨店や桜町商店街には本当にお世話になりました。私はどちらへ行くのも当然同じ感覚なのです。「百貨店に来ているんだ」という「意気込み」は全くありませんでした。京阪百貨店の地下に行き、その帰りにジャガイモは桜町商店街の「玉出」で買う、という具合でした。（時には西友にも寄る）

近所の人達とも百貨店の中でよく顔を合わせ、挨拶を交わした



京阪百貨店

ものでした。私は当時地酒に凝っており、地下には結構品が揃っておりまして。また、日本酒と言えは刺身ですが、兵庫県境港からの新鮮な魚が豊富です。定休日前の水曜の閉店間近になると、物によつては半額近くなります。しかしある年の大晦日の閉店近く、明日から正月休みで必ず刺身が安くなると確信して、魚屋の前で一時間近くも待つていました。人は数十人にふくれあがりまして、安売りはありませんでした。恋人にデートをすつぽかされたような気持ち。それでも京阪百貨店を嫌いになれなかつたです。

できた当時のことを私の嫁さん（守口生まれの庶民派）に聞くと、既存の有名な百貨店ではないし、人に対する贈り物も初めは敬遠する気持ちがあつた、要するに「なんで守口に新設の百貨店やねん」という気持ちであつたとのことでした。（今では熱烈なファンです）

それから十年、今や「こころもすがたもきれいな百貨店」のキヤッチフレーズのもと守口市民にすっかりなじんだところが、守口市駅前にはなくなつてなならない存在となつています。それにしてもお好み焼き屋の「ぼん繁」がなくなつたのは残念やなあ……。

（佐藤裕己）

け

剣晃

守口市出身、高田川部屋所属の幕内力士。最高位は小結。横綱曙の土俵入りでは太刀持や露払いで登場。次代の大関、横綱としての実力を持ち今後の活躍が注目される。

ご当地力士

ここでいきなりクイズです。

十七歳の十一月に九州場所です。初土俵を踏み、翌年の初場所には序ノ口の優勝決定戦に出場するも惜しくも敗れましたが、百九十字ん子を越える持ち前の体格とひたむきな努力で順調に出世し、平成四年の名古屋場所です。新入幕。現在までの最高位は小結。常に前に出る相撲で人気の高田川部屋の関取と言えれば誰でしょう？
相撲好きの方ならすぐにおわかりいただけると思います、そうです。剣晃関です。

剣晃関がなぜこの本に紹介されるかと言いますと、庭窪中学校から守口高等学校に進学した生粋の守口人なのです。

本名は星村敏史、学生時代は級友から「ほっしん」と呼ばれておりました。そんな彼のエピソードを綴りたいと思います。

私の親しい友人の話によりますと、「ほっしん」の性格を一言で言うと「やんちゃ」だったそうで、おとなしい女子生徒などは怖くて近くに寄って話をしたりできなかったらしく、男子生徒からもその存在は一目を置かれていたそうです。

中学生の年頃にもなるとやんちゃをした苦い思い出や、若気の至りなど誰もが経験したであろう、そんな昔話の中で有名なものを一つ紹介します。ある朝「ほっしん」は頭を金髪に染めてモヒカン刈りで学校に登校したことがあつたそうです、もちろんそのような特異な頭髪が義務教育期間において寛容に許可されるはずありません、当然のごとく先生から指導を受け、諭されて翌日には頭を丸坊主にして元気に登校したそうです。

そんな「ほっしん」も、小学校の頃から天才肌だった相撲に目覚め、角界に入門しました。が、あまりに環境の違う上にしきたりの厳格な別世界に足を踏み入れた為、その辛さから一度所属部屋を飛び出して実家に戻ってしまいました。しかし、恵まれた体格とずば抜けた相撲センスを終わらせてしまうのはもったいないということから、気持ちを奮い立たせて意気盛んに元の相撲部屋に戻って参りました。そして今の地位があるわけです。

「一年を十日で過ごす良い男」かつて相撲取りはこんなふうに呼ばれました。精進の末、幕内まで昇進した剣晃関。年六場所九十日間の活躍を守口市民は応援しております。

頑張れ「ほっしん!!」

(辻本卓郎)



光明寺

眞言宗御堂派仁和寺の末寺で、大同元年（八〇六年）空海（弘法大師）の開基と伝えられる。もとは八幡宮寺とも称し八雲神社の宮寺であった。本尊の十一面観音立像は守口市内に残る最古の仏像で国の重要文化財の指定を受けている。右手を下げ左手を挙げて蓮華瓶を持つ俗にいう長谷式の十一面観音立像で、材質は樟の一木造、総高は一・三三センチ。両手先や持物・宝冠・台座などは江戸時代の後補であるが像の主体部はよく当初の面影をとどめ藤原時代（一〇世紀）の彫像として守口市を代表する文化財。また、裏の臺地には市内で最も古い康永三年（一二四四年）と刻まれた石塔婆がある。

十一面観音立像

「オギャー」といつてこの世に生を受けた私は何のご縁か光明寺という寺の住職の息子として生まれました。小さい頃は「お寺の子」と言われるのがあまり好きではありませんでした。だってなんか年寄りくさい感じてしょ、イメージが。

中学一年生の時、先生に「地歴クラブの活動で十一面観音立像を見せてほしいんやけど」と言われ、「はい、いつでもいいですよ」と気軽にOKした私は家に帰って父に頼むと、「本尊の十一面観音立像は年に一回しか御開張をせえへんねんぞ」と言ったので私は「何でそんなに出し惜しみすんねん。けちくさいなあ」と言うと、この十一面観音立像は国の重要文化財に指定されていて戦前は国宝だったと聞かされ、大変立派な仏像であることを教えられました。それと同時に光明寺も西暦八〇六年に弘法大師空海が建立したと伝えられている由緒あるお寺ということも聞き、たいそう家に生まれたもんやなあと思いつつ、この家に生まれたことをちよつとだけ誇りに思いました。

現在は元氣にお経を詠んでいます。

（西端良弘）



国際交流センター

国際化に即応して、市民が身近に諸外国の人達と触れ合い、市民レベルの交流を深める場として平成六年（一九九四年）四月にオープン。

教えたるか守口

海外旅行が盛んです。円高も手伝ってが、今年もビジネスや観光で何百万人もの人が海外へ行って来たそうですが、ここで困るのが皆さんも経験がおりのように「言葉」の問題ですね。近頃では日本語の通じるホテルやお店も増え、バック旅行では添乗員さんが大抵のことはして下さるのでペラペラでなくても大丈夫ですが、それでも出発前には「トラベル英会話マスター」みたいな本を買って「トイレはどこですか」とか「これいくらですか」とか「もっと安くして」ぐらいは勉強したことでしょう。

守口市にも三千人以上の外国人が住んでいらつしやるそうです。何かのご縁で外国の方に自己紹介をする時、あなたなら何と言いますか。「私の名前は〇〇です」「〇〇歳です」「日本から来ました」ぐらいしか言えないようではちよつとさみしいですね。そこで私達の住むまち守口を紹介してあげてはどうでしょうか。そんなんむずかしくてようゆわれへんって？大丈夫私がどう言えばいいかお教えしましょう。



守口市民まつりで着物を着た留学生たち

まず相手がビジネスマンの場合

Moriguchi is a satellite city of Osaka. It has been developing as an industrial city which has head offices of Matsushita (Panasonic) and Sanyo, the manufacturers of light electric appliances as well as bedroom suburbs of the big city Osaka.

訳) 守口市は大阪の衛星都市です。松下・三洋の本社があり、弱電産業を中心とする工業都市的性格と大都市大阪のベッドタウン的性格をもつ都市として発展しています。

次に相手がホームステイ先のホストファミリーの場合

Although Moriguchi is a small city with a population of 160 thousand and an area of twelve point seven two squarekilometers, it has as an old history and culture. I was born and grew up in this warm-hearted city.

訳) 守口市は人口十六万人、面積一二・七二平方キロメートルの小さなまちですが、古い歴史と文化があります。人情のあたたかいこのまちに私は生まれ、育ちました。

最後に相手がバーで知り合った若者の場合

Moriguchi is a very convenient city to go anywhere, because there are lots of railroads, highways, monorails. Also we have many supermarkets, banks, hospitals, and restaurants, so you'll be able to enjoy staying in Moriguchi. I believe there are no such convenient places but Moriguchi. And, moreover, you can eat a very good Okonomiyaki.

訳) 守口市はむっちゃ便利なまちやねん。電車や高速道路やモノレールがいっぱい通って、どこへ出掛けるのも便利やし、スーパーや銀行や病院や飲食店がいっぱいあって何をすることも便利やねん。こんな便利なまち他にあらへんよ。そつそつ、お好み焼きもおいしい。

とじです。これを暗記すれば会話が弾むこと間違いなしです。えっ? その後どんな話をしたらええかって? それはご自分で勉強して下さい。ここから国際交流は始まるのです。

(高見順子)



国際花と緑の博覧会

平成二年（一九九〇年）四月一日から九月三〇日まで大阪・鶴見緑地公園で開催された国際博覧会条約に基づく特別博覧会で、東洋初の「国際園芸博覧会」「人間と自然の共生」をテーマに八二万五千五国際機関が出席した。博覧会の要となった「山のエリア」、日本最大級の花壇が設置され集いの広場となった「野原のエリア」、民間のバビリオンとアミューズメント施設を中心とした「街のエリア」に分かれ、期間中、一三三二万人の入場者を記録した。

下町の国際交流

平成三年に守口のすぐ隣、鶴見緑地で国際花と緑の博覧会が開催された。そんな時期の話である。

私の知人のA氏は寺方にある会社に勤めていたのだが、ある日は十五年前の木製ステレオセットを捨てるため、大型ゴミの日に出そうと会社の前に置いていた。するとしばらくしてから風変わりな若い青年が尋ねて来て、カタコトの日本語で表のステレオを売ってくれと頼みに来た。でもA氏は「どうせ捨てるつもりだったからあげるよ」とその青年に言っただけだったのだ。それからA氏と彼らの交流が始まった。

その青年の名前はジュリー君といって、当時花博のスリランカ館スタッフとして来日し、A氏の会社の近くの宿舎に住んでいたのだ。

ジュリー君は次の日からスリランカから来た他の仲間を連れてA氏の会社に遊びに来るようになった。とは言っても言葉もなかなか通じにくいし、ただみんなが働いているのを大勢で眺めていたとか。それでも不思議なもので、毎日顔を合わすうちにお互い



1990年の国際花と緑の博覧会

意志が通じるようになってくるものなのだ。

ある日ジュリー君は虫歯で歯医者に行った。ところが言葉が通じないとかで、A氏に通訳を頼んできたのだった。後でその話を聞いた私はA氏に「英語が話せるようになったんですか」と尋ねると、「歯医者さんはジュリーのカタコト日本語がわからんのだ」との事。なるほど、そういう事が。

またある日、ジュリー君が日頃のお礼にスリランカ料理をごちそうするといつて、A氏を宿舎に招待してくれた。A氏は辛いものを予想していたのだが、食べてみると意外や意外、甘すぎて逆に食べられない程だったらしい。ジュリー君いわく「日本人は辛いものが苦手だから砂糖をたっぷり入れたよ」って。

色んなことがあつた花博もまたたく間に過ぎて、ジュリー君は十五年前のステレオと共にスリランカへ帰っていった。二人は今でも手紙のやりとりをしているらしい。

この時期はこんな交流がよくあつたんだろうな。そういえばスリランカ人と女子高生のカップルっていうのも見かけたことがあつたな。

(中島淳)



ゴミ

守口市ではゴミの分別収集が以下の通り実施されています。

一般家庭ゴミ、不燃粗大ゴミ、有害危険ゴミ、ビン・ガラス、空缶、古紙・古布、その他、電話申し込みでベットの死体や三〇〇リットル以上の冷蔵庫など有料ゴミとして回収。

ZERU...現在、国連大学等長顧問のグンター・パウリ氏がゼロ・エミッション（排出ゼロ）の思想を实践。世界で初めての思想に基づく工場を建設した。氏は「ゼロ・エミッション」は二一世紀、企業と産業にとって疑いなく必然だ」と語る。

ゴミに未来はあるか!!

一般の市民生活をする上でゴミは発生する必要悪です。ゴミを出さずに生活するなど並大抵のことではないのです。が、今世界では技術の粋を結集した「ZERU」と呼ばれる国連大学が提唱するプロジェクトがあります。「ZERU」とはゼロ・エミッション研究プロジェクトの略で一九九四年六月に紹介され、来るべき二一世紀に向けての産業の推進力となるものです。

どのような運動か簡単に説明しますと、企業の出す廃棄物や排出物を全くゼロにするという運動で、たとえばビール醸造において排出される大量の固形廃棄物があります。これには豊富な蛋白質が多く含まれているのですが、埋め立てや家畜の飼料に使用されることが多いのが現状です。その廃棄物を水産養殖に利用すれば魚は餌として摂取するため廃棄物処理の問題は解決します。また回収されたビール瓶の洗浄については砂糖をベースにした天然素材の洗浄剤を使えば排水を直接養殖場に供給することができます。さらに養殖場の魚が出すフンも汚染原因になりうるのですが、すでに廃棄物を吸収する藻類が発見されており、太陽の光と酵素



守口市クリーンセンター

をもつて更に魚の飼料にできる。ビール業や養殖業のように異業種が綿密なタッグを組んでインプットされた全てのものを活用して完全消化するというものが「ZERR」の目的です。夢物語をしているようですが現実はこのプロジェクトはフィリピンなどインフラが構築されていない国で研究が推し進められており、近い将来には実現する可能性を秘めています。

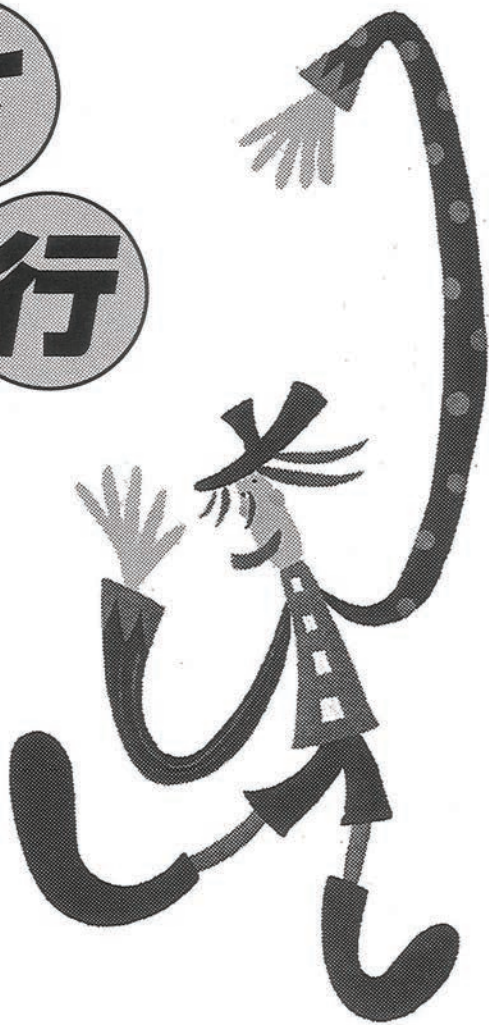
我々の住む守口市でも平成三年度よりゴミの減量・再資源化を推進、平成五年度から市内の全域でゴミの分別収集をしてゴミ搬入量を大幅に減量しました。「ZERR」のような巨大プロジェクトを地方行政で行うことは不可能ですが、ゴミの分別収集は廃棄物の再利用・再資源化を図る上でも重要な課題であります。市民レベルでも自主的な活動が行われており、一例を挙げるとスーパーなどの食品売場で目にする白色トレーを回収して再資源として利用するなど行政が支援してリサイクルを推進しています。

ゴミを辞書で引くと「塵」「芥」とあります。我々の住むまちを塵芥でまみれたものにしたくありません。美しさを護る「護美」の精神を持って今後のゴミ問題に取り組まなければならないでしょう。

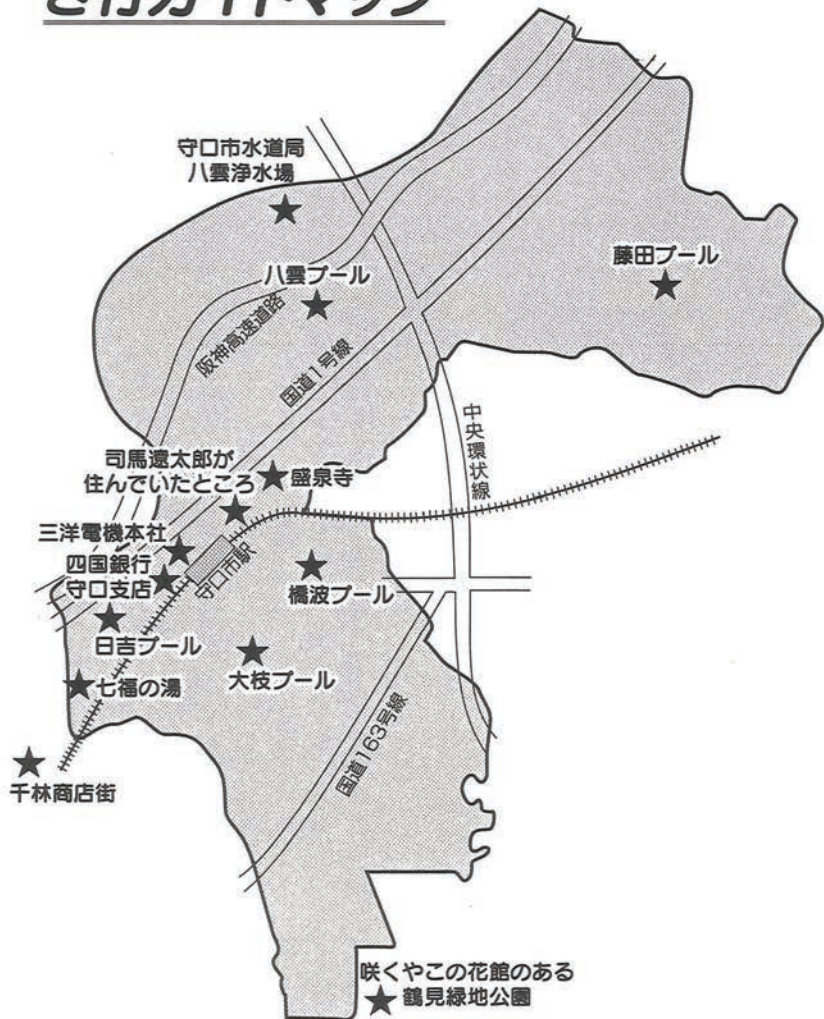
(辻本卓郎)

さ

行



さ行ガイドマップ



さ

咲くやこの花館

「国際花と緑の博覧会」で大気を博した日本最大級の総合植物館で博覧会終了後、平成三年（一九九一年）再オープン。上空から見るとスイレンをイメージしたガラス張りの建物デザインが美しい。世界各地の花と緑が集められている。



咲くやこの花館

パニラの木

一九九〇年、わが守口市と大阪市の鶴見区にて「国際花と緑の博覧会」が開催されました。大盛況のうちに幕が閉じ早や六年、現在では大阪を代表する公園としてみんなに親しまれています。ほとんどの施設が姿を消した中、今も残る大温室、それが「咲く

やこの花館」です。総面積六八九〇平方メートル、高さ三百メートルもあるこの大温室の中では熱帯から極地圏まで約一万五千株二千六百（品種）の様々な植物を一年中見ることが出来ます。

数ある草木の中で私のお気に入りには「パニラの木」。正式名を「パニラフランシオリア」といい、メキシコ南部、西インド諸島原産のラン科つる性植物です。皆さんご存じのパニラアイスクリームの元で、お湯をかけたリキズをつけたりして発酵させて香りを出しますが、一般には安価で手軽なパニラエッセンスが使われています。

鶴見緑地におでかけの際は、ぜひ「咲くやこの花館」に立ち寄られて、「パニラの木」のやさしい香りにふれてみてください。

（満潮功）

さ

三洋電機

昭和二年（一九四七年）井植歳男によって個人会社・三洋電機製作所を創業。本社・三洋電機株式会社を設立。昭和三十五年（一九五〇年）三洋電機株式会社を設立。発電ランプのトップメーカーとなり、昭和二年（一九五四年）株式上場。昭和三六年（一九五一年）中央研究所が発足。事業部制を実施し、まずテレビ事業部が発足。海外拠点を設立し、海外へ本格進出をはかる。昭和五一年（一九八六年）には東京三洋と合併し、新生三洋電機がスタート。平成元年にはコーポレートスローガン「人と・地球が好きです」を制定。

『三洋』へはばたく夢

守口は「松下や三洋の本拠地」として知られます。

『三洋』すなわち三洋電機株式会社は戦後生まれの世界的な巨大企業ですが、創業者の井植歳男氏は松下幸之助氏の妻むめのさんの実弟です。高等小学校卒業後幸之助氏に呼ばれて「松下」の創業時から仕事を手伝い、専務として「松下」の発展に尽力されました。戦後GHQの財閥指定を受けたことで退社され昭和二二年に独立して「三洋」を設立されました。

昭和二年十一月十三日、金曜日。操業まもない三洋電機の守口工場が失火で全焼した時、東京出張中の歳男氏は、ご近所（守口のことですが）への延焼をまず心配され、社員の安否を確認した後、「ええか、燃えてしまったものは仕方がない。クヨクヨするな、とみんなに伝えておくように」と言い置き、大阪には向かわずに直ちに秋田に飛び、十日かかって調達した再建用材木などとともに帰阪され、短い間に危機を脱したということです。大阪に着いたときには「人生は焼け肥りということがあつてエ。さあ、今日これからが大事や」と言われたということです。このような

言葉を聞いて奮起しない社員がいるでしょうか。

「松下」も門真へ移転したばかりのときに室戸台風により大被害を受けていますが（昭和九年九月二十一日）、「こけたら立たなあかんねん。赤ん坊でもこけつばなしではおらへん。すぐ立ちあがるやないか。そないしいや」と松下幸之助氏は言われたとのこと。大を成す経営者には共通の考え方があるのでしょうか。

ところで、この社名の「三洋」の由来を知っていますか。

「太平洋」「大西洋」「インド洋」の世界の大洋で、海を大変愛されていた井植歳男氏が世界にはばたくという願いを込めて命名されたということです。社名に創業者や土地の名前をつける慣例にとらわれないところに、また狭い作業所から「大松下」へ発展させた功労者の歳男氏が、再度セロからチャレンジするときに選ばれたというところに、限らない夢とロマンを感じます。

私たちは「三洋」の前を毎日歩き、自動車や自転車を通っていますが、このような人間が生きていくための知恵と勇気を伝えてくれる大企業が本場に身近なところにあることの素晴らしさを感じさせられます。

(岡崎隆彦)



四国銀行

明治十一年（一八七八年）一月第三十七国立銀行として創業。明治三〇年（一八九七年）三月高知銀行として民間移行。大正一二年（一九二三年）土佐銀行を合併し、四国銀行と改称。高知県を中心に国内一三〇店舗を有する地方銀行。同行守口支店は昭和四九年（一九七四年）一〇月七日設立。当初は主に守口市在住や京阪沿線の四国出身者にウエイトを置いた活動をしてきたが、現在は守口市市民全般の方への支援を中心とした金融機関として営業を展開する。資本金は二五〇億円。本店は高知市南はりまや町。

四国銀行が守口にある理由

京阪守口市駅の西口を出てすぐのところ、早苗幼稚園の隣に四国銀行があります。高知市に本店を置き「土佐の暴れん坊」の異名を持つパワフルな地方銀行です。明治十一年の創業以来、地元高知県はもとより四国四県でなんと一二四店舗を擁し、四国の発展に貢献して来た歴史を持つ銀行であります。旅行で四国へ出掛けた人なら四国銀行の看板をよく目にされたことでしょう。その名のとおり四国ではメジャーな銀行ですが、私は四国以外では守口支店以外では見たことがありませんでした。それもそのはず聞いてみますと四国以外には全国で九店舗しかないのだそうです。東京・大阪・神戸・岡山・広島・大竹・尼崎・守口・香里。

「えっ？ 守口と香里？？」

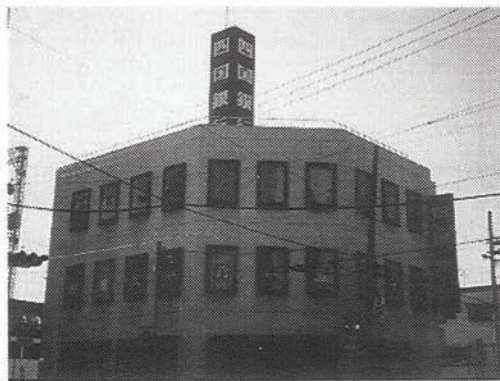
地方銀行は都市銀行と違って地域密着型です。だから四国以外に支店が少ないのは当たり前。数少ない四国以外の支店が大都市にあるのは分かります。では何故大都市でもない守口と、すこく近所の香里に貴重な支店を置いたのでしょうか？ 京都にもない支店を何ゆえ守口に???

この理由がずっと知りたくてたまらなかつたのですが今回ついに聞いてみることにしました。

「あの、何で守口に四国銀行の支店をつくられたのですか」。行員さんは「なんちゅう質問をしはんねん、この人は」という顔を一瞬された後、すぐに笑顔に戻って「当行に設置の要請が地域からあつたと聞いておりますが」

そこで、「何でそんな要請があつたんでしょうか」としつこく聞いてみますと、「なんかのスパイとちやうか、この人は」という顔のまま、それでも「詳しくお知りになりたいのでしたら説明させていただけます」と言つて、ある資料を見せて下さいました。何と優しい人でしょう。大喜びで資料に目を通していた私は数分後、「エーっ、ウソーっ、ほんまーっ？」と叫ぶことになりました。資料にはこんなことが書いてあつたのです。

「四国と阪神経済圏とは昔から人的交流が盛んで、特に高知、徳島両県人は従来海路を利用し、上陸後大阪に定着する者が多く、中でも守口市を含む北河内地方には伝統的にこの傾向が強くて住宅関連事業等に従事し、活躍されております。略々 守口市における四国出身者三万五千人（守口市総人口十八万三千人の十九



四国銀行守口支店

パーセントを占める)。これらの出身者は各県人別に県人会を組織して強力な連帯感を持ち郷土意識も強く、当行に対して強い店舗設置の要望があります。『略々』（昭和四九年四国銀行守口支店設置許可申請書より抜粋）

「えーっ、ウソーっ、ほんまーっ？守口市民の十九パーセントが四国出身者やなんて」とこのコラムを読んでいるあなたも思われたことでしょうか。でもこの資料には県別出身者数のデータまで載っているんですよ。「そっかあ、それで守口に四国銀行があるのかあ」と歴史的発見をした気分になった私です。守口はベタベタの大阪やと思っていたのですが、大阪と四国の文化がうまく融合したまち、これが守口なんです。まだ疑っているあなた、嘘だと思ふのなら近所の人に聞いてみて下さい。五人に一人は四国出身者のはずですから。

（水谷治人）



七福の湯

遊び心たっぷり銭湯で、文句なしの充実ぶり。ビートバスやローリングバスなど一九種の風呂が揃う。エステ風呂は女性に人気。京阪薄井駅より徒歩約三分。営業時間一時より翌九時まで。第三月曜日が休日。

風呂屋に行かないよ

いつも元気で楽しい僕でもたまにはストレスがたまることがあるのサ。そんな時、手軽なストレス解消法は風呂屋に行くことだ。守口市にはまだけっこうたくさん大衆浴場ってやつが残っている。もちろん家にも風呂はあるけど、それじゃあだめなんだなあ。だって湯船は大きいかい？サウナはあるかい？風呂屋にはそれがあるんだぜ。おじいちゃんもおばあちゃんも大人も子供もちよつとコワイ人もみんな家族のように湯船につかるんだ。

めったに行かない人も多いようだけど、一度行ってみると得した気分になるよ。手ぶらで行ってもたったの五百円程度。それにサウナに入った後にビールを飲むと、これがまたうまいんだ。明日も頑張って働こうって気になるね。

小さな幸せだけど、それが感じられなくては大きな幸せを得られないよ。だから風呂屋に行こうよ。

(中島淳)



司馬遼太郎

作家。大正二年（一九一三年）八月七日生まれ。本名、福田定一。昭和十五年（一九四〇年）「鼻の城」で直木賞を受賞。他に「番馬がゆく」「坂の上の雲」「翔ぶが如く」などのベストセラーを世に送り出した。膨大な資料を駆使し、登場人物が目の前に現れるかのような独自のスタイルの歴史小説は「司馬史観」と呼ばれ、多くの読者を引き添ける。昭和四一年（一九六六年）菊池寛賞。昭和五一年（一九七六年）恩賜賞。平成五年（一九九三年）には文化勲章を受章。

無名時代の司馬遼太郎氏

作家の司馬遼太郎氏といえば、ファンも多く、その存在を知らない人はいないでしょう。この現代日本の偉大な作家と守口との関わりを知っている人はどれだけおられるでしょうか。

司馬氏には妹さんがおられ、戦後浜町の「大塩書院」の隣の旧家の水谷家に嫁がれました。その後司馬氏のご両親がこの妹さんを頼って守口に住まわれるようになり、桜町で司馬氏のお父さんが薬局を経営されていました。（それ以前は難波の高島屋の近くでやはり薬局を経営されていたとのこと）司馬氏はまだ無名の青春時代の一時期その薬局に住んで、勤務されている新聞社に通っておられたそうです。司馬氏の守口の昔を知る方に伺ったところ、昔の東海道や奈良街道にあたる道を考え事をしながら歩いておられる姿を見かけたとのこと。若き日の姿に後の「街道をゆく」のイメージが重なります。

司馬氏は、当時まだ無名でしたが、第二次世界大戦で戦争の悲惨を体験され、戦後「物事を月光よりも太陽の下で見たい」という精神で、「日本人とは何か」を考え続けて来られました。（私は

その意味でも「坂の上の雲」が大好きです)

その後、小説家として活躍され、産経新聞に一九六二年(昭和三七年)から一九六六年(昭和四一年)までの間連載された「竜馬がゆく」が男らしい口マンチズムを刺激し、日本中の学生、青年サラリーマンたちを魅了しました。一九六八年(昭和四三年)にNHKテレビの大河ドラマで放映されましたが、司馬氏の守口での昔の姿を知る人たちがびびくりしたということです。

司馬氏は、妹さんの関係で、今でもときどき守口に来ておられるそうです。

以上、ファンとして、司馬氏と守口との関わりを書かせていただきましたが、最後に、私が好きな司馬氏の素晴らしい言葉を紹介します。

(文化勲章をもらって嬉しいけれど)「ただね、文章は書生でなければ書けない。書生には社会的身分がなく、だれにも属さず、一人前でもない。そういう人間でないと書けない。ごほうびはうれしいが、明日からは忘れようと思っています」

(岡崎隆彦)



市民プール

守口市営のプール。現在、日吉・大枝・八雲・橋波・藤田の五つのプールがある。開設期間は七月一日から八月三十一日までで平日は午後〇時五〇分から午後五〇分まで。日曜日は午前九時三〇分から午後五時五〇分まで。使用料は大人、小人とも一時間二十円。

秘密の思い出

僕は小学生の頃、夏休みになると一つ年上の兄と一緒に百円玉を握りしめて近くの市民プールへ毎日のように通った。

その頃、入場料は一時間二十円で一時間経つと休憩時間がありプールに入っている全員が外へ出された。そして、休憩時間の終わりを告げる合図と共に、僕たちは走ってはいけないプールサイドを歩くような競歩のような急ぎ足で近寄り、これまたしてはいけないとされる飛び込みの一番乗りを競いあった。

かれこれ三時間もプールで遊んでいると目が痒いような痛いような感覚になる。それでも僕たちはトイレへ行く時間も惜しんで遊び続けたのである。すると、どちらかの動きが一瞬止まる。そして、すみやかにその場所から離れるのだ。「したやろ」「した」これだけの会話で二人は通じあう。なんとという気心の通じあつた兄弟であろうか。そのうちエスカレーターして僕は兄の手をつかんで股間へ押しやる。すると兄は何やら暖かい感触を掌に楽しむことができるのだ。

やがてプールの閉鎖時間が近づいてきて、ぼちぼち帰らなければ



日吉プールで遊ぶ子供達

ばならない。着替え室に入ると、大事に大事にしている公民館の利用証、青少年センターの利用証が入っている財布が見当たらないことに気づく。「またやられたわ」「そんなもん持つてくるもんが悪いんや」

そんな僕たちも中学生になって、友達の間でいつの間にか夏休みにはプールへ行くとなれば牧野のヤングプラザへいくことがステータスになり、あの黄色く見える市民プールへははったりと足を運ぶこともなくなってしまった。

このコラムを書くために、今度娘を市民プールに連れていってみようかと久しぶりに覗いてみると、料金はあの二十年前のまま一時間二十円と書いてある。何と一度も値上げをしていないのは驚いた。そして、プールではしゃいでいる小学生にあの頃の僕と兄の姿を重ね合わせ、懐かしいようなそして複雑な気持ちでしばらくの間それを眺めていた。

(篠原拓男)



盛泉寺

東本願寺の末寺で、教如上人を開基として慶長十一年（一六〇六年）に創建され、東の御堂さん、東御坊さんと呼ばれている。本堂は西御坊の難宗寺と同様、元和元年（一六一五年）の兵火により消失し、さらに度重なる風水害を受け天保六年（一八三五年）に再建されたのが現在の本堂。

除夜の鐘を二一六回聴ける場所

十二月は師走というくらい一年間を締めくくる月で忙しい訳ですが、大晦日はそれが最高潮に達する日でありましょう。新しい年をすつきりした気持ちで迎えたいという気分が慌ただしさを加速させます。仕事の残りをやっている人、大掃除をしている人、おせち料理を作っている人、まだ年賀状を書いている人、海外旅行に出掛けた人。大晦日の過ごし方は人によって様々ですが、私の場合は頑ななほど純日本的であります。

何とか夕方までに雑用を済ませて夜の七時頃から家族全員で年越しそばを食べ、お重箱に入り切らなかつたおせち料理の残りをつつきながらテレビを見ます。そして「紅白歌合戦」が終わる頃、「ゴーン」という鐘の音が。「ゆく年くる年」の鐘の音？ いえいえ、そうではありません。実は私の家の並びの左右には五十メートルも離れていない場所に難宗寺と盛泉寺という由緒正しい寺が二軒ありまして、そこからあの何とも言えない「ゴーン」という心にズシンとくる鐘の音が聞こえてくるのです。

鐘は百八回、煩惱の数だけつくと言われていますが、私の家で



盛泉寺の鐘楼

は両方のお寺合わせて計二一六回の鐘の音を左右からまるでステレオ放送のように聞くことのできる非常に貴重な場所だと言えるでしょう。

さて、鐘の音が聞こえてくると私たち家族も鐘につきに出掛けます。普段静かな境内は薪が焚かれ、たくさんの人達が集まります。大人、子供、おじいちゃん、おばあちゃん、若いカップル。そして知り合いの人も、そうじゃない人も誰彼構わず笑顔で新年の挨拶をします。

「あけましておめでとう」

私はこの不思議で素敵な光景を見るたびに少し大袈裟な言い方をするなら「日本人の心」を再確認するのです。

守口は大阪の衛星都市として都市化が進んでしまいましたが、同時に長い時間をかけて育まれた歴史的な遺産、文化があります。まさに守口は古きをたずねて新しきを知ることのできるまちとさえましよう。

ちなみに私は毎年煩惱の鐘の音を聞き過ぎて、子煩惱になってしまいました……。

(水谷治人)



水都祭

商都浪速の心意気を示す代表的な夏の祭典。大阪日日新聞社主催、大阪府・大阪市・大阪商工会議所等が後援。昭和初期からの歴史を誇るが平成七年（一九九五年）は阪神大震災の影響で中止。

復興のシンボル

水都祭？なんで守口やねん。という声もありましたが、花火というものは見るものです。水都祭は、守口市内からでも十分楽しめるのです。外島町あたりの河川敷やマンションからでつかく広がった花火を見ることが出来ます。

さて、取材も兼ねて水都祭を楽しみにしていたのに、今年はずとは!!トホホホ。やはり、阪神大震災の影響があったようです。そこで今回は水都祭の主催である株式会社日々新聞社から頂いた資料を基に水都祭の歴史を紐解いてみました。

何と水都祭は戦前からあったのです。昭和の初め（年月不明）同社が「景気の良い花火大会でもするか」ということになり、中之島で始まりました。大盛況だったらしく見物客が増えたため桜宮を第二会場として使うことになり、名前も水の都の祭りだから「水都祭」となりました。

再び何と何と、戦後はいち早く昭和二一年八月一七日に復活水都祭が行われているではありませんか。こちらのきつかけもおもしろく、同年七月神戸に進駐していた米軍が独立記念の祝典に花

火を打ち上げることになり、同社との交渉の結果わずか一ヶ月後に行われたのです。まさに復興の狼煙です。

同社の昭和二年八月一八日付新聞によると「夜空に奔騰・浪速新生の夢幻郷々昨夕第一回水都祭」と題し「この夜の人出は無慮二〇萬を算し、花火が消え、やうやく秋の夜長が身を感じる深更まで、平和をとりもどした喜びの音が、いつまでもいつまでも續いていた」と締めくくっています。

その後、昭和二五年より桜宮公園も会場に加え、同三八年からは城北公園裏淀川河畔で行われるようになりました。しかしオイルショックの間自粛しその間（昭和五〇年代）、「天神祭船渡御奉賛花火大会」等形を変えて登場、昭和六〇年に第四〇回水都祭が復活。（公害問題への認識から「河川浄化運動」が加わる）そして第四三回はチャリティー形式の催事で行われました。

このように花火大会一つの歴史をとってみても、ちよつとしたきっかけから始まり、「戦後の復興」「オイルショック」「公害」「チャリティー」「阪神大震災」と社会の状況に影響されながら、また、影響を与えながら行われてきたことがわかります。

水都祭はまさにその花火の数、規模、見物人の数からいって、

大都市における花火大会としては日本一ではないでしょうか。水都祭は来年またきつと復活するでしょう。阪神大震災の復興を願いつつ、そして水都祭の歴史に思いを馳せながら、来年の水都祭では宝玉の星の世界に身を寄せたいものです。

(佐藤裕己)

す

水道局

守口市には守口市の水道局以外にも大阪府と大阪市の水道局の施設がある。守口市のほとんどの家庭には八雲にある守口市の水道局からの水が供給されている。また、守口市ではより良質な水を供給するために現在高度浄水処理施設の建設が進められており平成一〇年（一九九八年）より供給予定。

八雲のおいしい水

我々の生活にとつて欠かすことのできないもののひとつが「飲み水」です。阪神大震災でも水、電気、ガスのライフラインの確保が叫ばれていたのがまだ記憶に新しいと思います。中でも水は生命の源であり、安全で安価な水を常に確保しなければなりません。

しかし、水道の水は日頃からまずい、臭いと評判がよくありません。そこで、当編集部でどのくらいまずいのかを目隠しテストで試してみました。まず、守口市の水道水と大阪市の水道水、そして市販のミネラルウォーターとを、同じ温度（室温）で同じ紙コップに入れ、飲んでみておいしい順に並べてもらいました。結果は次のようになりました。

一番まずい	守口	大阪	ミネラル	合計
一番おいしい	五	八	四	十

データは十名と少ないので信憑性にはやや欠けるものの、大阪と他の二つとの差は非常に少ないように思われます。要因として



守口市水道局が販売する高度浄水処理水「もりの水」

は、少し臭いが気になるというのが大半で、味はあまり分からないものが多かったようです。

「最近、水道の水がおいしくありませんわね」

「そこですか。宅ではミネラルウォーターしか飲まないのだからかねますわ。おふるも全部ミネラルウォーターで沸かすんですのよ。オホホホホ……」

「ああ、そこですか」

「それにしてもこのお紅茶、おいしいさまますわね。どのメーカーのお水でお作りあそばしたのかしら」

「あつ、間違えてイソジンを水で薄めたのをだしちゃった……」

水道水とミネラルウォーターとの味の差は思ったほどではありませんでしたが、値段の方は随分と違います。例えば、二百リットルのバスタブ一杯で、水道水でしたら約二十五円ですが、ミネラルウォーターでしたら約二万円かかります。約八百倍ですね。

このように安い水道水を手軽に飲むために、我々は日頃から水源を汚さないよう心がけ、台所からゴミや油を流さないよう気をつけていきたいものです。

(寺崎正也)

せ

千林商店街

大阪市旭区の北東部に広がる商店街。主にアーケードの設置されている千林商店街と今市商店街と周辺の商店街を併せて地元では千林商店街という。戦後の闇市から発展した商店街で一歩足を踏み入れると迷路のような細い路地にまで商店が密集している。また、大阪でも物価の安いところとして知られ、かつては門真・環屋川などからの買物客も多く見られた。

私のお薦め千ぶらコース

日本一か大阪一かは定かではないが、とにかく長い商店街として有名ならしい。このコラムを書かせていただくことになり、一度測ってみようと思っただけだが、親切問となりすっかり記者気分で書いている私としては、肌で直接感じた無名の小ネタをお伝えしたい。とにかく、私と一緒に千林商店街のツアーへ出かけたいませ!!

まず、京阪千林駅の改札を出てすぐ正面、今はラーメン屋となつてるところがかの有名なダイエー発祥の地。(注、記念碑はない)そして「探偵ナイトスクープ」(朝日放送TV)でも採り上げられたりせんばやあらし商店街の歌をBGMにアーケードの下を歩いていくと、TV番組というと必ず登場する千林商店街の顔「伊勢屋のおっちゃん」を始め、威勢のいい元気な声があちこちから聞こえてくる。個人的にはトパス手前の角にある果物屋のおっちゃんのすんごいタミ声を私はお薦めしたい。このタミ声おっちゃんの「甘いで、甘いで」という洩うい声がたまらない。私は「このおっちゃんのかくし芸は「がまの油売り」に違い



賑わうアーケード

京阪電車千林駅前の現在はラーメン屋となつているところがスパーダイエーの発祥の地。現在は系列のデイスカウントストア・トボスが商店街の顔になつている。商店街の中を歩くと必ずと言っていいほどトボスの黄色い買物袋を持った人に出会える。

ない」とらんでいるが、もしかすると果物屋がかくし芸かもしれない？

千林には沢山の薬局があり、当然いずれも超特価がご自慢である。それを証明するエピソードをひとつご紹介しよう。昨年か一昨年、ダミ声おっちゃん店の近くの某薬局の天井が落ちた。何でも、安く沢山仕入れた在庫を置きすぎたのが原因らしいが、安値へのこだわりが有名となったこの薬局へ「買いに行きたし、でも天井落ちたら怖し」と千林の主婦は究極の選択をせまられた。悩んでいる主婦は放つておいて、ちよつと方向転換。トボスの外壁に沿つて所狭しと様々な店が軒を並べているが、何とここが京阪千林駅からトボスまでの近道なのだ。週末や特に年末などはアーケードの下は心齋橋並みの人出で十〜二十分かかるところを、この近道を利用すると三〜五分というスイスイさなのである。実はここにも私のお薦めがある。まずはトボス入口横の焼き鳥兼お総菜屋さんみたいなお店。いつも、AMラジオを大音量でかけている。私も営業ウーマン生活をしていた頃は一人車の中でラジオをよく聴いてクツクツと笑っていたものだが、このお店の方々は通りがかりの私が思わず笑つてしまいそうになるタイミングに

も料理の鉄人となつて決して笑つたりしない。聴いていないのかと思つたりもするが必ずかけているし、高校野球のシーズンはいつも中継しているの、突然野球の結果が気になつて仕方がなくなつた時はこのポイントをお薦めしたい。

次にいつも蛍光赤色札の家具屋さん。こんな狭い道沿いにある家具屋さんを私は他に知らない。荷入れや荷出しを何処からしているのか？謎の家具屋さんである。この本のタイトルは「千林商店街」ではないので私の小ネタもそろそろこの辺りにしておこう。最後を飾るのは謎の家具屋さんを横目に突きあつた辺りにあるクリーニング屋の大将である。「これぞプロ!!」と思えるその玄人気質（この大将のことを私は実際よく知らない）に、素人の私は圧倒される。真夏でも扇風機だけで汗だくになつて思いアイロンを扱うこの大将に、「ナツプサツクさげてピクニックか？」と突然声をかけられ、一応流行りのリュックスタイルのバッグをもつていた私は、「えつ、あ、はい。ハハハ……」とドギマギ返答し、何だか少し嬉しくなつた。念のため言っておくがクリーニングの腕も確かで私の超お薦めである。

忘れるところだつたがもうひとつ私のお薦めがあつた。千林商



正面がトボスの入口

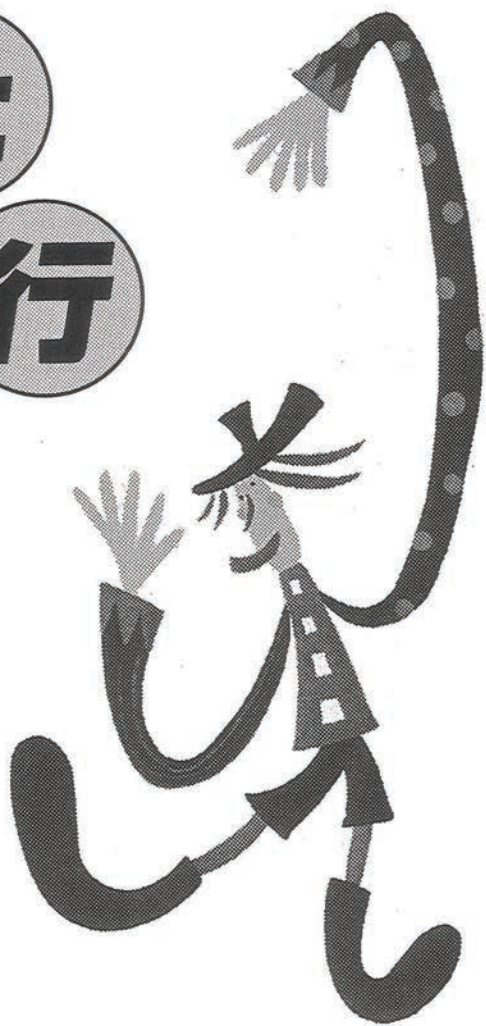
店街のツアーも終え、再び京阪千林駅に戻ったところにある靴屋のご主人だ。顔を会わず風でもなく、店の奥の方からチラツと私の顔を見つけたというタイミングでも、いつも腰低く「こんにちはあく、いつもありがとうございますう」と、柔和な笑みをたつぷりとご挨拶して下さい。でも私は五百円のスリッパを買ったことが一度あるだけなので、ご挨拶されるたびにとつても胸が痛む。いや、これぞ「商売人の鏡」なのだ。あーなんて勉強になる事多い千林なんだろう。

つまり、安くて勉強になつて、帝塚山の奥様方にも人気のベーカーリーまである、こんなにもエクセレントな千林商店街を私はお勧めしたいわけである。千林商店街ツアーはこれで終わりだが、各々で、また何時でもお出かけ下さいまし！では、また「千林商店街」でお逢いいたしましょう。

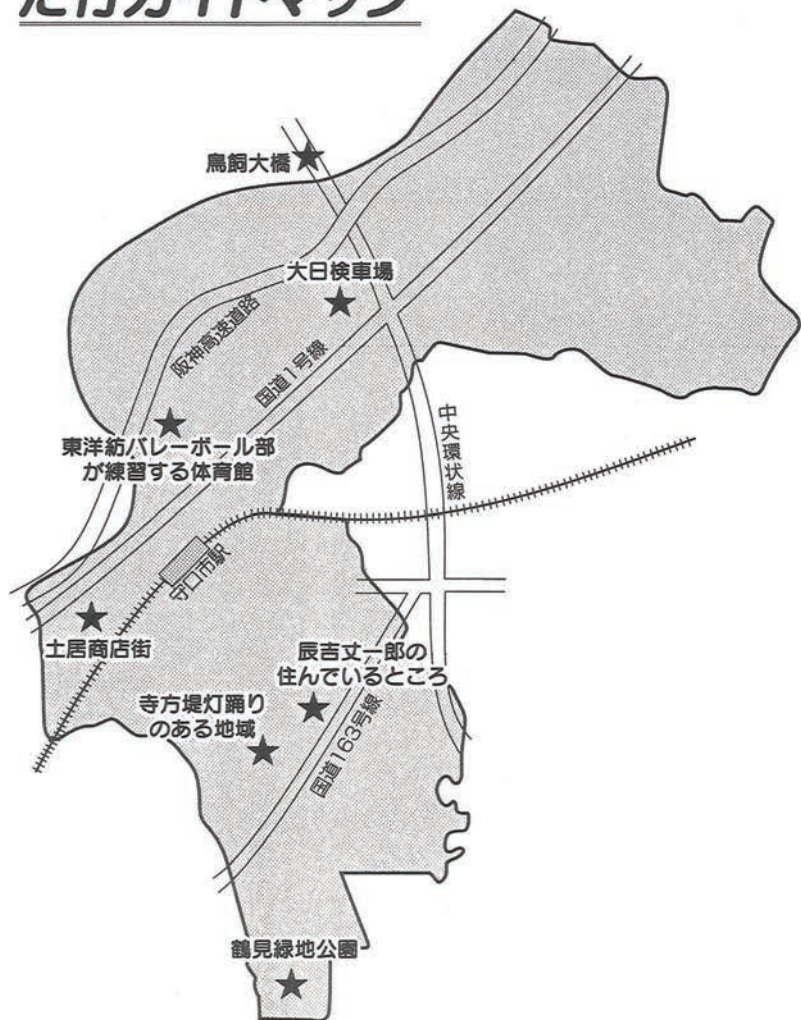
(嶋村ひとみ)

た

行



た行ガイドマップ



た

辰吉丈一郎

昭和四五年（一九七〇年）五月
一五日生まれ。元WBC世界八
ンタム級チャンピオン。守口市
在住。網膜剝離により一度は選
手生命が危ぶまれたが、平成六
年（一九九四年）一二月に薬師
寺保栄との王座決定戦で復活。
試合は判定で敗れタイトルを失
ったものの、チャンピオン復帰
に向けて現在も挑戦中。

ボクサー・ジョー

「ボクサー・ジョー」という映画をご存じでしょうか？もちろ
んですよね。守口のまち（文禄堤や淀川河川敷など）を舞台にし
た辰吉丈一郎さんの映画ですから、エナジーホールで上映された
時には守口市民のほとんどの方がご覧になったことと思います。

実は監督はじめ撮影スタッフ約二十名が私が営んでいるピジネ
スホテルに宿泊され、私が朝食のお世話をさせて頂いておりまし
た。でも毎朝食べるのは五、六人だけで、理由を尋ねると毎朝四
時頃まで酒盛りをやつて朝起きれないとのこと。朝食抜きはい
いけど、仕事はちゃんとできるんだらうかと思つて「そんなんで
撮影大丈夫なんですか？」と聞くと、「一昔前の人達に較べたら
かわいらしいもんだよ」ですつて。日本映画全盛の頃はすこかつ
たんでしようね。その頃の俳優の顔ぶれを思い浮かべるとわかる
ような気がします。

ところで何を隠そう私めもこの映画に出演しています。しかも
河川敷の上の道を歩く後ろ姿のみという大役です。え？全然すこ
くない？失礼な!!背中での演技はとても難しいので私しかいなか



守口市身体障害者福祉会もちつき大会で（左は喜多市長）

つたのです。そうでも思わないと十一月の寒い中、Ｔシャツ一枚で何度も取り直しをし、次の日に風邪を引いて熱を出した自分があまりに情けないでしょ。でも宇崎竜童さんはじめ、共演の役者さんは一日中河川敷にいて私の何倍も寒い思いをしてるわけで、役者もはたから見てるほど楽なもんじゃなくつくづく感じました。いまでも鼻を真っ赤にして熱演している宇崎さんの顔が目に見えます。

最後につれしいニュースを一つ。プロデューサーからエキストラの依頼があつた時「僕のギヤラはロバートレッドフォードなみですよ。それに主役じゃないとね」と言つたら「うん。じゃあ、次の企画で監督に推薦してみますね」という返事が返ってきました。舞台は必ず守口にしてもらうつもりです。近い将来守口の皆さんとスクリーンでお会いできる日を楽しみにしています。

（奥山享司）

ち

地下鉄谷町線

大阪市営地下鉄二宮線。昭和四二年（一九六七）三月二七日、東梅田より谷町四丁目間開業。翌年谷町四丁目より天王寺間が開通。東梅田より都島間は昭和四九年（一九七四年）に、守口までは昭和五二年（一九七七年）に、大日までは昭和五八年（一九八三年）に延伸された。現在は大日より八尾南間二八・三キロを営業しており、現在大阪市営地下鉄路線最長の路線である。

地下鉄の謎

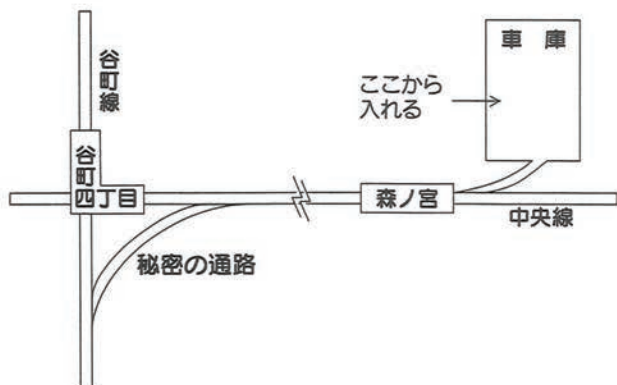
「最近、すんごく気になることがあってねえ」

「何が気になるのよ」

「一体全体、地下鉄に車両をどっから入れるんでしょうねえ。それを考えると一晩中夜も寝られなくてねえ、困っちゃいましたよ」という地下鉄をめぐるナゾが随分前から取りざたされていたが、遂にこの本でそのナゾが大胆に解き明かされるのです!!

そもそも大阪に地下鉄が初めて開通したのは昭和八年で、梅田から心斎橋までの三・一キロを五分三十秒で運転しました。その頃の車両の出し入れは、難波付近に縦穴を開けて、ゆつくりとクレーンでしていたそうです。地上の道路にもあまり自動車が行っておらず、のんびりと作業できたようです。今では地下鉄全線で一〇四・三キロの営業キロ数で、一日平均二百七十四万人の人々の足として利用されています。そんなだけの人が乗ったら車両もくたびれるし、新車も入れなアカン。しかし谷町線は全線地下を通っており、どうやって車両を出し入れするんでしょう。

守口と大日の間に、大日検車場という地上の車庫があり、当初



はここがくさいとらんでおりましたが、聞くところによりまず
 とここは車両の検査をしたり乗務員が交替するだけとのこと。そ
 したらいったいどこから入れるんや……。実は谷町四丁目の横に
 秘密の通路があり、そこを通って一旦中央線に入り、そこから森
 之宮駅横の地上へ続く通路を通り、森之宮検車場という所へ行き
 そこで車両を入れ替えるんやそうです。もちろん中央線もそこで
 入れるし、千日前線も入れるそうです。夜中にはそれらの回送車
 両が一杯停まってるそうです。

「ゆうべはホント、疲れちゃいましたよ」

「いったいどうしたの」

「いやあ、守口まで地下鉄の最終に乗って帰ったんだけど、酔っ
 払っちゃって寝過ぎしちゃってねえ。気がついたらなんと森之宮
 車庫まで行ってねえ」

「それで帰って来れたの」

「いえね、お金も無いんで仕方ないから朝まで大阪城のまわりを
 ジョギングしちゃいましたよ」

てなことになるかもしれないですね。

(寺崎正也)



通過都市

守口市は国道一号线・一六三号线・中央環状線・内環状線・高速道路などの道路網と、地下鉄谷町線や京阪電車などの鉄道網が市中に張り巡らされ大阪市内や京都へ行き交う人や車の通り道と言われている。

交通の便利さ

突然一句、「守口や 三疊一間の 暮らしかな」おそまつ。

みなさん、この意味わかりますか。この句は私が六年間守口に住んで感じる素直な気持ちを表したものです。つまり、守口というところは、座ったままで欲しいものに手が届くような三疊一間の生活のようにとどこへでも気軽に簡単に行ける便利なまちだということですよ。

言うまでもなく、梅田まで地下鉄で十五分、京都まで京阪電車で五十分、それから近畿自動車道から名神・西名阪へ、さらに阪神高速にもすぐ乗れる。極めつけは閑空エアポートバスの始発地であるということですよ。まるで守口を中心に交通網が整備されたような錯覚さえ受けてしまいます。こう思うのは私だけでしょうか。みなさんよく考えてみて下さい。あそこに行こう、ここに行こうと思った時、守口はあらゆる方面への出発点として最高に優れたまちなのです。巷では守口のことを「通過都市」と呼んでいるらしいですが、とんでもありません。住む者にはとても便利な「起点都市」なのです。

(奥山亨司)



鶴見緑地公園

平成二年（一九九〇年）に「国際花と緑の博覧会」が開催された守口市南部と大阪市鶴見区にまたがる公園。敷地は二二六ヘクタール。「咲くやこの花館」や展望台のある「いのちの塔」、オランダ風車が立つ「風車の広場」や「花棧敷」など、見どころ満載。

或る日曜日

〇月〇日（日） 晴れ

今日は日曜日だけど、誰も誘ってくれない、特に仕事もない、もちろん彼女もいない……。こんな日、僕は愛犬二匹を自転車の前と後ろに乗せて、鶴見緑地公園へ散歩に行くのです。

「西三莊ゆとりみち」から続く、ゲートから入つてすぐの自転車置場に自転車を止め、山のエリアへ。エリア玄関から上り坂になつているメインストリートを階段に突き当たるまで行くと、左側に守口市の刻印のある花壇？の様なものがあり、サツキとクスノキが植えられています。さらに、この謎の花壇を背にすいすいと坂を登り切ると、うわーといった、ここはどこ？あるわあるわ、世界各国のガーデンパビリオンが。タイランドのパビリオンはキンピカでちよつと趣味が悪いぜ。公衆トイレの案内標示まで中国語と英語と韓国語と、もう一つは何語かな？と四ヶ国語で書かれていて、とっても国際的。

ここからエリア最高峰の鶴見新山を目指して、さらに上ります最後の緩い傾斜の階段を登り切つて回れ右をすると、目前に素晴



鶴見緑地公園（写真左がいのちの塔）

らしい展望が開けます。これをパノラミック・ナイス・ビュー・オブ・守口。プリンスホテルからツインタワーまで、よう見えませんがな。今度は双眼鏡を持って来よう。

景色を堪能して、鶴見新山を南側へと降りると、巨大な風車が見えてきます。実はこの風車が謎の風車でして、羽根をよく見ると骨組みだけで、とても風を受けて回っているとは考えられない。多分、電力で趣を醸し出すために回しているのでしょう。ちよつと無駄なような気がしますが……。

風車を左手に見てバラ園を抜けると、日本庭園が現れます。なかなか落ち着けるたたずまいではありません。でも小川を流れる清流？は緑色で少々気持ち悪い。

大池に沿って進むと、ゲートの隣に茶店があり、うどんのノボリが立っています。さらに行く……。あつ、もう紙がない。おくだれか、紙や紙!!アホ、誰が便所の紙持って来い言うてん!!とりあえず、これではほ山のエリアを一周しましたが、まだまだ紹介されないスポットがたくさんありますので、後は皆さんが実際に自分の足で鶴見緑地を探検してみてください。

(岡田善雄)



鶴見緑地公園

大規模なこの公園は四つのゾーンに分けられる。豊かな自然とのふれあいが楽しめる「パークゾーン」、華やかな庭園や花壇のある「ガーデンゾーン」、花博記念施設のある「プラザゾーン」、球技場などの施設や花や緑に関するカルチャー施設のある「スポーツ・コミュニティゾーン」がある。

鶴見緑地の地下は「川」

平成二年に開催され、入場者数が二千三百万人にもなった「国際花と緑の博覧会」はあまりにも有名ですが、その会場となった鶴見緑地も今や全国区となり、日曜日なんかは家族連れでたいそう賑わっています。花博の時のパビリオンの部分が芝生の大広場になってたりして子供達には人気があります。緑地のそばのマンションなんぞに至っては、環境が良いということだけっこう値が通ったりしています。

今は非常に整備され綺麗なイメージの鶴見緑地も、昔は一面にハスが自生する湿地帯でした。戦時中は防空緑地になっており、昭和三七年より公園として事業着手され、大阪市が周辺の土地を買い足したりしていました。本格的な造成工事は昭和四五年から始まり、その頃盛んに行われていた地下鉄工事の残土や建築廃材、また家庭からの廃棄物、いわゆる「ゴミ」など、トラック二一五万台分で埋め立て、大阪市内最高峰、標高四五メートルの鶴見新山を築き上げました。そして平成二年の花博に向けて百億円以上の事業費をかけて今のきれいな鶴見緑地になったのです。

そついえば子供の頃、「夜に緑地のそばへ行くと火の玉みたいなもんが光ってるけど、あれはゴミから出たメタンガスが燃えてるだけや」と、知ったかぶりの友達が言うてました。

「二十年前の引越しの時にゴミと間違つて捨てた財布が見つかったん」

「へえ、どこで」

「昨日、嫁はんとうちのボチ連れて鶴見緑地を散歩したら、ここほれワンワンみたいに吠えるんで、ユンボで五メートルほど掘つたら出てきてん」

「そら良かったなあ」

「ええことないねん」

「なんで」

「財布の中のピンサロのサービス券、嫁はんに見つかつてしもてん……」

というように、今でも鶴見緑地の地下を掘り返せば、昔捨てた想い出みたいなものが出てくるかも知れませんよ。

(寺崎正也)



寺方提灯踊り

守口市を代表する郷土芸能で発祥年代は定かではないが、昔は一子相伝、世継者のみで門外不出といわれ、密かに引き継がれてきた。しかし、文化・文政の頃から寺方地区で盛んとなり、河内普頭寺方節に合わせ、太鼓を使った囃子と片手に提灯を持った独特の踊りは他に類のない珍しいものである。

伝統芸能はいかにあり

守口市郷土芸能「寺方提灯踊り」の最初は素手で始まります。そして、途中から紅提灯を手にして乱舞し、提灯の火を消さないところに特徴があります。この独特な踊りは、昭和四七年の全国郷土芸能祭の際、NHKテレビで全国に紹介されて有名になりました。

この提灯踊りの起源は江戸時代に遡ります。旧寺方荘を始めとする十二力村の地域は、低湿地帯で排水が悪く、常に水害に悩まされてきました。寛永十一年（一六三四年）、庄屋の喜左衛門が農民を救済するために閘樋の設置を幕府に嘆願しましたが、許さず、意を決して無断で設置したため処刑されました。

人々はこの喜左衛門への報恩と慰霊のためにこの踊りを極秘に行ったと伝えられています。また、明治十五年にはその徳を慕って建碑され、毎年命日（三月十五日）に法要が営まれています。郷土のために命を懸けられた先覚のこの気高い行為を市民の誇りとし、この踊りを貴重な文化遺産として継承していくことが郷土を愛する意識を高めることとなります。

ニューウエストミンスター市：
カナダの太平洋岸にある古都
で、バンクーバーの近郊、太平
洋の内陸約三キロメートルに
位置している。人口約四万五千
人、面積一八・一三平方キロメ
ートル。昭和三八年（一九六三
年）四月に守口市と姉妹都市提
携。

そのような意味から注目されるのが、この寺方提灯踊りを保存する運動に取り組んでいる「寺方提灯踊り保存会」です。この会は昭和四六年に創設されて、寺方提灯踊りの保存・継承に努力し、その成果を守口市民まつり等各種行事で披露しています。

また、昭和五四年に「寺方だんじり囃子保存会」が結成され、平成元年に「だんじり」が大修繕されました。だんじり囃子に使用している大太鼓は、文政十二年に池田屋善兵衛によつて作られたものです。

昭和六二年十月に姉妹都市提携をしているカナダのニューウエストミンスター市のトム・ペーカー市長が守口に来られた際にはペーカー市長がだんじりに乗られて楽しい一時を過ごして頂いたこともありました。

このように、寺方地域には地域に根づいた伝統的な行事が若い世代に受け継がれています。守口のような都市部では珍しくなっているこのような運動をとりあげ、そのあり方を参考にして、ふるさと意識を持たせる運動に結び付けていく工夫が求められています。

(岡崎隆彦)



東海道五十七次守口宿

守口に宿場が置かれたのは大坂夏の陣の翌年の元和二年（一六一六年）といわれている。徳川幕府が公称した東海道とは江戸日本橋から大坂の高麗橋までで守口は東海道の五十七番目の宿場であった。本陣や問屋場などの公的機関が設けられ、人足百人が常備されていた。

ご存じですか守口の歴史

守口にはいつ頃から人が住み始めたのでしょうか。

守口の歴史は、八雲遺跡の発掘調査により出土した遺物から縄文時代までさかのぼることができます。その後、弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国・江戸・近世へと引き継がれてきたと考えられます。

その古代からの膨大な歴史の時間の流れの中で、そして守口市内にある数々の歴史的文化的文化財の中で、時代を江戸時代、場所は東海道ということに焦点を絞って、守口の歴史についてお話をしたいと思います。

守口は江戸時代、大坂と京都を結ぶ京街道（または大坂街道）の宿場町であったことは多くの人が知っています。しかし、京街道と言うのは東海道の一部であり、一般旅行者や街道の民衆が大坂と京都の間を特に京街道または大坂街道と呼んでいたことは余り知られていません。また、東海道の宿場は品川宿から大津宿の五十三次と思われていますが、本来は徳川幕府が公称した東海道の宿場はこの五十三次に伏見宿・淀宿・枚方宿、そして守口宿の



難宗寺横の道標

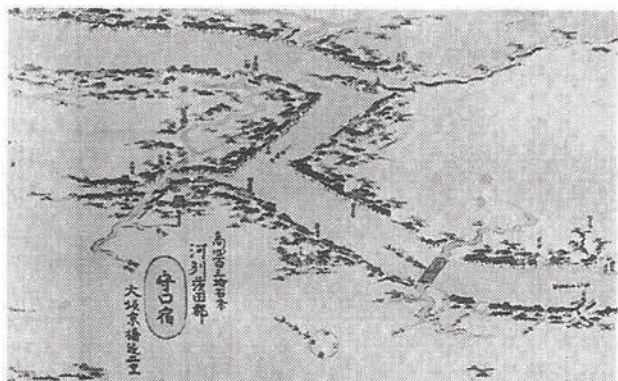
四つの宿場を加えた五十七次が東海道の宿場でありました。

なぜ、東海道が江戸日本橋から京都三条大橋までの街道で、宿場が品川宿から大津宿までの五十三次と言われるようになったかの理由としては、十返舎一九の『東海道中膝栗毛』や安藤広重の『東海道五十三次』の浮世絵が広く庶民に親しまれたために、民衆の間でそのように理解されることになったからと考えられます。

そして、この東海道（京街道）は、現在京阪守口市駅の北側に一段高くなった文祿堤の上を通っていました。

この文祿堤は、文祿三年（一五九四年）に伏見城を築いた豊臣秀吉が、同五年（一五九六年）二月、毛利輝元・小早川隆景・吉川広家、の三人に命じて、淀川堤防を修築して、伏見城と大坂を結ぶ道路としたもので、その長さは約二七キロメートルといわれ、京・大坂間の交通に画期的な変革をもたらしました。

関が原の戦（一六〇〇年）によって覇権を確立した徳川家康は、幕藩体制を維持することを目的に、江戸の日本橋を起点とする「五街道」として、東海道・中山道・甲州道・奥州道・日光道を整備し、各街道に宿場を設け、幕府道中奉行が直接支配、管轄し



東海道守口宿の絵図【東海道分間延絵図】

ました。

そして、各街道に宿場が設置され、守口は一六一六年、徳川幕府により東海道の宿場まち「東海道守口宿」に定められました。

幕府は将軍・大名・外国人・幕府役人に脇街道を通行せずこの東海道を通行することを義務づけていましたので、江戸時代、多くの大名行列が、この文禄堤を行き交いました。時には何千人もの大名行列が通り、当時の守口のまちが宿場まちとして、活気を帯びていたことが想像されます。

現在、守口宿の中心であった竜田通には、今はその面影を偲ばせるものは余り在りませんが、難宗寺や白井さんのお宅が今でも当時の面影を偲ばせています。

西暦二〇〇一年に東海道は四百周年を迎えます。守口は一六一六年十二月十八日に東海道の宿場まちとなったので守口にとつては二〇一六年かも知れませんが、そのような時代をむかえるに当たり「文化都市守口」の文化を織りなす一本の糸である歴史、その一コマである江戸時代に、この守口が東海道の五十七番目の宿場であったという事実を今後とも大切にしたいと考えます。

(江端豊和)



東洋紡バレーボール部

東洋紡オーキス。オーキスは野生の蘭を意味する。工場単位でチームを作り幅広く活動していたが、六人制バレー発足を契機に守口工場にチームを集約し、昭和四二年（一九六七年）に日本バレーボールリーグに参加。全日本代表のエース大林素子や中野由紀を擁し、Vリーグ優勝を目指している。

君は大林を見たか

いや、凄い人がわが町にやってきたものである。全日本女子バレーボール代表のエース、大林素子選手が守口にやってきたのです!! Vリーグの東洋紡とプロ契約を結んだ彼女は今のところ日本で数少ないプロバレーボール選手の一人である。その彼女が外島町の東洋紡体育館で練習に励み、また時には守口の町を徘徊しているという噂も耳にする。早速、目撃者の証言を聞いてみよう。

「たまたま、東洋紡体育館の隣のスーパーにヤンママウオッチング……じゃなくて買物に行つたときに見たよ。テレビで見るよりだいぶ別嬪やつたで〜!!」(Nさん 三十才 製造業)

「見たわ、大林さん、京阪百貨店で。自分に合いそうな靴、一生懸命、探してはつたみたい……」(Tさん 三三才 広告業)

このように続々と現れる目撃者。大林選手は今やまぎれもなく、我々と同じ地元の一員だ!! (ほんまかいな?)

一九九八年度を目標に、日本バレーボール協会はプロリーグの実現を目指している。つまりわが守口にプロチームができるかも。頑張れ、東洋紡オーキス!! 君は大林を見たか!! (岡田善雄)

と

鳥飼大橋

昭和二年（一九四七年）完成。完成当時は木造の橋であった。現在の鳥飼大橋は昭和二十九年（一九五四年）に完成。交通量の増加に伴い昭和四五年（一九七〇年）二本目の橋を架橋。現在、モノレールの橋も建設中。



当時の鳥飼大橋料金所

全国初の有料橋

現在の鳥飼大橋（北行・守口から摂津）は、昭和二十九年に完成しました。しかし、それより七年前の昭和二十二年に鳥飼大橋は完成していたのです。ただしそれは木造の小さな橋であり、まだ淀川左岸側（守口側）の道路が未整備であったためにそれほど重要視されませんでした。

その後左岸側の道路整備が進み、自動車交通の発達につれて既設の長柄橋と枚方大橋だけではいよいよ間に合わなくなってきたため、両橋の間、淀川中流部に架かる橋として鳥飼大橋が注目され、二年の歳月を費やして新橋が建設されました。なお、木造の旧橋は昭和三五年まで新橋とともに使用されていました。

新しい鳥飼大橋は、昭和三十一年から昭和三九年までの間は全国初の有料橋として日本道路公団が管理していました。（その後大阪府に移管されました）有料道路橋であった間は、私が生まれてから小学校三年生までの間です。記憶にはほとんど残っていませんが、広報誌に載っている料金所の写真を見ると当時の思い出が、かすかによみがえってくるようです。

昭和四五年の大阪万博開催に伴う大阪中央環状線の開通により橋がもう一本架けられ、昭和二九年開通の橋は北行に、この年開通の橋は南行として使用されています。交通の便が良くなったことで工場・倉庫の移転や宅地化が進み、当時の鳥飼村は昭和三一年に合併により三島町になりました。橋の交通量は格段に増加し守口には車があふれる結果となりました。昭和三九年四月の無料化も予定を大きく繰り上げての実施だったとのことです。

そして平成六年にはモノレール用の橋がかかり、平成九年に開通の予定です。今後とも鳥飼大橋は南北交通の道路・鉄道の中心的役割を果たすものと考えられますが、昼間の渋滞がやまない橋を見るにつけ私にはのどかであった「有料橋」の時代がなつかしく感じられます。

(児玉慶典)



土居商店街のアーケード



土居商店街

旭通り商店街・京阪商店街・京阪東通り商店街・京阪駅前商店街・京阪中通り商店街の五つの商店街からなる京阪土居駅の北側に広がる商店街。守口市内で唯一のアーケードを持つ商店街として有名。

土居商店街をぶらり

京阪土居駅と地下鉄太子橋今市駅の間の商店街は五つの商店街からなっておりそれぞれ名前が違いますが、そんなことはおかないなしに誰もがひとまとめに土居商店街と呼んでいます。

以前からアーケードもあり、道路のカラー舗装も非常に早かったようです。このカラー舗装ができた当時は、非常に珍しくかつこ良かったと記憶しています。しかし、雨の日や清掃等で路面が濡れていると、摩擦係数が非常に下がり、この上を自転車で行く時のスリルといったらたまりません。高齢者や女性がよく転倒していたものでした。(現在は改善されました)

その一角に超高層十階建の市営団地が建っております。この団地は日吉町と金下町という二つの町名が共存しており、お隣りと壁を隔てて隣町となってしまうので、別の町でありながら同じ建物の中のお隣りさんへ郵便が配達されるのであります。また、団地に囲まれた三階には、盆踊りができてしまうほどの広場があるのを恐らく皆さんは知りますまい。

(篠原拓男)

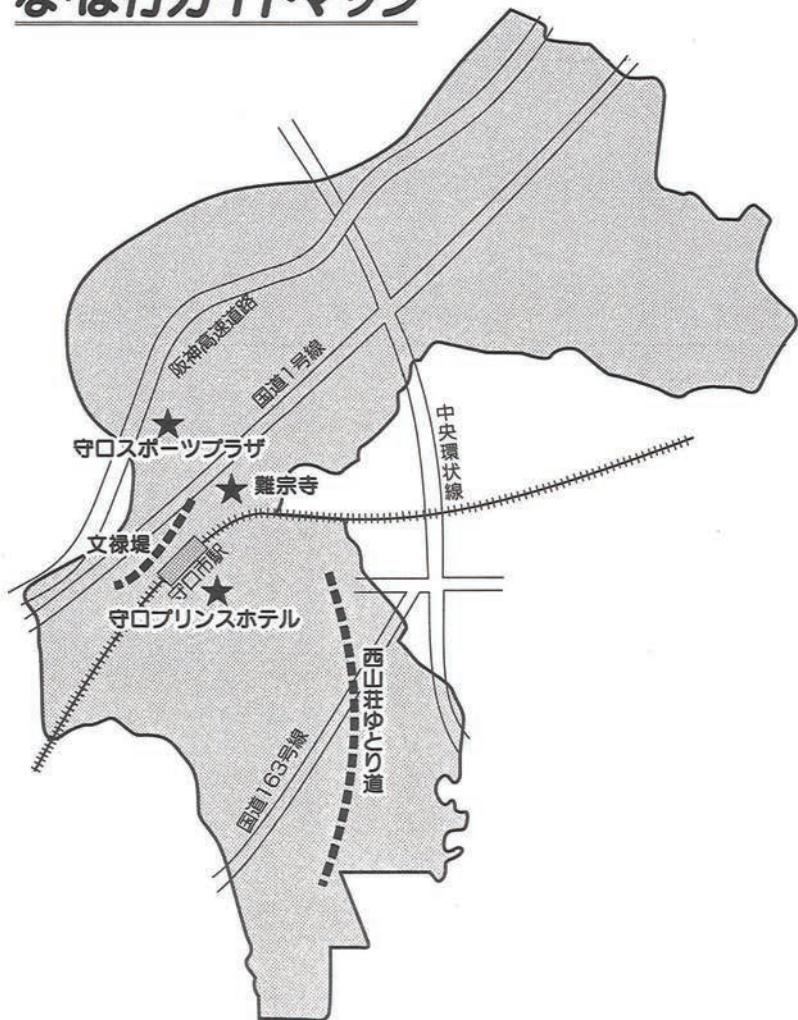
な

は

行



な・は行ガイドマップ



な

難宗寺

文明七年（一四七五年）吉崎を退出し枚方市出口に光善寺を創立した蓮如上人が文明九年（一四七七年）に創立した守口御坊が始まりと伝えられている。境内には樹齢五百年の大イチョウがあり、昭和五〇年（一九七五年）に大阪府の天然記念物に指定されている。



難宗寺の大イチョウ

いちじょうの葉の絨毯（じゅうたん）

京街道の守口宿のあつた竜田通に難宗寺がある。その本堂を包み込むかのようにいちじょうが立っている。木の高さ約二五メートル、直系約一・五メートル、枝張約十五メートル、樹齢は約五百年。気の遠くなるような年月である。ずつといちじょうは私達のまぢを見続けてきた。

毎年春になると何十万もの新緑が芽吹き出す。夏には空を覆う程の新緑となり、秋にはそれがまばゆい程に黄葉する。そして晩秋の報恩講の頃には、それら何十万もの葉が木枯らしの風とともに一斉に舞い降りて、あたり一面に黄色い絨毯を敷きつめるのである。こんなに美しい絨毯を私は他に知らない。季節を感じながら今年も息子と一緒にこの絨毯の上を歩いた。

冬の間冷たい風にさらされて寂しそうに立っているいちじょうだが、来年もまた何十万もの新緑をつけることだろう。その力強い生命力が見るものを感動させてくれるに違いない。息子の代にもそして孫の代にも。

（水谷治人）

に

西三莊ゆとり道

鶴見緑地から天乃橋までの南北約一・九キロメートルにわたる西三莊用水路を暗渠にして作った遊歩道。この西三莊ゆとり道はテーマ毎に五つのゾーンに分けられており、南から、豊かな広がりや開放感を与えている「緑と空間のゾーン」、光・音・風が想像力をかきたてる「文化・教養のゾーン」、身体を動かして心地よい汗を流し、リフレッシュできる「フィットネスゾーン」、山河・野辺・まちのそれぞれの川の流れを表現し、水と親しめる「水のゾーン」、花を通じて四季の移り変わりを身近に感じてもらえる「花のゾーン」となっている。「水のゾーン」は平成八年（一九九六年）に、「花のゾーン」は平成九年（一九九七年）に完成予定。

私のポリシー

その地じつくりと腰を下ろしてみないと解らないことが多々ある。私が旅をするときにいつも思うことである。これは何も旅に限ったことではない。何事もじつくりと腰をおろしてしないことには何も身につかない。私のポリシーである。

何やら守口市に「西三莊ゆとり道」という新名所ができつつあるらしい。新し物好きでもある私はさっそく腰をおろしに出掛けることにした。何度も言うがこれが私のポリシーである。「腰おろしの赤塚」と呼んでくれたまえ。

さて、まずは日曜日を狙ってみることにしよう。期待通り、いろんな人がいろんなスタイルで楽しんでいる。散歩中の上下ジャージのおばちゃん。走り回っている小学生。ベビーカーを押しているお母さん。案内板を見て守口市の歴史を偉そうに我が子に教えるお父さん。実に様々である。通りゆく人達の顔を見ているだけで、楽しく朗らかな気分になれた。

次は平日にぶらりと寄って腰を下ろしてみた。人っ子一人見当たらない。待てども通る人はいなかった。さすがに平日の真っ昼



西三莊ゆとり道

間だからであろう。帰ることにした。が、その時、面白い光景が目に入った。一台の車が停まっては走り去り、また一台の車が停まっては走り去る。そして停まる場所はまったく同じ場所なのである。私は思わずそこへ駆け寄ってみた。なんとそこはゆとり道の中にある、恰好の良い「公衆トイレ」だったのだ。今度はその横のベンチに腰をおろし、次の車を待つてみる。すぐに来ました。白のライトバン。ネクタイ姿のおっちゃんが降りてきて、駆け足で飛びこんでいく。ここは営業車に乗るビジネスマン御用達公衆トイレだったのである。その数なんと、私が見ていた少しの間で五台もの営業車が停まり、七人ものお役に立っていたのである。想像もしていなかった平日白昼のゆとり道。すごい発見をしたかのような大きな気持ちになって、私もそこで用を済ませてから帰ることにした。

その地にじつくりと腰を下ろしてみないと解らないことが多々ある。あなたも「西三莊ゆとり道」でじつくりと腰をおろしてみませんか。

(赤塚康彦)



ピバ守口

守口フィットネスリゾートまたは守口スポーツプラザとも言い、夏はプール、冬はスケートを楽しむ施設。また、淀川河川公園のサービスマスターもあり、公園のテニスコートや野球場など運動施設の使用のについてはこのサービスマスターに申し込めばよい。

ガンバレ!! 守口スポーツプラザ

昭和三十年代に生まれた小生にとって少年期の娯楽施設といえは映画館・アイススケート場・ボウリング場であり、青春そのものであった。昭和四十年代の終わり頃までは、守口にも映画館やボウリング場は何軒もあり、小生もよく通ったものである。

しかし、時代の流れとともに小生の愛するそれら娯楽施設は守口から姿を消してしまい、映画は今やビデオの時代となり、ボウリングは昔の低迷期ほどではないにしろ必ずしも娯楽としてはメジャーではなく、アイススケートに至ってはあの桜ノ宮のアイススケート場まで閉鎖された今日この頃、一体大阪では何処でアイススケートをすればいいのかわからないほど廃れている。

しかし、あるのである。小生の愛する娯楽施設があるのである。守口には小生の言う娯楽施設であるアイススケート場があるのである。今や絶滅寸前のアイススケート場が守口にあるのである。その名を守口スポーツプラザ。通称、ピバ守口という。

ピバ守口は夏はプール、冬はアイススケート場として、それぞれ「ピバプール」、「ピバスケート」として営業し、一部の市民に

親しまれている。しかし、たまに駅などでその割引券をもらった記憶のある人もいるだろうが、必ずしも全守口市民に浸透しているとは言いえないようである。

ここで小生は提案したい。みんな「ビバスケート」に行こう。

この大阪でも数少ないアイススケート場を何としてもメジャーにし、小生の青春の頃のようにアイススケートをメジャーな娯楽として復活させてみたいものである。聞けば近頃の若者はアイススケートをしたことがない輩が大変多いとのことであり、小生としては嘆かわしいことの上ない。

そして、いつの日かアイススケート場に若者が集い、そこに小生は昔とつたぎねづかとはかりにスケート靴を履き、華麗に滑走すれば注目的になること間違いなしなのである。

ところでビバ守口、夏はプール、冬はスケートなのだが、春と秋は一体何をしているのであろうか。いつそのこと春と秋は映画を上映し、ポウリング場も造ってもらえれば、小生の青春なおのこと蘇るのであるが……。

まっ、とりあえず、ガンバレ、ビバ守口!!

(榊原健三)



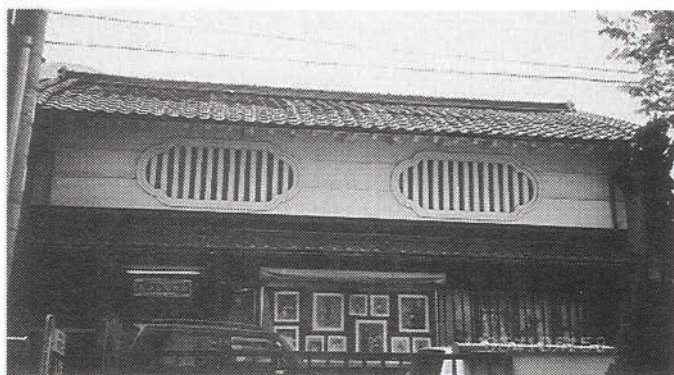
文禄堤

太閤豊臣秀吉が淀川堤防を修復し伏見城と大坂を結ぶ道路としたもので江戸時代は東海道の一部として大名行列や多くの人荷で賑わった。文禄堤の全長は約二七キロメートルとされているが、守口では本町の周辺一部にその面影を残している。

文禄堤散策記

大昔は現在の守口あたりは土地が低く、そのため水を治めることが大切なことであつたようです。今でも守口や周辺に残る「水路」や「樋」「蓮根畑」などは当時の名残です。今から四百年前の文禄五（一五九六）年、豊臣秀吉は大名に命じ淀川の堤防を築かせました。これが「文禄堤（太閤堤）」です。現存しているのは、八島の交差点から三洋本社あたりまでの約七百メートルです。当時の「守口宿」の南半分はこの「文禄堤」にありました。つまり堤防の上が東海道でした。街道であり宿場であつたため様々な建物や施設があつたのでしよう。そのためにその部分が現在も今となつては不自然な形で残っているのだと思います。

私は現在の「文禄堤」にかかっている二つの橋、「本町橋」と「守居橋」のうち、「守居橋」の南詰に家があり三十七年間暮らしています。今まで特に不自然には思いませんでしたが、改めて今見てみるとやはり不自然であります。堤の上と下につながっている家では、堤の上からは一階ですが下からは二階になります。平坦な市街地の中に、こんもりとある「文禄堤」は都市整備上不都



旧家のたたずまいを今に残すみよし写真館

合な点もあるかもしれませんが、それゆえに、切り通しをつくり橋をかけたのでしょうか。

橋を挟んで「守居橋」の北詰めの柴田さんという家では堤の下に一階と中二階があつたように記憶します。そこで中川さんという書家がお習字の教室をされており、子供の頃（昭和四〇年代）通つていました。中川さんはなかなか有名な書家のようで、今は週に一度「守居神社」で教室を開いておられます。その向かいには空き地でした。堤の上から下までの間に、段々畑のように段が二段あり、格好の遊び場でした。工場の跡であつたのか雲母が落ちてあり、よくそれらで遊びました。その頃の友達もみんな「文禄堤」に家がありました。現在は私の家を含め、それら多くがマンションになつています。「守居橋」だけは当時のまま、と言うよりも段々と老朽化しながらも、定期的に安全だけは確保するための補修を繰り返しコンクリートの欄干をなんとか留めています。

さて、歴史的に「守口宿」を検証するための「問屋場」や「白井邸」や「瓶橋跡」、「難宗寺」や「盛泉寺」などは「文禄堤」を八島の方に降りた北側に点在しますが、「文禄堤」の上にも当時の名残が今も少し残っています。それは「魚万楼跡」であつたり、



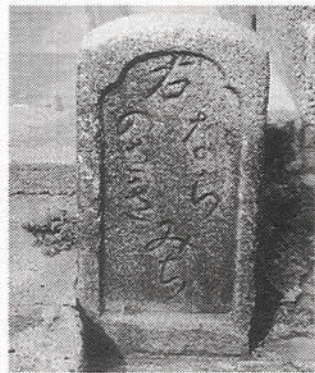
うだつのある家

うだつ……町家で隣との境に造る防火壁。大阪ではうだつは他家住まいでは上げることができず、自分の持家になつてはじめて上げることが許された。うだつを上げれば一人前と言われ、それから転じて出世のできない人、頭があがらない人を「うだつが上がらない人」と言われるようになった。

「うだつ」の残る家や奈良へ向かう道の道標などです。そのひとつである「うだつ」の残る家に現在もお住まいをされ、そこで写真館をされている三好さんにお話を伺いました。それによりまずと、その家は、昭和の初めに建造され築約七十年であり、十五年位まえに修繕をしたときも、全面の壁をモルタルにせず漆喰で仕上げられたそうです。小学校の見学者も時々あり、四年の教材として「文禄堤」や「うだつ」の残る家があるようです。また近くには「守口大根」を漬けて販売していたところもあったそうですということ。遊郭もあり大阪からの旅人を守口に足止めするのに一役買っていたのではとおっしゃっておられました。

同じく「文禄堤」に御宅のある岡村さんの話によると、現在の島野耳鼻科横の階段は古くからあり、船が着いていた所ではないかということです。また私の家に月参りに来られた「勸正寺」の住職の話によると檀家の方から淀川から水路を引いて「文禄堤」の家の倉庫に船を置いておられたという話をお聞きになったそうです。

この度この原稿を書くために少し取材をしたのですが、わずか半日で右のようなことがわかりました。まだまだお年寄りや古い



文禄堤にある道標

家の方に何うと色々なことがあるはずで。江戸や明治時代のことを伝え聞いておられたり、自身が若いときの話などです。私も三十年前のことを語り残すことができます。これも七十年たつと百年前の話になります。しかしこれらも今何らかの形で残しておかないと段々と消えてゆきます。今回のことを通じて痛切に感じたことでもあります。そしてそのようなことは、何も難しい事ではないと思います。同じような考えの者が何人が集まって、それらのことを書き留めればよいのです。そしてその活動が義務的なものにならず、自分たちの楽しみとして出来れば最高です。このようにならざるを得ない仲間を発見したり、少しでもよいから自分たちの住んでいる所のことを話したりするのは、大げさな「まちづくり」なんかしなくても、こんな小さな行動でも「ふるさと意識」ができる立派な「まちづくり」になると思います。今回のこの本をきっかけに、仲間をさがしてそんな活動してみようかなと思えました。この本の第二巻ができるようであれば、是非ともその成果を発表できればよいと考えます。

(吉川巧二)



プリンスホテル

京阪守口市駅前再開発事業に伴い昭和六〇年（一九八五年）開業。客室数一七五室、一二の宴会場と和・洋・中の六つのレストランなどがある。全国のプリンスホテルグループの中で三番目に開業。



守口プリンスホテル

天下無敵のプリンスホテル

プリンスホテルなのである。

誰が何と言っても、あのプリンスホテルが守口市の駅前に堂々とそびえているのである。

守口プリンスホテルは、平成七年現在日本全国に五十三ヶ所、海外に九ヶ所あるプリンスホテルの中で、昭和六〇年にオープンしたまだ少々歴史の浅いホテルである。関西では滋賀県に四ヶ所、京都府に一ヶ所、そして大阪ではここ守口に一ヶ所だけしかなく、関西人にしてみればなかなか泊まりたくても泊まれない、手の届きにくい憧れのようなイメージがあるのである。しかも、松下や三洋などへのVIP御用達として非常に重要な役割を担っており、守口のイメージを上品で高級なものにするのに一役買っているわけである。

今この本を読んでいるあなた、お忍びで泊まったりして守口プリンスホテルのイメージをつぶしたりせんようお願いいたします。

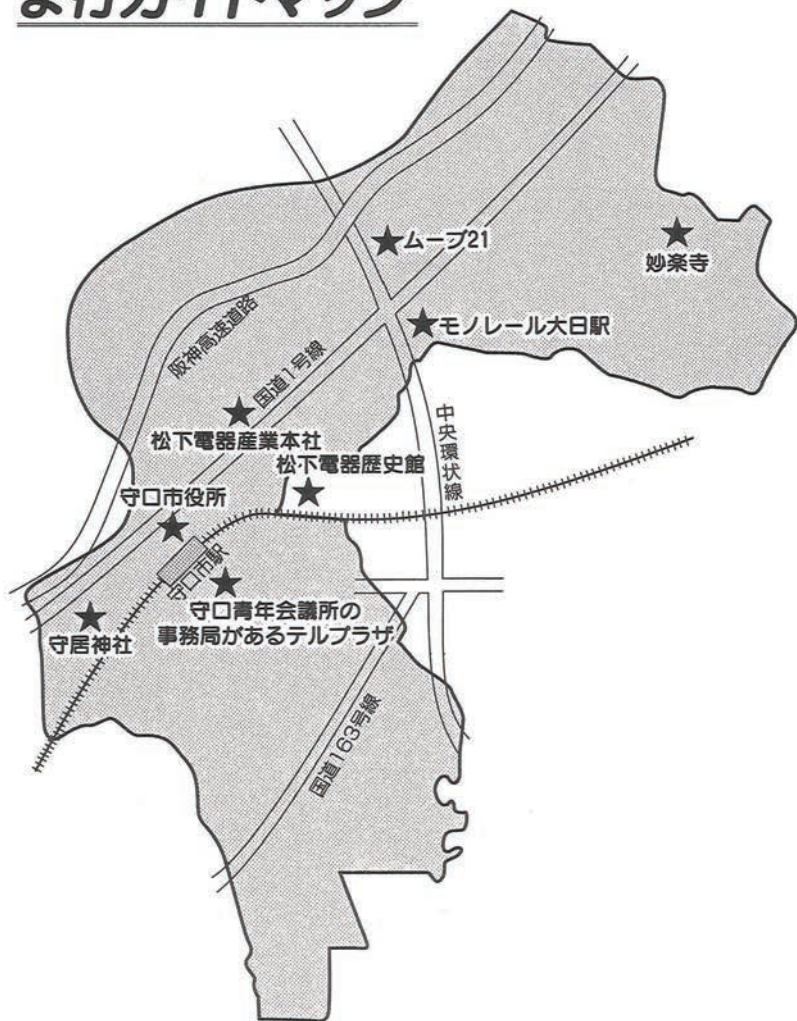
(寺崎正也)

ま

行



ま行ガイドマップ



ま

松下幸之助

松下電器の創業者。明治二十七年（一八九四年）一月二十七日、和歌山で誕生。大正七年（一九一八年）松下電器器具製作所を創立。昭和八年（一九三三年）門真市に本店・工場を建設。以降、松下グループを世界的家電メーカーに育てあげた。一方、思想面でも昭和十二年（一九四六年）物心両面の繁栄によって平和と幸福を招来するというPHP運動を起し、PHP研究所を創設。また二世紀の政治経営の指導者たりうる人材養成のため、昭和四四年（一九七九年）に松下政経塾を開塾。人をつくり、ものをつくり、そして人々の生活の向上を常に求め続けた。平成元年（一九八九年）死去。

松下電器歴史館は入場無料

松下幸之助という名前を知らない方はおられますまい。あの松下幸之助であります。あの、てほんやねん。ちゃんと説明せんかいなどとつつこまないでください。どない言うたらええかわからんほど大きな存在なのであります。

一八九四年、和歌山に生まれ、数々の伝説を創り出し、一九八九年、昭和の終わりとともに九十四歳で天に召されたこの方について書かれた本は何十、何百冊とあります。わがまちの誇りであるこの方のことをよく知らない方はもはや守口市民でないと言っても過言ではありませんまい。ちよつと自信のないあなた、すぐに勉強するように。

ところで、本を読むのはちよつと苦手というあなた、私がいいことをお教えいたしましょう。

京阪西三荘駅を降りてすぐ、松下電器の敷地内に松下電器歴史館があります。この歴史館は別名松下幸之助メモリアルホールと申しまして、この方の心と足跡を資料や映像で展示してあります。ひととおり見て回りますと、あの方の歩みと人間像を知ることが



松下電器歴史館の前にある松下幸之助の銅像

できるわけです。全てに英語が併記されていますので、外国からのお客様をお連れしても喜ばれることでしょう。

さすがに松下電器だけあってハイビジョンシアターやマルチメディア機器などで非常に凝った演出がなされており、それだけでも充分楽しめますが、何よりもあの松下幸之助の人を包み込むような肉声と穏やかな笑顔にここで再び出会えることが、私にとって最高の喜びです。

お客様や友達を連れて行ってあげるのもよいでしょうが、私はあなた自身が悩んだり落ち込んだりした時に訪れることをお勧めします。幸之助さんは画面の向こうからきつとあなたを励ましてくれることでしょう。

この歴史館を見て、聴いて、感じたことを家族や友達に話してあげて下さい。松下幸之助の存在を風化させないことも、守口市民の大切な使命でありましょう。

あつ、そうそう、大事なことを忘れていました。歴史館は入場無料です。それと受付のおねえさんが美しかったこともつけ加えておきましょう、念のため。

(水谷治人)

ま

松下電器産業

日本を代表する世界的家電メーカー。本社門真市。大正七年（一九一八年）松下幸之助により家庭用電気器具の生産・販売を目的として個人創業された松下電器器具製作所に始まる。昭和八年（一九三三年）組織を事業部制とし事業の専門細分化による独立採算の体制を採用。以来今日までこの体制は伝統的に受け継がれている。昭和一〇年（一九三五年）に改組し松下電器産業株式会社を設立。同時に各事業部門を分離独立させ九分社を傘下におく統括会社として新発足した。昭和二十七年（一九五二年）にはオランダのフィリップ社と技術提携し半導体生産の松下電子工業を設立。海外活動も本格化し、昭和三四年（一九五九年）アメリカ力松下電器の設立に続きヨーロッパ・中南米などに相次いで進出を果たした。

松下探検隊

守口と言えば松下、松下と言えば守口と言うほど、守口と松下の関係は深く、その知名度は高いと思います。ところが、松下という会社の内部を実際に知っている人は守口市民でさえ少ないように思い、私は今回思い切つて松下を少し探索してみることになりました。

まず最初は、予約をすれば誰でも見学が出来る「技術館」です。松下本社横に位置し、重点技術分野の代表的な成果を紹介しています。その中でも特筆すべき点は、受付のお嬢さんたちです。松下の中でも優秀な人材を起用しているとあつて、容姿は奇麗だし、語学は堪能（英語は当たり前）。その上数力国後OKな人も多々だし、接待は抜群だし、とにかく世の男性諸君、一度見学することをお薦めします。

受付のお嬢さんには後ろ髪を引かれつつ表に出ると、車が地下に吸い込まれていくではありませんか。「まさか、国道一号线の下に道があるとは？」と思いつつ進むと、そこには鉄筋コンクリー



松下幸之助の旧宅

ト造、幅三・七メートル、高さ二・五メートル、全長五七・二メートル、計二本のりっぱな地下道が一号線の下を通っています。さっそく取材をすると、従業員及び関係者の歩行の安全確保と一号線一般歩行者の安全確保、一号線の交通渋滞の緩和を目的として、一九七八年八月三日に造られたということです。現在の交通事情を考えると、その先見性と国道一号線の下にトンネルを通す政治力に感心しながら「謎の地下道」を出しました。

出たところで特別な情報をキャッチ、創業者の故松下幸之助氏の旧宅がどこかの研究所内にまだ残っているというものです。さっそくまたまた取材をすると、「確かに残っていますが研究所内部にあるため、一般公開はしておりません」と言うことです。そこでくじけず頼み込むと、今回は特例ということで見学の許可をいただきました。さっそく松下の研究所の中心である開発本部の中を進みますと、近代的な研究所の中に緑がこんもり茂り、ひっそりとしている所が一部あります。まさにそこが故松下幸之助氏の旧宅ではありませんか。一九三三年から一九三九年の間実際にそこに生まれ、現在は社員のお花、お茶、その他の会に利用しているとのこと。研究所と旧家、まさにミスマッチに感じます



松下電器歴史館

が、なぜか落ち着きを感じました。これこそ温故知新、松下の懐の広さでしょう。

先端技術、謎のトンネル、研究所と旧家。これらはほんの一部だと思いますが、松下の底の深さを再認識しつつ、探索を終わります。

それではここでワンポイントレッスン

Q 松下の本社は守口市内にあるのに、なぜか本社の住所は門真。その訳は？

A 巷の噂では、過去からの経緯で本社は門真で、移転した場合、守口と門真に入る税金のバランスがとれなくなる為、現在の本社を飛び地扱いしているとか……。

いろいろ書きましたが少しでも興味をそそられましたか？ほんの少しでもそそられたら「技術館」、「松下電器歴史館」（両方も一般公開）に足を運んでみて下さい。そうすれば守口の代表的企業「松下」を身近に感じ、更にその企業を育てた「守口」に愛着が湧いてくるのではないのでしょうか。

(古野隆史)

み

妙楽寺

延宝年間（一六七三～一六八一）の洪水で本堂や庫裏が流失したが天和二年（一六八二年）浄土宗融通派の僧一空知三唱阿上人によつて創建された。境内には樹齢三百年、樹高三・五メートル、幹回りは根元から三〇センチ上まで二〇～四〇センチ前後、根分け支幹は一六本、枝張東西約四・八メートル、南北屋久メートルのオオムラサキ、通称ヒラドツツジがあり、大阪府の天然記念物に指定されている。

守口にある大阪府天然記念物

私の父が浄土宗の真福寺の住職をしている関係で、同じく浄土宗の妙楽寺（住職・河野真成師）さんとは親しくさせていただいています。この妙楽寺には大ツツジ（正式には「オオムラサキ」俗称ヒラドツツジ）がありますが、九年前に関西テレビで放送されるまで詳しく知りませんでした。

年に数回、法要の度に訪れている寺ではありますが、いずれも大ツツジの花の咲くシーズン（四月下旬～五月上旬）ではありませんので、花が咲いているところを拝見したことがありませんでした。ところが九年前に関西テレビがニュースの中でこの大ツツジを生放送で中継するということで、その様子を拝見するために妙楽寺にお伺いしました。お寺には現在の喜多守口市長もいらつしやっています。その時に私は初めて大ツツジの花が咲いているところを拝見し、私が二十年以上も訪れ眺めていたこの大ツツジがこんなにも素晴らしいものであることに気づきました。中継の際にも樹齢三百年の大ツツジは紅紫の美しい花を咲かせ、胸を張ってテレビカメラの前に座っているかのようにでした。その後、



妙楽寺の大ツツジ

大ツツジは毎日テレビ・読売テレビなどで放送される一方、京阪電鉄発行の冊子「花・紀・行」にも紹介されたりしました。

この大ツツジが今日のように有名になったのは昭和五八年五月二日に「大阪府天然記念物第六六号」として指定されてからであり、これを契機として見事な大ツツジがより一層多くの人に楽しんでもらえるようになり、大変嬉しく思います。また、余談ですが府の天然記念物で花が咲くのはこの大ツツジだけだそうです。守口市内にある大阪府指定天然記念物には妙楽寺の大ツツジと難宗寺の大イチョウの二つがあります。皆さんも是非一度、大ツツジの花が咲いている季節に妙楽寺を訪れていただけたなら、必ずやその素晴らしさが理解していただけたと思います。

(児玉慶典)

む

ムーブ21

平成五年（一九九三年）八月二
八日にオープンした守口市生涯
学習情報センターの通称。市民
の生涯学習を支える中核施設と
して各種情報の発信基地として
図書室を始め、プラネタリウム
ハイビジョン映像、同時通訳も
可能な会議室、イベントホール
などを各種設備を備えた施設。

プラネタリウム体験記

最近五歳の息子がよく星の話をしてくれます。「星にはロケットで行くんやろ」とか「宇宙にはウルトラ六兄弟がいるんやで」などたわいのないことから、「守口は地球やろ?」とか「地球は回ってるから、日本とアメリカはどっちが早く朝になるの?」と少々ドキツとするようなことまで。幼稚園でそんな話をしてもらったのでしようが、先日行ったプラネタリウムもだいたい影響しているようです。

何日か前、「お父さん、あそこで見た星探して」と息子が言うので一緒に夜空を眺めました。北斗七星を指さして説明しましたが、全くわかってくれません。プラネタリウムでは星座にひしやくや熊の絵を重ねて見せてくれていたので、空を見上げると星座の絵が見えると信じ込んでいるようです。そこで、紙に点々と星座を描いて「あそこにこんななんあるやろ。アチャアチャのケンシロウについてるのと一緒や」と言っと、「あ、ほんまや」と驚いておりましたが、本当にわかったのかどうか。その後「もつと探して」とせがまれましたが、「夜お外に出たらアホになってオバ



生涯学習情報センター（ムーブ21）

ケにガブされんで」と言っただけで何とか一件落着までこぎつけました。ところで、「月夜に出歩くと気がふれる」という話を聞いたことないですか？数ある迷信の類いなのか、それとも私が子供の頃出歩かないよう母親が言ったことなのかは不明ですが、数年前私が滋賀県に住んでいた頃友人の天体望遠鏡を見せてもらった時、ふとこの話を思い出しました。とても明るくて、きれいで、しばらく眺めていると別の世界へ引き込まれそうな錯覚にとらわれてしまいました。月の光にはそんな不思議な力があるような気がします。

息子がもう少し大きくなったら天体望遠鏡を買ってやるつもりです。そして私ももう一度守口から月を眺めてみようと思います。もし駅前を変なオッチャンがうるついていたら、それはきつと…。

（奥山亨司）

も

モノレール

大阪高速鉄道。大阪国際空港（伊丹）と関西国際空港（泉州）を中央環状線沿いに接続する目的で設立された。現在の運行区間は柴原駅から南茨木駅までの一〇・二キロ。平成九年（一九九七年）のなみはや国体に向けて、現在第二期事業として南茨木駅から京阪門真市駅までの区間の工事が進められている。守口市内では地下鉄大日駅に接続する駅が設置される。

摂津は燃えている

幼い頃「のりもの」の絵本を飽きもせずポロポロになるまで何度も眺めたもんです。スリムな機体が美しい「ひこうきくダグラスDC10」、真っ赤なボディが眩しい「しよほうしや」、二階席に乗ってみたかった「びすたーかー（近鉄特急）」、青い波を突つ切る姿が漂々しい「すいちゆうよくせん」等々その絵本には夢が一杯詰まっていました。

しかしながらその中には大阪ではお目にかかれない「のりもの」も幾つかあり、そのうちの二つが「ものれーる」でした。棒に乗つてるモノレール。地べたを走らぬモノレール。遊園地にありそなモノレール。モノとはMONO（単一の）だよモノレール。あーこりやこりや。

そのモノレールが大阪にも一部開通しました。現在も延伸工事真っ盛りです。モノレール自体は何度か東京で乗ったことがあつて特に珍しくもありませんが、大阪では未だ乗る機会がありません。と、まあ今の私にはそれくらいの存在でしかありませんが、このモノレール開通をことのほか心待ちにしている地域があると

摂津市・昭和四一年（一九六六年）市制施行。それまでは三島郡三島町と称した。昭和四五年（一九七〇年）開催の万国博覧会が契機となり近畿自動車道の開通などで交通網が発展。

という情報を得ました。それは守口市とは淀川を挟んでお向かいで鳥飼大橋を渡ればすぐなのにあまり近所という気がしない街、伝統の地名が燦然と光り輝くあの「摂津市」なんだそうです。

そういえば摂津駅なんて聞いたことが無いですね。でも線路は走っていたし、阪急がJRの駅が摂津にあつたような気もします。大阪の地図を見てみましょう。阪急京都線を指でたどつて……。

ありました正雀駅!! JR東海道線のほうはどうでしょうか。はいはいありますよ千里丘駅が。しかしどちらも位置が微妙ですねこちらから。えーと……。惜しい!! 残念ながら吹田市に入っています。これは千里丘駅が心配になってきました。視線を少し上に……。セーフ!! ギリギリはギリギリですが白い枠の駅マークは摂津市に入っています。一瞬、摂津市には駅が一つもないかと思いましたが私は。しかし、いずれにせよ二つの駅とも位置が果てすぎないでしょうか。多くの摂津市民は不便な思いをされているように思えます。大体千里丘駅という名前からして誤解を招きます。河内や泉州の人間を対象に「千里丘駅は何市にあるかクイズ」をすれば、かなりの人が吹田市と答えるのでは。そうか。これはい



大阪モノレール（写真は南茨木駅）

けません。（後日、正雀駅は摂津市であると地元の方よりご指摘がありました。謹んでお詫び申し上げます。でも、あの地図を見たら誰でも……）

では摂津市にモノレールの駅ができるとどうなるのか想像してみましよう。まず駅を中心に駅前が形成されるでしょう。何ができるのでしょうか。楽しそうですね。行ってみたくありませんね。そして摂津の方々にも楽に地下鉄谷町線や京阪電車をご利用頂けますので市内へ出るにも選択肢が増えますし、直線距離では近いのに車以外では行くには大変だった所へもお気軽にGO!!です。「きれいな百貨店」へようこそ。千林商店街は楽しいですよ。そう、現状ではお互い近くて遠い川向こうのお隣さん同士である摂津市と守口市（周辺も含めて）がとつても身近になります。モノレールがもつと南に伸びて東大阪まで行けばこれまた便利。摂津だけでなく守口、門真あたりを出発点に長田、布施方面に行く時もわざわざ鶴橋まで出てまた東に戻ることもありません。

新駅の名前は摂津市の広報紙によれば摂津駅と南摂津駅（共に仮称）になるそうです。今までありそでなかった摂津駅。いい響きじゃありませんか。それでこそ市の新しい顔!!

原稿を書きながらだんだん人ごとのような気がしなくなってきました。結構盛り上がりを感じて、中央環状線を茨木南部から守口にかけて車で走つてみることにしました。この辺りを走るのには久しぶりですが、工事のお陰で道路の形が激しく変わって随分と景色が違つて見えます。大阪モノレール〇〇駅（仮称）建設工事現場というような看板があるだろうと思つて注視してましたが発見できませんでした。ただ、軌道を上から下まで足場が囲んでいるところを一箇所発見しましたのでそこが駅になるのかも知れません。位置的には摂津市を南北に縦断する中央環状線の大体真ん中辺りでしょうか。ここなら市役所等官庁も駅の真ん前で、ますます新しい摂津市の顔としての期待が高まります。工事の進み具合からして（平成七年八月現在）守口とつながるのはまだまだ先のようにですが、その日が今から非常に楽しみになつてきました。もし知り合いに摂津市民がおられるならばモノレールのことを尋ねて見て下さい。その熱い思いが伝わってくるはずですよ。最後に一言。「伸びよモノレール!! 通か南（潮岬?）を目指して!!」

（清水英男）

も

守居神社

土居商店街のほぼ中央部にある神社。社記によると「延喜一八年（九一八年）淀川洪水の時、西南石礫の淵で「我天道神也、我を祀れと振鈴の声でお告げがあった」ので「土を居いて」お祀りしたのが始まりと伝えられている。社名は守口と土居の各一文字を用いて守居と呼称されている。当社には昭和五六年（一九八一年）大阪府指定文化財となった「守居神社刀一口」がある。この刀は室（なかと）・中子に「備中守橋康廣」の銘があり、刀匠の一派である近江石堂派のわかれで、江戸時代の寛文年間（一六六一〜七三年）頃大阪に出で作刀し、大阪石堂派の祖となった康廣の遺品。刀丈は焼き幅の広い丁子乱れが特色で康廣の代表作の一つに数えられている。

露店と神楽

夏休み最初の朝。

「セミ、セミ、セミ、セミ、セミ、セミ、セミ、セミ、ニイニイニイ」

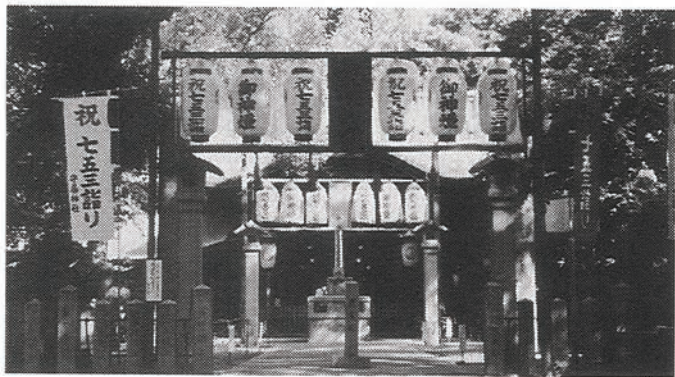
このうるさく、そして、心を奮い立たせる目覚まし時計で、少年達は口頃は起きたことのない早朝に目を覚ますのです。

「早く起きて、セミを捕りに行かなあかん!!!」

午前六時ともなると守居神社の境内には捕虫網を持った少年達が我れ先に集まってきました。というのは、早く来ると樹の低いところには捕まえやすいセミがいますが、遅れて来るとそんなセミは既に誰かに捕まえられ、追い立てられたりして、低いところには長い竹竿を持つている少年もいます。そして、セミ捕りに夢中になっていると神主さんにしかられ早朝のセミ捕り大会は終わりを告げます。こうして少年達の待ちに待った楽しい夏休みの幕が開くのです。

夏休みの最初のイベントは夏祭りです。

七月二四日の夕刻、神社の境内には所狭しと露店がひしめき合



守居神社

っています。露店の裸電球の明るさに負けず、少年達の目もキラキラと輝いています。金魚すくい・輪投げ・スマートボール・タコ焼き・イカ焼き・わたがし・トウモロコシ・ベビーカーステラ・かき氷……。その中で特筆すべきは東京コロッケです。この東京コロッケというのはジャガイモを擦り潰してビー玉より少し大きいくらいに丸めたものをラードで揚げ、ウスターソースに浸して食べるのですが、これが何とも美味なのです。露店の脇には古いパチンコ台が置かれていて、お金を払うと店の人がパチンコ玉をくれてそれを打つのですが、入賞口によって貰えるコロッケの数が違うのです。当然チューリップに入ると沢山貰えるのですが、案の定なかなか入らずハズレ穴にパチンコ玉が消えていきます。しかし、店の人はのんびりしたもので入った入賞口に書いてある数字を自分で申告して竹串にコロッケを差すので、店の人が見えないのをいいことに私はよくコロッケの数をちよるまかしたものでした。

「コンコンチキチン、コンチキチン」

威勢の良いだんじりの鐘と太鼓の音が境内に充滿しています。夏祭りの時、だんじりは町内を巡行しませんが境内で見ることが

できます。その奇異な形と大きさ、鐘と太鼓の騒々しさ、特に装飾の彫り物の恐ろしさがいまって、小さな子供にとつてはおどろおどろしく、泣き出すこともあります。ともあれ、だんじり囃子は祭り気分を盛り上げるのになくはならない必須アイテムです。

本殿では笛と太鼓に合わせて巫女が神楽を舞っています。

巫女が舞う神楽は「浪速神楽」と呼ばれ、明治の初期から大阪で舞われていたようです。神楽は宮中などで奏される御神楽とそれ以外の里神楽の二つに大別されます。里神楽は物語的な演劇的要素の濃いものから抽象的な舞踊まで種々様々な形態があります。が、いずれにせよそれらは鎮魂や疫病や災厄よけを目的として舞われるものです。

「浪速神楽」もかつては百二十くらいの演目があったと伝えられています。今日ではそのうちの「警戸開」「庭ノ舞」「四方拝」「榊舞」「早神楽」「花ノ舞」「菖蒲刈」「胡蝶舌妻舞」などの二八の曲目が現存しています。守居神社の夏祭りでは「剣ノ舞」「鉾ノ舞」「鉾剣ノ舞」などが中心に舞われています。

祭りのメインイベントで本来の目的は翌二五日の早朝に執り行

われる神事にあります。守居神社の縁起を記した社記には「後花園天皇の寛正五年（一四六三年）、悪疫流行のあつたとき、悪事災難を除くために美花を作りて祭祀を修し、鎮花の災祭を行った」とあります。そして、五百数十年を経た現在もこれに習い、本殿には沢山の美しい花が飾られ、多くの氏子・崇敬者の参列のもと、人々の安寧を願って厳肅に神事が斎行されているのです。

今も昔も、大人も子供も夏祭りでは露店に夢中で、本殿で執り行われている神事などにはあまり関心がないようですが、一度は本殿で執り行われている神楽にも目を向ければ、夏祭りの興味も一層深まるのではないかと考えながら私は本殿で櫛を握っています。

（江端将哲）

も

守口市

昭和二二（一九四六年）年一月一日、全国で二〇六番目の都市として市制施行。大阪府のほぼ中央に位置し、東西四・八キロメートル、南北六・六キロメートル、面積は二二・七二平方キロメートル。元和二年（一六一六年）東海道の宿場となり、その後も京大阪を結ぶ交通の要衝として発展。明治以降も京阪電車の開通や国道一号線の完成、大阪市電の乗り入れなど交通の利便さと共に大阪市の衛星都市として、また家電産業を中心とする工業都市として発展。

守口は昔森口だった？

守口市は平成七年（一九九六年）で市政五十周年を迎えます。ということで本日は守口市は何故守口市という名前なんだという皆様の素朴な疑問にお答えしたいと思います。（誰もそんなこと疑問に思てへんて）

さて「日本地名大事典」によりますと「市名は江戸時代、京街道（東海道）の宿として賑い、その後も当地域の中心であった守口町に由来する」とあります。明治二二年（一八八九年）の町村制施行により守口町・三郷村・庭窪村が成立しましたが、昭和一年（一九三六年）三郷村が町政施行で三郷町となり、昭和二二年（一九四六年）、守口町・三郷町が合併して守口市となりました。このことは第二次世界大戦後、日本で初めて生まれた市であるということに記憶しておいて下さい。戦後日本の五十年はまさに守口の五十年と言っても過言ではありません。（なんのこつちや）

さてさて、昭和三二年（一九四八年）に庭窪村が町政施行で庭窪町に。そして昭和三二年（一九五七年）に守口市に庭窪町を編



守口市役所

入して現在に至っています。つまり、守口と三郷と庭窪の三地域がくつついて市になったわけですが、一時の太陽神戸三井銀行のように守口三郷庭窪市にすると長つたらしいので、一番知名度の高い守口を残して守口市となつたわけです。(ほんまかいな)

それでは守口という地名はいつ頃から使われていたのでしょうか。調べてみますとありました、ありました。「守口市史」によりますと「室町期から見える地名。河内国茨田郡のうち。「経覚私要抄」の享徳三年(一四五三)正月八日条に大庭関に関する記事があり、「孫弥五郎森口二住国之間」と見える。略々「細川両家記」には永禄三年六月二九日に「大夫殿衆は同守口へ」と見える。また「兼見卿記」の天正四年五月十四日条に「下着森口」とあり、天正一年八月二九日条にも「今夜森口二宿」と見える」

また「日本地名大辞典」によりますと、「以上のほか『応永記』に「森口城」、『長興宿禰記』に「守口城」、『細川両家記』に「守口」がみえるが、後述のように、「鹿苑日録」「舜旧記」の表記も「森口」なので元来の表記は「森口」であったとみられる」とあります。

ここで興味を持つのは「守口」が昔「森口」と書かれていたという点でしょう。違う書には「杜口」とも記されていたことがあるようです。

その昔「モリグチ」が「森口」と表記されていたのが、やがて「守口」と表記されるようになったのか。それとも「モリグチ」は昔から「守口」で「森口」や「杜口」は間違っていたのか。はたまた「モリグチ」は昔、「守口」でも「森口」でも「杜口」でも何でもありだったのかどうかについては正直なところわからないらしいですが、「守口は昔森口だった」説が有力なのはこの二つの説があるからだそうです。紹介しましょう。

昔佐太一番付近を森村と称したと言われている。このことは当地が農耕地として発展する以前、このあたりに森林が生い茂り、森のあるところを森村と称し、その森林に至る入り口付近を森口と称したのではないが。

当地はその昔、緑深い森林地であったと言われている。当地南方に干林・森小路など森林に関連する地名があるので当地はその入り口と理解されていたのではないが。

うーん、なる程、どちらも説得力のある説ですね。

いずれにせよ最終的に「モリグチ」は「守口」となったわけですが、それなら「森口」や「杜口」はどうなってしまったのでしょうか。いつ、どこで、誰が「モリグチ」は「守口」だと決めたのでしょうか。このことについては有力な説さえありませんので、不肖私が有力な説を皆様に発表いたしますしよ。 (やめとけー、きさま、何様のつもりじゃあ)

恐らくその昔、この地が「モリグチ」と呼ばれ始めた頃は「森口」と表記するのが正しかつたと思われます。ところが、当地がこの立地条件から京と大坂を結ぶ水陸交通の要所として発展し、旅人の往来が激しくなつてまいりますと、旅人の何人かにひとり手紙を書いたり日記をつけたりしますわね。(書くということにしておいて下さい。でないとこの説は成り立ちませんので)そこで手紙を書く時や日記をつける時に「モリグチ」はどう表記するのか知らん人やつたら宿屋や茶店で聞くわけです。ところが大らかでええかげんなモリグチ人は「そんなもん知りまつかいな」とか「そんな難しいこと聞かん」として。それよりまあ一杯どうでつか」とか何とか言うてたに違いないと思われます。(ご先祖様すみません) 困つた旅人はしよつがないので好き勝手に漢字を当



守口市市民会館（さつきホールもりくち）

てはめました。それが「森口」であり「杜口」であり「守口」だった訳です。こうして「モリグチ」の表記は混乱時代を迎えました。（ほんまかいな）

ところが元和二年（一六一六年）徳川幕府から「おまえらの村も交通の要所として随分と栄えて来たので幕府としてはこの地を宿場としてこれから色々とひいきにしてみる。ついではおまえらの村は「森口」と書いたり「杜口」と書いたり「守口」と書いたりしてややこしいのでこれを機会にどれかひとつに決めとけ。わかったな」と言われたのでさあ大変。村の偉いさん達が集まって話をし始めました。

「おい、どうすんねん」

「どうするちゆうても、お上が言うてきてんからどれかにせなあかんで」

「そやけどももとは森口って書いててんから、ほんまは森口ですって言うたらええやんか」

「いや、ちよつと待ち。前から思ってたんですけど森口も昔とちがうて随分と都会になつてきたやろ」

「そやな、大坂っぼくなつてきたな」

「そやのに森口つちゆうたらなにや田舎臭い感じやろ」

「そう言われればそやなあ。なんか木イばっかりつちゆう感じやな」

「そやろ。これからはハイカラなイメージが大事やで」

「うん」

「ええ機会やからこはひとつハイカラな感じで守口にしてみではどないやろ」

「そやな、そのほうが都会的でかつこええかもしれんな」

とかなんとかで「森口」は「守口」になったのではないでしようか。(しまいに怒られるで)

時は過ぎて今。今も守口は交通の要所として人の往来の激しい地域です。それにしてもあの時「モリグチ」を「森口」にしていたら、もつと人に優しい緑豊かなまちになっていたかもしれませんね。ちよつと残念。

(水谷治人)

も

守口市

守口市は昭和二年（一九四六年）、当時の守口町と三郷町が合併して市制が施行された。その後、昭和三年（一九五七年）四月に当時の庭窪町とも合併し、現在に至っている。

村の境界にある家

私の家は旧守口町にあり、家の裏の道は昔、用水路だったそうです。その用水路を越えると旧三郷村になります。五才の時にその家に引越してきた訳ですが、なかなか近所の子と親しくなれませんでした。裏通りの子とはすぐに仲良しになることができたのに、表通りの子はしばらくよそよそしかったのです。

年月が経ってから判ったのですが、私の家が建つ前は空き地で地域の盆踊りも開催する遊び場だったそうです。そこを乗っ取った私が気に入らなかつたそうです。しかもそこは旧守口町の住民が使用する空地で、僅か二〜三メートル隔てた旧三郷村の住民は参加できなかつたそうです。なんとという古き縄張り意識でしょう。表通りと裏通りの子は一緒に遊ぶことはありませんでしたが、私はコウモリのようにどちらに片寄ることもなく遊んでいました。日が過ぎて小学校へ通うようになり表通りと裏通りの子は別々の小学校へ通学し、いつしか裏通りの子との交流も薄れてしまいました。村の境界は今も子供達にとって存在するのでしょうか。

（篠原拓男）

も

守口市

守口市は和歌山県の花園村、滋賀県の安曇川町、高知県の東洋町とそれぞれ友好都市提携し、恵まれた自然環境の中で潤いのある余暇を過ごせるように友好都市の各町村に市民休暇村を開設している。市民休暇村にはそれぞれ宿泊施設やキャンプ場などがあり、溪流釣りや磯釣り、海水浴などが楽しめる。問い合わせは市役所余暇対策室。

面白守口市

私達は守口市に住んでいます。その守口市をちよつと変わった視点で見ると新たな発見や楽しさが湧いてくるかもしれません。そんなこんなを綴つてみたいと思います。

皆さんは守口市に幾つの町名があると思いますか？住んでおられる町や隣町、親しい友人の住む町、会社や事務所のある町などを思い浮かべると思います。個人差はあるでしょうがせいせい二十程度、多い方でも五十位ではないでしょうか。五十音順でアの曉町から始まり、ラの来迎寺まで全部で何と七八あります。丁目をひとつの単位と考えるのならば全部で一七三もあります。紙面の都合上全てを掲載することができないのが残念です。これからの文章を読んで戴ければ何ヶ所か町名が登場しますが、詳しく知りたい方は市役所まで。

守口市の面積は現在一二・七二平方キロメートルですから、町単位の平均面積は約一六三・〇八平方メートル、さらに丁目単位の区切ると約七三・五三平方メートルとなります。では、ここに守口市の人口を当てはめてみますと町単位の平均人口は二〇二六



守口市中心部の航空写真

人、丁目単位の平均人口は九一人となります。かつて守口市は人口密度において全国トップレベルの超過密都市でした、昨今、守口は通過都市と呼ばれ、人口の伸び率もマイナス数値でありませんが、この計算結果を見てとれる限りでは今でもそこそこ人口密度の高い都市なのだ実感します。

人口密度に触れたところで、こんどは守口市の町で最も多くの人に住んでいるのはどの町の何丁目でしょう。逆に最も少ない町はどの町の何丁目でしょう。さらに守口市の町で最も数の多い丁目は何町にある何丁目でしょう。漢字一字で表記される町はどのようなものがあるでしょう。

これらの質問にポンポン解答することができればあらたは立派な守口通です。ほとんどの方はとてもじゃないけどわからないでしょう。筆者もわかりませんが資料を元に出題者の責任を果たしたいと思います。まず第一の質問の答えは八雲東二丁目で約二四〇〇世帯で約六千人が住んでいます。それに対して第二の設問の答えは佐太東町二丁目で十三世帯で四十人しか住んでいません。第三の質問の答えですが金田町・藤田町・南寺方東通は六丁目目であるのですが七丁目目である唯一の町といえば佐太中町だけ。



守口市民体育館

そして、最後の質問の答えは全部で十三あって、暁町・祝町・梅町・梶町・寿町・桜町・竹町・浜町・東町・本町・松町・緑町・桃町。これらの町名を見ていると松竹梅に桜に桃、寿に祝があつて、まるで結婚式場の新郎新婦や親族の控室のように思つてしまひ、何となくお目出度い感じがして嬉しくなつてきます。以上守口の町名に関する事柄を記しましたが、その町がどこにあるのか知りたい方は守口市の詳細地図などを参考にしてください。

話は変わりますが、皆さんは「日本のへそ」はどこだかご存じでしょうか？日本の真ん中に位置する所で、兵庫県西脇市がそのなです。経緯度上の東西南北を二分する線の交差に位置することから呼ばれるのですが、その他に調べてみるとあるわあるわ、「へそ」と名乗る自治体が全国で四十数ヶ所もありました。ここまで読んでいると守口市も何か名乗り上げているのではとお思ひになられる方もいるでしょうが、残念ながら違います。ここでは「守口市のへそ」はどこだか考えてみようと思ひます。

守口市は東経一三五度三三分二秒七から一三五度三六分三二秒二、北緯三四度四二分十九秒八から三四度四五分五四秒四の間に位置しますので、これを西脇市と同じ手法で算出すると東経百

三五度三四分五七秒四、北緯三四度四四分七秒一の地点が守口市の中心となります。エート、この地点、ノー、ここはもしかしたら門真市にあると違うの、守口の地図を見るとちよとくびれた位置に「へそ」があるやんか!!このままではオチにもなりませんので次、今度は東端から西端へ、南端から北端へ直線をひいた時の交点を算出すればなんとかなるだろうと考えましたが、どうやって答えを出すんだろ?二次関数だか微積分だかどのようにして答えを割り出せばいいのか全くわかりません。どなたか計算してください。では次の手段、各町の面積と人口による守口市の人口重心地を算出してみてもどうか。これなら間違いなく守口市内に「へそ」が出来るぞ!!いや、ちよとと待て、各町の面積のデータが全く無い、どこに行ったらデータがもらえるだろう。次回があれば答えを出すということでご容赦願います。

その他書きたいことが山ほどあります、金田町や藤田町は「きんだ」「とつた」と読んで「かねだ」「ふじた」と読まないのか、守口の町名の由来などまだまだ調査せねばならない問題があります。我々「もつと守口を愛し隊」はたくさんさんの興味深い事柄を調査・研究に取組んで参りたく思います。

(辻本卓郎)

も

守口市歌

守口市が市制五周年を記念して昭和二六年（一九五一年）に制作。同年市民から応募し選ばれた市章も発表。当時の守口市民の人口は五万八千人。

守口市歌紹介

皆さんは母校の校歌を覚えていますか？それが小学校であれ、中学校であれ、高等学校であれ、たまに校歌を口ずさむと懐かしい学生時代の思い出がふつふつと蘇ると思います。また、大きな企業ともなると会社に社歌があり、朝礼の度に社訓と共に歌い上げることでしょう。そんな校歌や社歌には理想を謳いこんで校風や社風を発揚する目的で設けられているものが多いと聞きます。ところで、こんな歌詞を見たことがありますか。

- 一 のほる高瀬の東雲に なりわいしげく人さわに
輝く薨はてしなく 生産日々に澆刺と
賑わい日々に守口市 みよ守口のこの力
- 二 長柄船瀬の昔より 驛古く道広く
開けし都新しく 京阪一路颯爽と
躍進一路守口市
- 三 梅に櫻に木犀に 正しきゆかり傳統の
ゆかしき響りがぎりなく 文化を四方に絢爛と
平和を四方に守口市 おお守口のこの誇り



守口市歌のCD

四 淀の川瀬はかわれども かわらぬいのちうけつぎて

礎固くとこしえに 光を代々に燦然と

榮を代々に守口市 いざ守口のこの希望

実は守口市の市歌です。作詞は詩人・安西冬衛、作曲は古関裕而。作曲家の古関裕而氏は「ラバウル海軍航空隊」などの軍歌や「君の名は」などラジオ時代の歌謡界をリードしたほどのビッグネーム。彼らが守口市の市制五周年を記念して作ったものです。

私が初めて守口市に市歌なるものがあると知ったのは、小学校の社会科の副読本の中だったと記憶しています。歌詞が掲載されていたのですが、肝心の曲がわからず長い間謎の存在でありました。守口市に長く住む私の父親に聞いても「そんな曲は知らん」とあしらわれて、子供心に守口市歌として存在しているのに、その曲を知っている市民があまりにも少ないのはなぜかと非常に残念に感じました。

しかし、数年経ち私の謎は見事に解決しました、清掃局がゴミ収集時にバックに流していたその曲こそ守口市歌だったのです。以来、市歌を歌える私は、守口に非常なる愛着を感じています。

(辻本卓郎)

も

守口青年会議所

「明るい豊かな社会」の実現を目標として活動する二十才から四十才までの青年の団体。一九六九年より活動を始める。会員約二百名。各地の自治体単位に設立される青年会議所の総数は、現在日本全国に七五五団体約六万人、全世界で九〇ヶ国四十万人にのぼる。

魅力あるまちであるために

桜の花が美しく咲き誇る季節、私は帰宅するためにタクシーに乗り込みました。「守口までお願いします」と頼んだ時に、運転手さんが「あなたは守口に住んでいるのですか。良いところに住んでいますね」と言われたので、「お世辞はやめてくださいよ」と笑いながら言つと、決してお世辞ではないと彼は首を振りました。そしてこう続けました。「私は中国生まれで、日本に来て八年になります。日本に来てから守口ですつと暮らしています。本当に日本に来て良かったと思います。守口で暮らして何の不安も不満もありません。素晴らしいところですね、守口は」

まさに目から鱗が落ちる思いでした。三十年近く守口に住んでいる私はもちろん守口のまちが好きです。けれどもこの運転手さんのように「守口は素晴らしいまちですよ」と誰かにお話したことはおそらく今までに無かったように思います。守口に住んで八年の彼が誇らしげに「守口に住んでよかった」と話されたことに私は感動し、私も彼のように心から守口はいいところですよと言えるようになりたいと思ったものでした。



守口市市民まつりのパレード

愛の鈴運動：昭和四九年に開始された守口青年会議所の社会開発運動。交通安全の意識向上と交通事故から子供を守る目的で、毎年四月の守口市内全一九小学校の入学式で新入生に鈴を贈呈する。

まちは生きています。守口も長い歴史と文化、そしてこの地に住む人々のこの地に対する愛情によって育まれてきました。愛情の無いまちは育ちません。守口が魅力あるまちであるためにはあの運転手さんのように守口を愛する人達がたくさんいなければなりません。私は思います。

私は守口を愛し、守口をより魅力あるまちにしようと頑張っている守口青年会議所という団体に所属しています。毎年地元の小學生をいっぱい集めて相撲大会を催したり、守口市市民まつりでパレードの運営をしたり、子供達が交通事故に遭わないように「愛の鈴」という小さな鈴を小学校の入学式で配ったりしていますが、全てはメンバーによるボランティア活動です。普段は一生懸命仕事をしている二十歳から四十歳までのメンバーが時間をやり繰りして、守口を魅力のあるまちにしようと活動しているのです。

守口には守口青年会議所だけでなく、他にも同じような志を持った団体が多数あります。自分達の住む愛するまちのために無償の汗を流す。こんな人達がいる守口はますます魅力あるまちになつていくと私は信じています。

(神原由次)

も

守口大根

長さが一メートルにも及ぶ世界一長い大根。専ら奈良漬（守口漬）に原料として用いられる。かつて淀川の中洲で作られていて守口が原産とされているが、現在は全国的にも岐阜県と愛知県の一部で栽培されているだけで守口では見かけない。

華麗な細足、守口大根

大根足という言葉で、皆さんはどのようなイメージを抱きますか。まさか桜島大根のようにまで肥大した足のイメージではなく、大抵の方が八百屋さんで売っている普通の例えば青首大根の太さを思い浮かべるのではないだろうか。

ここで一つ、いつも大根足と言われている方に朗報があります。大根の一種に守口大根という世界一長い大根があります。長さは一メートル前後、太さは牛蒡より少し太い程度で色は白、足に例えれば「可憐な細足」のイメージがピッタリと合います。（嗜好によるが私は青首大根の方が……）奈良漬の容器に添って巻いてあるような漬物が守口大根です。桜島大根ミディアム足（筆者家内談）の私にとって守口大根は非常に興味が湧き、今でも栽培されている守口大根を求めて、岐阜県羽島市の栽培農家に訪れ、栽培方法などのお話を聴かして戴いたのですが、その折に守口大根の歴史や名前の由来などのお話しをすると、昔からここで作っていて本家は守口ではなく、この付近だとのご指摘を受けました。（温厚な人でしたが守口大根羽島本家論の所では一生懸命現在も

栽培している為のプライドが許さないので少しエキサイトした口調) また守口漬は食べたことはあるのですが、生の守口大根はどんな味か、他においしく食べれる調理方法はないかと考え、生のまま・酢漬け・煮物で試食しました。結果ははつきり言つて固くて繊維質が多く青汁ほどではないと思いますがおいしくない。古くは室町期に突然変異によつてできた細く長い大根を、努力して品種改良により更に長くしたと思われ、栽培にも「天地返し」という一メートル以上の深さを耕す大変な作業が必要であるのにおいしくない守口大根。漬物の食材にしか使用できないような大根が何故、今も食品として残っているのかを考えてみるとやはり「可憐な細足」のような形状が大きな要因ではないかと考えつきました。口上はさておき、上記のように約半年間、守口大根の事を考えています。何と私の桜島大根ミディアムが外周にして六センチも細くなつたではあゝりませんか!!

いつも大根足と言われている方、守口大根の事を半年間、一日に一回イメージしてみませんか!!もしかすると簡単にあなたの足も「可憐な細足、守口大根」になれるかも!!(私の足の外周計測位置が違つたと言つて指摘もあります…) (村田憲勇)

や

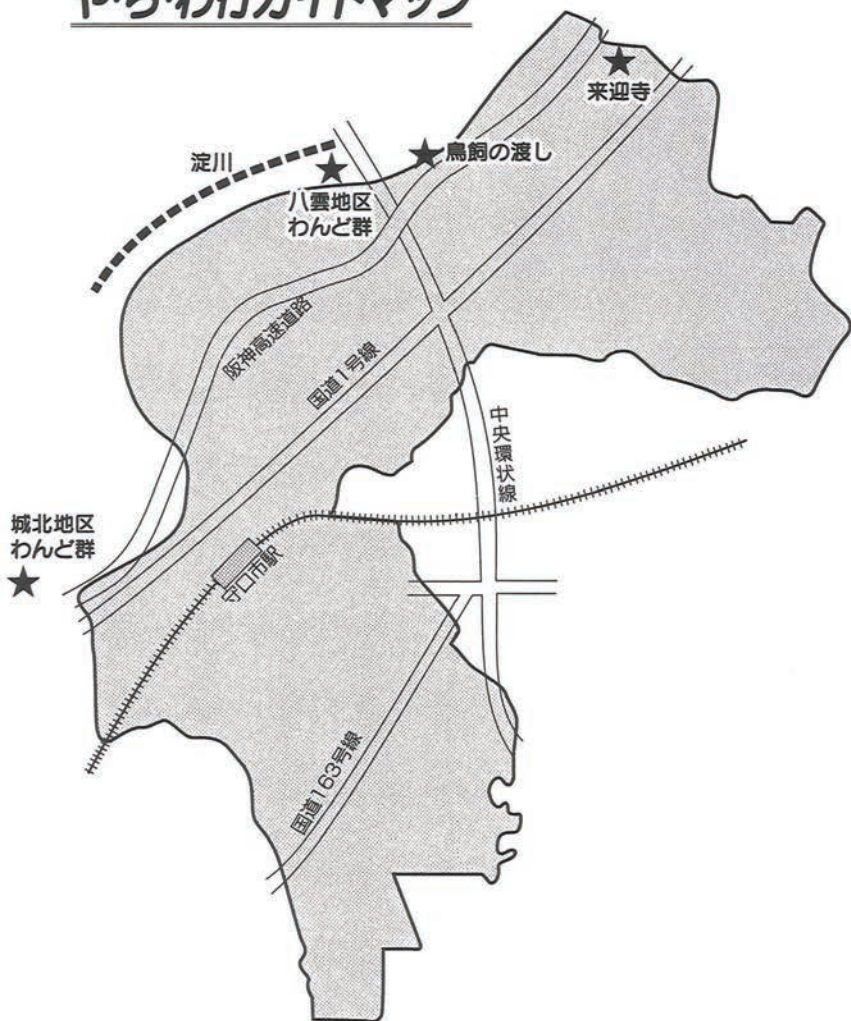
ら

わ

行



や・ら・わ行ガイドマップ





有名人

その言葉の通り、守口に縁のある有名人。

守口の有名人一挙公開

さて、それではここで私の知っている守口の有名人を一挙に紹介してみましよう。まずお笑いジャンルでは吉本興業の池乃めだか、元ザはんちの里見まさと、のりおよしおの上方よしお、太平サブロー、スポーツジャンルではボクシングの辰吉丈一郎、六車卓也（現在はミズノの社員さん）、柔道でバルセロナ五輪銅メダリストの立野千代里（柔道を始めたのは守口第二中学時代三年生の終わり頃）、大相撲では元大関の前の山（現在高田川親方）、同じく剣晃（庭窪中学・守口高校出身）、野球では元阪神タイガースの福岡納、芸能・音楽ジャンルでは金田町出身でとんでとんでの円広志、ふたりの愛ランドの石川優子（秀才で高校は四條畷高校）、四季の歌の芹洋子（三郷幼稚園出身）、バイオリニストで木崎前市長のひ孫の五嶋みどり。どんどん続きまして、経済ジャンルではご存じ松下電器の創業者の松下幸之助、三洋電機の井植薫、歴史ジャンルでは大塩平八郎の乱の大塩平八郎、平八郎の弟子で、平八郎に経済的援助をした白井孝右衛門、寺方の庄屋で命にかえて村人を水書から守った喜左衛門、同じく藤田の庄屋で命とひき

かえに村人を水害から守った弥次右衛門、文化ジャンルでは日本南画界の巨匠で守口市の名誉市民である直原玉青、作家の江戸川乱歩、司馬遼太郎、野坂昭如（寺方に住んでいた）、備前焼陶芸家の吉延豊丘、写真家のアンダ知宏、同じく写真家の藤田浩、箏曲家の須山知行、鉛細工職人の石割定治……。以上敬称略）

以上、ざーっと勢いで書き並べさせて頂きましたが、「オレが載ってへんで」とお怒りのあなた、ここはぐっと堪えてください。私の娘も近所ではかわいいことで有名ですが、ページの都合上我慢して載せていませんから。

この本の表紙はイラストレーターのよしおかアコさんに描いて頂きました。もちろん守口の住人です。アコさんは小学校の頃、あの石川優子さんと一緒に守口市少年少女合唱団で、一緒に歌を歌っていたそうです。アコさん、素敵なイラストをありがとうございます。

守口にはまだまだいっぱい有名人がおられることでしょう。とつても有名人、ちよつぱり有名人、知る人ぞ知る有名人、自称有名人。こんな人達がこちゃこちゃと一緒に暮らしている守口が、私は好きです。

（水谷治人）

よ

淀川

琵琶湖を最大の水源とし、近畿地方の中央部を流れて大阪湾に注ぐ川。瀬田川から宇治川と名前を変えて京都に至り、京都大阪府界の大山崎付近で木津川と桂川が合流する。大津市瀬田から河口までの幹川流路七五キロメートル、全流域面積は八二四〇平方キロメートルで滋賀・京都・三重・奈良・兵庫・大阪の六府県にまたがる。

三十石船から京阪電車へ

守口市の北側を流れる淀川。きれいに整備された河川公園には野球場やテニスコート、陸上トラックや広場があります。犬の散歩にきた老夫婦、ジョギングをする若者、サツカーボールで遊ぶ子供達。この緑あふれる場所には老若男女を問わず、たくさん市民が訪れます。また河川敷沿いにある東洋紡の工場跡には大きなマンシオン群が建ち並び、新しい守口の住人達が住んでいます。古い歴史のある守口市ですが、このあたりは新しい守口市の顔と言っても良いでしょう。何かのアンケートで「守口で一番好きな場所はどこですか」という問いに、河川敷公園が一番になった記憶があります。（ちなみに二位は守口市駅前、三位は鶴見緑地が選ばれています）

今では休日になると釣りをする人やジェットスキーをする若者達でにぎわう淀川ですが、江戸時代には京都と大阪を結ぶ大切な交通網でした。この淀川を三十石船が行ったり来たりしていたのです。この三十石船、京都は伏見から出発して大阪は天神橋南詰めに着きました。途中枚方あたりが真ん中で、くらわんか船など



淀川河川公園

が三十石船に近づいてきては食べ物や飲み物売っていたそうです。下りの所要時間は八時間、上りは十時間。今にして思えばゆつくりとした優雅な旅ですね。

ところが明治四年、造幣局でつくった貨幣を京都へ運ぶために淀川丸という汽船が走りだしました。これが川蒸気が大阪を走った最初だそうです。その後船場の商人が淀川汽船会社を創って二隻の川蒸気で定期航路を開きました。下り三時間半、上りは六時間です。これで三十石船は姿を消しています。

しかし、この川蒸気の時代にピリオドを打ったのが明治四三年に開通した京阪電車でした。今では伏見から天満橋まで急行で四十分。この時から交通の主役が川から陸へと変わったのです。

なお、現在淀から屋形船がチャーターできますので機会があればこののんびりしたタイムトリップを楽しんでみるのも良いのではないのでしょうか。

(水谷治人)

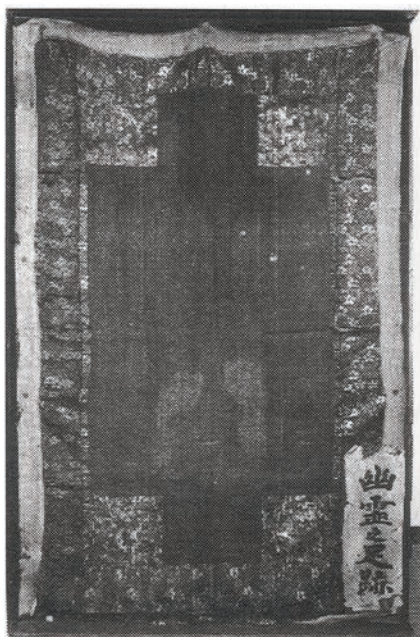
来迎寺

現在では浄土宗知恩院の末寺であるが、もとは大念仏宗佐太派の総本山。創建は大念仏宗中興法明上人の弟子実尊誠阿上人西願が正平二年（一三四七年）に下仁和寺守口村に一字を建立したのが始まりといわれ、京阪守口市駅前ふきんに来迎町の地名を残している。しかし住職が代わるたびに本尊を移し（一三三二年間に二五回）延宝六年（一六七八年）に永井家より現在の寺地を賜り定堂して発展。多数の文化財あり、中でも「絹本書色八幡曼荼羅図」は絹地に彩色で男山八幡宮の七社の神像を巧みに描いた鎌倉時代の優品で、国の重要文化財に指定されている。また、寺庭にある石造二三重塔は基礎部に嘉元二年（一二〇四年）「寺講衆四十余人」の銘文があり鎌倉時代の石塔として大阪府指定有形文化財。

幽霊の足跡は男性か女性か

佐太の天神さんの隣に立派な門構えの来迎寺があります。私が来迎寺を知ったのは以前テレビでやっていた恐怖シリーズの番組だったと思います。あまり幽霊とか信じないタイプなのですが、「幽霊の足跡がある守口のお寺」ということで記憶に深く残っていました。幽霊っていうのは四次元の人達？であって、私達の違いは三次元では幽霊を目で見ることができても触れることはできない透明人間のような感じで、足のないもの思っていたのですが、足跡を残したということを知り、「それじゃあ幽霊が体重計に乗れば針は動くのだろうか……」以前そんなことを真剣に考えていた私でした。

今回お寺で住職さんにこの古い歴史を持つ来迎寺の由来、幽霊の足跡の由来など、たくさんのお話しを伺いました。実物も見せて頂き、二百年ほど前のものなのにくっきりはつきり残っている足跡に最初はこわかった私ですが、「恐い」というよりは「不思議」というのが正直な感想です。親切でやさしい住職さんの足跡のお話しはテレビで見たようなおどろおどろしいもので



来迎寺にある「幽霊の足跡」

「皆さん幽霊には足がないとおっしゃるが、地に足がついて生活してない今の人達こそ幽霊なのではないですか。しつかりと地に足をつけて生きていかんとあきませんね」という住職さんの言葉が心に残りました。ところで幽霊の足跡は果たして男性か女性か。答えは直接来迎寺に行つて確かめて下さい。玄関前の大きな老松、石造十三重塔、そして何よりも自然の音以外一切しないこの静かな空間は、疲れたあなたの心をリフレッシュしてくれることでしょう。

幽霊の足跡は法要日のみ一般公開されま
す。(一月七日・三月二日・四月一四〜一
五日・八月七・二三日・九月二日・一〇
月二八〜二九日) お問い合わせのうえお出
掛け下さい。

(土川純子)

れ

蓮根

蓮の地下茎の先端が肥大したもので食用。現在、日本では徳島・愛知・茨城などが主産地。守口や門真でもかつて蓮根畑が数多く見られたが、都市化に伴い徐々に姿を消し、現在残っているのはわずかである。

花も実もある蓮根

この頃はあまり見かけなくなつた守口の蓮根畑。私の父は寺方で農業をしています。今では稲作を少ししているだけです。三年以上前にはこの寺方で蓮根を作つて出荷していました。その父から聞いた守口のレンコン話を少ししたいと思います。

蓮根の種類は備中(岡山)と加賀(石川)があり、守口では収穫量の多い備中を作つていたとのこと。北河内はみんなこの備中であつたようです。また、北河内で蓮根の産地として有名だつたのは、茨田浜(まつたはま)・三島(みつじま)・桑才(くわざい)・北島(きたじま)・寺方であつたとのこと。守口・門真で蓮根が有名になつたのは、蓮根作りに適した下田(しもだ)という低湿の土地が多くあつたからと思われまます。

私の覚えている蓮根畑は今では住宅が立ち並んでその面影はありませんが、守口高校の前の道を少し南に下つた西側のところにあります。話は横道にそれますが、この守口高校はその前には京阪高校と呼ばれていました。その前身は戦前に守口の地元の人がつつた私学の商業学校から始まつているとのこと。



当時の蓮根畑の風景

話は蓮根に戻って、蓮根掘りは八月の新蓮(しんばす)から始まり翌年の五月頃まで行われましたが、一番蓮根がおいしいのは正月の後先で、その頃が蓮根の最盛期です。私の五才頃の記憶では蓮根掘りは冬の寒い寒い時期であったように思います。私の父も最盛期には毎日泥まみれになって夕方暗くなるまで蓮根掘りをしていました。その掘った蓮根を、田圃(たんぼ)の端に作った小さな水溜まりで節を折らないように(節の折れていない綺麗なものは値が高い)気をつけて洗って、四、五本を二貫目程度の束にして藁(わら)で荷造りをし道の端に積んでおくと業者が取りに来ます。その頃守口では「カネサダ」と「アメリカ」と呼ばれていた業者が(主人がアメリカに行つて来たような話をするので、そのような通称になったということです)競つており、父はいつもどちらにどれだけ出すかを思案していたように記憶しています。蓮根は泥土の中から備中鍬(びっちゅうくわ)という柄の短い鍬と短い鋤(すき)を使って、腰まである長靴を履いて田圃の土を端から全部耕し蓮根を掘り出すので、大変な重労働だったようです。また、掘り出す時に前述のように節から折れてしまうと値段が下がるので、なかなか慎重に掘り出す必要があったようです。

蓮根は夏になると花を咲かせます。皆さんご存じの蓮(はす)の花です。その花が終わると花の根元の部分が膨らみ実がなります。それを私達は「パンチヨ」と呼び、その中に六く七粒ぐらいのドングリのような物が入っていて、その外の皮を剥いて中の実を食べます。それが私の楽しみで、父の採ってきてくれたパンチヨを四畳半の畳の上に一杯並べたことを覚えています。

農家にとつては重要な現金収入であつたようですが、最盛期が真冬であつたので、掘ることも私が手伝つた(五才の本人はそう思つていた)蓮根の水洗いも、凍りつくような水と凍りつくような北風(田圃の周りに風を避ける建物もなく)の吹きさらしの中での農作業で、大変つらい仕事であつたようです。そのお陰で私はこうして楽しく日々を過ごし、こうして立派な?大人になるとができました。父と母に感謝。

(江端豊和)

わ



当時の渡し船

渡し船

淀川の対岸を結ぶ渡し船は、こ
守口付近でも数多く見られた。
しかし、道路網の整備による架
橋により昭和四〇年代までに順
次廃止され、守口では佐太の渡
しが昭和四八年（一九七三年）
廃止され姿を消した。

懐かしの渡し船

今から二十年前まで、摂津市鳥飼と守口市佐太の間に淀川を挟んで「鳥飼の渡し」という渡し船が行き交っていました。

保有されていた二隻の渡し船は三トシ八馬力の木造船で「鳥飼一号」「鳥飼二号」という名称がっていました。実際には「鳥飼一号」のみで、あと一隻は予備でいつもつながれていたと記憶しています。とてもどかな風景でした。

運航時間は午前六時三十分から午後七時まででした。乗客は一日あたり平均して少ない年で九五名、多い年で一三六名が利用していました。

高校生のころ、よく淀川の堤防から渡し船を見ていましたが、高校を卒業し、大学の一回生を終えた頃にはその姿はありませんでした。休止というかたちでその役目を終えていたようです。

しかし、約一年後に大阪府岬町淡輪の「大阪府立海洋センター」を訪れたとき、偶然にも「鳥飼一号」が展示されているのを発見し、久しぶりで友達に会ったような気がしました。

（児玉慶典）



わんどう

明治維新後、大阪と京都・大津を結ぶ水路の確保のための改修工事で岸から流れにほぼ直角に作られたケレップと呼ばれる水制に堆積した土砂によって作られた河岸の池沼。昭和四三年（一九六八年）には約五百個ものワンドが見られたが年々数が減り、現在では新設のワンドを含めて約五十個になっている。

自然の宝庫

子供の頃、学校から帰ると「ただいま」、「行って来ます」と聞
髪入れずランドセルを放り投げて近所の友達と大急ぎで自転車に
飛び乗り、網とセルビン（透明の円筒状で中にサナギ粉などの集
魚剤を入れ池などに沈め魚を捕る道具）を持ち淀川のワンドへ行
く。まずはセルビンのセット、中にサナギ粉を入れ、重りになる
小石も三〜四個一緒に放り込み、後はタコ糸をつけ、静かにワ
ンドの底に沈め待つこと約三十分、その間バツタやコオロギ、カマ
キリを捕まえたりと時間を潰す。「そろそろ、もう上げてもええ
んちやうかな？」宝物でも引き上げるように、期待に胸は高鳴り、
目はランランと輝き、そうつとタコ糸を引く。セルビンの中はサ
ナギ粉が溶けて水が薄茶色に濁っているが、モロコなどの小魚が
泳いでいるのが確認できる。「やった〜」。このような遊びで靴は
おろかズボンや下着まで泥まみれになり、日が暮れるまでいろい
ろな魚やエビ、亀をとってはあくる日、学校へ持っていき得意満
面で友達や先生に見せては学校の池に放すという楽しくまた懐か
しい思い出いっぱいワンドでの遊びだった。



城北地区のわんど群で釣りを楽しむ人達

このワンドは大阪市旭区に所在し、城北自然地区の淀川左岸に大阪工業大学の裏あたりから赤川鉄橋手前まで約十五個のワンドを形成している。

ワンドは全国的にも大変珍しく、ここ淀川だけの特有のものであり、その昔、治水や舟運の為に作った「水制（流れに垂直に突き出した石積み）」に長い年月のうちに土砂が溜まってできた池で大きさや形、低質など様々なものがあり、いろいろな生物が棲みやすい条件を兼ね備えているのです。

ここワンドには現在も天然記念物のイタセンパラやアユモドキのほか五十種類に及ぶ淡水魚が生息し、淡水貝、水棲昆虫だけでなく昆虫や鳥なども生息する生物の宝庫であり「日本の自然百選」にも選ばれた生きた博物館として大切な文化遺産です。

これを読まれたあなた、一度、あのころの無邪気な童心に還つて網とセルビンを片手に持って、麦藁帽子をかぶり、長靴を履いてワンドに出掛けてください。

もうとつくの昔に置き忘れてしまった子供の頃のあの思い出を探し出すことができるかも……。

(津田勝之)

守口如瓶 字典



《あ》

あいのすず 「愛の鈴」昭和四九年に開始された社会開発運動。交通安全の意識向上と交通事故から子供を守る目的で毎年四月の小学校の入学式に新入生に贈呈される。「その鈴の音は母の声」と刻まれ、ランドセルやカバンに取り付けるためキーホルダータイプとなっている。京阪百貨店駐車場側の出入口付近には「愛の鈴」モニユメントがある。

あいのていきびん 「愛の定期便」市民のために、「と毎年一〇万円が「市長への提言箱」に投函されている。差出し主は匿名なのでわからないが、その寄付金は「愛のみのり基金」で活用されている。

あいのみのりききん 「愛のみのり基金」社会福祉事業の為になされる寄付金を有効に活用し、社会福祉の充実に寄与するために設置さ

れている。

あまのじんじや 「天乃神社」天農神社とも書かれる。正平三年（一三四八年）に四條畷の戦いにおいて消失、寛政一〇年（一六七〇年）竹内門主親王によって社殿を改築したといわれる。祭神は素戔鳴尊・誉田別尊（應神天皇）・菅原道真公。本殿のこけらぶぎの一間社春日造の向拝には墨股二個が並べられ、他に類例を見ない形式をもつ。

アユモドキ 「鮎擬」琵琶湖の淀川水系に棲息するドジョウ科の淡水魚。日本特産で形がアユに似ている為この名前がつけられる。大きさはおよそ二〇センチ。

《い》

いうえとしお 「井植歳男」三洋電機の創業者。松下幸之助と共に松下電器を築き支え、戦後独立して

昭和二二年三洋電機製作所を設立。

いけのめだか 「池乃めだか」本名は中井明彦。昭和一八年七月三日生まれ。吉本興業に入社前は三洋電機に勤めていた。身長一四九・六センチの恵まれた体格から出される一連のギャグは秀逸。「ちっちゃなころから悪ガキで一五で背丈がとまったよ」を自らのテーマソングにしている。

いしかわゆうこ 「石川優子」ヤマハのポピュラーコンテストを経て歌手デビュー。守口第二中学卒業。ヒット曲に「シヤテレサマー」やCHAGEとテュエットした「ふたりの愛ランド」がある。

いしわりさだじ 「石割定治」世界をまたにかけて日本の伝統技術の船細工を紹介している職人。チャリー石割と呼ばれる。キヤラクターものを作るのは彼だけ。

イタセンバラ 「板仙腹」淀川に棲息する特別天然記念物。日本特産

のタナゴで大きいものは一〇センチに及ぶ。稚魚は貝の体内で越冬する。

いちかわかくいち【市川加久】市内在住の洋画家。元関西旺玄会代表。

いちりづか【一里塚】街道の里程の目標に道の両側に土を盛ったもので、櫻が多く植えられた。江戸時代徳川二代將軍秀忠が東海道を整備したときに現在の浜町に設ける。参勤交代に庄屋や役人が麻の裃を着用して一里塚まで送迎した。

《う》

うおまんろう【魚万楼】東海道守口宿の旅籠。旅人の給仕をする飯盛女がいた。飯盛女とはいわゆる遊女のこと。その跡地は現在、MIDピルの駐車場となっている。

うだつ【宇達】町屋で隣の境に

作る防火壁。「うだち」が転じてこう呼ばれる。文禄堤に並ぶ家は本瓦葺きでほとんどの家にうだつが上がつている。借家住まいではうだつを上げることはできず、持ち家になって始めて上げることが許された。このことからうだつを上げれば一人前といわれた。転じて現在では出世できない人を指す言葉となった。

うぶすなじんじや【産須那神社】室町期前半創建。祭神は菅原道真。大坂夏の陣で消失した際に、村人たちは神霊を土中に埋めて避難させたと伝えられる。

《え》

えどがわらんぼ【江戸川乱歩】探偵小説の大御所、日本推理作家の巨匠。三重県名張市出身。早稲田大学を卒業後、大正九年守口と門真に移り住んだ。乱歩の初期の短

編小説は八島町の寓居で書かれた。明智小五郎が初登場した「D坂の殺人事件」の作中のトリックは京阪守口車庫の柵のアイディアがトリックに用いられた。

エフエムハナコ【FM HANAKO】正式名称はエフエムもりぐち。平成五年七月二〇日に守口市金田町で産声を上げた初の都市型コミュニティFM局、周波数は八二・四メガヘルツ、ハナコだからといって八七・五メガヘルツではありませんが、くれぐれもお間違えないように。地域に密着した一全員集合一日井戸端倶楽部やバラエティ、音楽など番組が充実。また、選挙速報、災害時の緊急放送や道路情報など生活情報も豊富に流される。

《お》

おおえだこうえん【大枝公園】市

民球場・テニスコート・市民プール・青少年センターなどの施設がある市民の憩いの場。春には桜の名所として知られ、春と秋には植木市も開催され賑わう。

おおくぼちゅうおうこうえん「大久保中央公園」大枝公園と同時期に春と秋のシーズンに、植木市が開催されて大いに賑わっている。
おおさかえいがさい「大阪映画祭」毎年二月に「映画ファンのための映画祭」として、守口文化センターで催される。映画の完成試写会や舞台挨拶などビックな芸能人が来ます。

おおさかふりつもりぐちこうとうがっこう「大阪府立守口高等学校」西郷通に位置する。普通科の全日制と定時制が設置される。大正二年三月私立京阪商業学校として創立。昭和一九年私立松下工業学校と改称、昭和二二年京阪中学を併設し私立松下学園となる。戦後の昭和二三年私立京阪高等学校、

守口市立京阪高等学校と相次いで改称し、昭和四一年に現在の名称になる。かつては春の選抜高校野球の出場経験もある。

おおさかふりつもりぐちきたこうとうがっこう「大阪府立守口北高等学校」外島町に位置する。昭和五三年に創立される。

おおさかふりつもりぐちひがしこうとうがっこう「大阪府立守口東高等学校」八雲中町に位置する。昭和五八年に創立される。

おおさかふりつよどがわこうぎょうこうとうがっこう「大阪府立淀川工業高等学校」旭区太子橋に位置する。ラグビー部や吹奏楽部は府下はもとより全国的に知られる。また、ロボットの開発でも有名。

おおさかモノレール「大阪モノレール」現在は豊中市の柴原と南茨木まで開通、南茨木から門真の約八・一キロメートルは平成九年九月に開通予定。守口市内の駅は大

日駅、通過距離は約一・五キロメートル。

おおいおへいはちろうゆかりのしよん「大塩平八郎ゆかりの書院」大坂で「大塩平八郎の乱」を率いた町与力。天保の飢饉にあえぐ農民たちを組織して拳兵する。家塾の洗心洞で多くの子弟を講学、豪

農白井孝右衛門は大塩に経済援助をし、拳兵に協力する。竜田通にある大塩書院は白井孝右衛門の隠居場所。

おおばやしもとこ「大林素子」五輪・世界選手権で活躍したバレーボールの全日本代表選手。日立バレーボールリーグ・セリエAのジェノアを経て現在は東洋紡オーキスに在籍。一九九四年の広島アジア競技大会では日本選手団旗手を務めた。

オブジェ（*objet*）守口市駅前、河原町にあるオブジェ。「希望の鐘」PASSAGE「光の木」

「おじぎり山」「愛の鈴」。

《か》

かじいせき「梶遺跡」市宮梶第一団地付近にあり、帆立貝型の前方後円墳が検出。低湿地に築かれた古墳は珍しく多くの須恵器や埴輪が発見された。その中で、全国でも珍しい牛の埴輪が出土される。

かまくらきょうキャンプじょう「鎌倉峡キャンプ場」市民の憩いの場として夏季（四月～六月、九月～十一月は日・祝祭日、七月～八月は毎日）開放されるレクリエーション場。テントや炊事場を備えている。神戸市北区道場町に位置する。

かみがたよしお「上方よしお」西川のりおと漫才コンビを組んでいたがコンビ解消、先頃コンビ復活が話題となる。高瀬町に在住。

かめはし「瓶橋」所在地は守口市

浜町。昔の守口の町はここまで。この橋が守口の入口であり出口であった。「言葉を慎め」ということとで「口を守ることを瓶の如し」という所から命名される。

かんさいいかだいがくふぞくびょういん「関西医科大学付属病院」昭和三年設立。昭和七年に枚方市の牧野から滝井に移転。滝井のほかに香里園・男山・洛西ニユータウンに付属病院がある。

かんさいこくさいこうこうちゅうこうバス「関西国際空港直行バス」京阪電鉄守口市駅東口にのりばがあり、近畿自動車道・阪和自動車道を経て関西国際空港までノンストップ。大人一人千六百円、所要時間は約八〇分で一日一四便運行されている。要予約。

《き》

きざえもん「喜左衛門」寺方の庄

屋。旧寺方荘をはじめとする一二ヶ村は水はけが悪く悩まされていたため、幕府に無断で樋を設置し捕らえられ、寛永一二年三月十五日処刑された。村人たちは彼を慕い明治一四年に記念碑を建てた。またこの記念碑の横には石造仏舎印塔があり、和泉式部の供養塔と伝えられている。

きざきまさたか「木崎正隆」長く守口市の市長を務め、市民に親しまれた名物市長。守口市が誕生した昭和二年当時の市長の臨時代理を務め、昭和二年から十一月三日から昭和六二年七月三十一日まで九選連続三五年間リーダーシップを発揮。昭和六二年八月市葬が行われる。京阪百貨店橋のカナデアンスクエアの一角に胸像がある。

きりこどうろう「切り灯笼」枠を切りの形に組んで、紙または絹を細く切つて飾り垂らした灯笼。盃蘭盆会などに用いる。

《い》

こうほうもりぐち【広報もりぐち】毎月二度、一日と一五日に守口市市長室広報担当が発行する。昭和二五年九月一日創刊された当時の名称は「守口市広報」。平成四年八月に千号達成するなど長い歴史と伝統のある広報紙。

こうみょうじ【光明寺】大同元年（八〇六年）弘法大師の開基と伝えられる。守口市に残る仏像で最も古い十一面観音立像は市の重要文化財に指定されている。また裏の墓地には市内で最も古い石塔婆がある。

こうみんかん【公民館】中央・庭窪・庭窪分室・三郷・東部・南部・八雲東・錦・東・北部・西部の十公民館一分室が設置される。毎週月曜日と祝日の翌日は休館。数々の講座や講習会が開かれてい

る。人口一萬五千人にひとつは全国でもまれ。

こかしよび【五箇所樋】守口荘・小高瀬荘・寺方荘・橋波荘・裨島荘の五ヶ荘の飲料水を引いた樋があることからこの名前がつけられる。現在はM・Dビルの駐車場に五箇所跡碑がある。

こくさいはなとみどりのはくらん【国際花と緑の博覧会】一九九〇年四月一日〜九月三〇日の間、大阪鶴見緑地公園で開催される。「花と緑と人間生活のかかわりをとらえ、二一世紀へ向けて潤いのある豊かな社会の創造をめざす」をテーマに海外出展八〇国、五五国際機関、国内展示館三二件、屋内展示一四三件、屋外展示一三一件、政府出展一件で盛大に催される。また、会場アクセスの為、地下鉄鶴見緑地線も建設される。

ことうみどり【五嶋みどり】守口市出身の世界的バイオリニスト。故木崎正隆前市長のひ孫にあた

る。ポストンフィルの演奏中にバイオリンのE線が切れても臨機応変に演奏を続け、最後まで終えたエピソードはニューヨークタイムズで報じられ、名声を不動のものにする。このエピソードは日本の学校の教科書にも記載された。

こねんじ【護念寺】永禄八年（一五六五年）実悟上人が復興した寺。「世木御堂」と呼ばれる真宗大谷派の寺院。境内の本堂の脇にある植え込みの中に切支丹燈籠が立っている。

《さ》

さたじんやあと【佐太陣屋跡】京都・大阪間の交通及び軍事上の要地から美濃加納藩永井氏が陣屋を持つてきたと考えられる。現在は佐太老人福祉センターとわかさ公園となっており、昔の痕跡は一部残された石垣と竹やぶのみとなつ

ている。

さたてんじんぐう 【佐太天神宮】
菅原道真が太宰府へ流される途中にしばらく滞在したところ。道真の死後、天曆年間（九四七年～九五六年）道真自作の木造を神体として創建されたと伝えられる。室町期には大庭庄の惣社として崇敬された。境内にある老梅は道真にあやかり勅梅と呼ばれる。また俳人と謝蕪村は故郷に帰る途中に詠んだ句碑がある。また、境内の池周辺は「大阪みどりの百選」に選ばれている。

さつき 【皐月】一九七三年五月、市の花として選定される。シヤクナゲ科の常緑低木。正式名称はサツキツツジ。毎年五月には大久保中央公園で「さつき祭」が催される。守口市医師会マークのベースに。

さとみまさと 【里見まさと】
「さ・ほんち」のまさとの現在の芸名。現在は亀山房代と漫才コンビを組んでいる。八雲には「ほんち」という名前の喫茶店がある。

さんようでんき 【三洋電機】我が国の代表的な総合電機メーカー。昭和二八年噴流式洗濯機を発売、木暮実千代のコマージュと二万円円で安さで業界の首位に立つ。大衆に密着した商品開発を常に進める。本社は守口市。

《し》

じきはらぎよくせい 【直原玉青】
市内在住の名誉市民。日本南画院の理事長を務めた。守口文化センターの南側の壁面には「淀の流れ」をモチーフにしたモザイクがある。橋波在住。

しぱりょうたるう 【司馬遼太郎】
昭和三五年に「梟の城」で直木賞を受賞。代表作「竜馬がゆく」「坂の上の雲」「翔ぶが如く」などベストセラー。歴史小説の巨匠。

しみんえんげいむら 【市民園芸村】
緑化事業の一助として市民に土に親しんで緑に関する意識を高める目的で、昭和四八年十月に寺方市民園芸村を開設。その後八雲・梶・菊水・東郷・佐太に設置される。年間三千円の利用料で一二平方メートル利用できる。

しみんきゆうかむら 【市民休暇村】
健全な余暇活動の場として、昭和五十年に滋賀県安曇川村・和歌山県花園村・高知県東洋町に設置される。その後昭和五六年に友好提携締結。

じゅうさんやざか 【十三夜坂】
町の桜通商店街から文祿堤に抜ける坂道。別名を月見坂とロマンチックに呼ばれる。陸橋のところに「船頭ヶ浜」という数件の船頭の家があった。

しょうたくじ 【清澤寺】実悟上人が天文年間（一五三一年～五五年）荒廃していた清安寺を再興して土居坊と改称し、上人の姓をとって

清澤寺と呼ばれるよつこになる。

じょうしょうきりゅう【情SHO
W気流】(財) 守口市文化振興事
業団が発行するムーブ21・文化セ
ンターの機関紙。イベントガイド
や新刊図書情報、二本の足で情報
を探す「歩記隊が行く!!」など情
報満載。

じょうせんじ【盛泉寺】徳川家康
の東西本願寺分離政策で難宗寺か
ら分離、創建されたお寺。難宗寺
に対して「東御坊」と呼ばれる。
本堂は戦災や災害を何度も受けて
おり、天保六年(一八三五年)に
再建されたものが現在の本堂。愛
親寛羅溥儀筆の屏風がある。

しらいてい【白井邸】守口宿の市
場町(竜田通)のほとんどもを占め
ていた豪農。大塩平八郎の乱以後
は問屋場として賑わった。現在の
白井邸は当時の漬物小屋を改造し
たものといわれている。

しりつかんさいかだいgak【私
立関西医科大学】文園町に位置す

る。一九二八年大阪女子高等医学
専門学校として創設された私立大
学。一九四九年に男女共学となり
現在の名称に改められる。大学院
もある。

しりつおおさかこくさいじょしだ
いがく【私立大阪国際女子大学】
藤田町に位置する。家政学部・人
間科学部の女子大学と英語科・家
政科・幼児教育科・国際文化学科
の短期大学が併設されている。また、
付属高校としてに大和田校と滝井
校がある。

しりつでんきつうしんだいがくふ
せくこうとうがっこう【私立電気
通信大学付属高等学校】橋波西之
町に位置する。普通科と電子工業
科の二科ある。

しroyamajinja【白山神社】旧
六番村・三番村・四番村の氏神。
元々は現在地より北西に三百メー
トル離れた位置にあったといわ
れ、その地には「藤の森」の石碑
が建てられている。江戸時代中期

の建立と見られている。

しんのうのら【神農の真】大阪
市中央区道修町にある少彦名神社
で、疫病よけとして売られている
張り子の真。

《す》

すいとさい【水都祭】昭和初期か
ら始まった浪速のあきんどの根性
と底力をかいま見ることの出来る
夏祭。数千発の花火がクライマッ
クスを彩る。

スポーツガーデン(sport garden)
小中学校の公共用地の隅きりに高
い木を植えたスペースを設け、憩
いの場としたもの。橋波小学校や
大久保小学校、南小学校など市内
数ヶ所にある。

すやまちこう【須山知行】大阪音
楽大学教授。箏曲演奏家。「春の
海」で知られる故宮城道雄の高弟。
現在は洋楽と箏曲の融合に挑戦し

国際的に活躍中。

《せ》

せいしゅ・とうかいとうごじゅう
ななつぎもりぐちしゅく「清酒・
東海道五十七次守口宿」守口歴史
街道推奨の日本酒。純米吟醸生貯
蔵酒。

せりようこ「芹洋子」本名、伊東
洋子。三郷幼稚園卒園の歌手。昭
和四七年にレコードでデビュー。
「四季の歌」「坊がつる賛歌」がヒ
ット。「赤トンボ」「里の秋」など
童謡を歌い続けている。

《そ》

そへんごころづふ「即時交付」平成三
年一月から東部公民館と南部公民
館において住民票の写し・印鑑登
録・年金現況届の証明書類を即時

発行。平成四年二月二十九日からは
市民サービスセンターと両公民館
で土・日・祝日にも即時交付、こ
れは全国でも初めての事例。

《た》

たいへいサブロー「太平サブロー」
守口市出身の吉本のタレント。か
つて太平シローとコンビを組むも
解消。現在はピンで活躍中。その
ものまね芸は秀逸。

タイムカプセル「time capsule」
京阪百貨店駐車場横の「愛の鈴」
オブジェの脇に埋設されている。
「子供のための世界一のまちづく
り」を提唱し、一九八五年一〇月
一二日に埋設。二〇〇一年一月一
〇日に開封予定。

たかせじんじや「高瀬神社」社殿
には聖武天皇の勅願によつて祀ら
れたとあり、旧世木村・馬場村の
氏神。紀元八六〇年の日本書紀に

地名があり、津嶋部神社と共に
「延喜式神名帳」に記された名僧
行基によつて建立された由緒ある
神社。

たかせがわあと「高瀬川跡」かつ
ては淀川の本流であり、江戸時代
には「守口川」とも呼ばれる。古
歌にも多く歌われる。遺物と思わ
れる橋杭の石柱からかなり大き
な川であったことが推測される。

たきいしんち「滝井新地」明治以
後、貸座敷営業が許可された地域。
花街。遊郭。

たつよしじょういちろう「辰吉丈
一郎」元ボクシングWBC世界ハ
ンタム級チャンピオン。網膜剥離
を乗り越えて再チャレンジする姿
は映画にも描かれる。守口市に在
住。近くには奥さんの実家が経営
する喫茶店「白千館」がある。

たてのちより「立野千代里」バル
セロナ十五輪の柔道女子五六キログ
ラム以下級の銅メダリスト。世界
柔道選手権では銀メダル。福岡国

際柔道選手権では金メダルを獲得。守口第二中学時代はソフトボール部員として活躍、高校に卒業して柔道を始める。

だんくら「段倉」昔は低湿地帯で水はけが悪く水害の絶えなかつたため、農民は収穫されたお米を守るために工夫された倉。通常の倉よりも一段ずつ高く階段状にしたためこう呼ばれる。

《ち》

ちかてつたにまちせん「地下鉄谷町線」昭和五二年、都島駅より延伸して守口駅まで開通。その後、大日駅まで到達。大阪の中心部梅田へ乗継ぎなしで行けるため大変便利。

ちゅうざんし「中山市」中華人民共和国広東省の都市。首都は石岐。昭和六三年四月一日友好都市締結。地元で合併事業を営む民間企

業の仲介により友好交流が始められる。偉大なる革命家・孫文（孫中山）の故郷として知られる。

《つ》

つるみりよくちこうえん「鶴見緑地公園」一九九〇年に国際花と緑の博覧会が開催された会場。日本最大級の温室「咲くやこの花館」や「いのちの塔」が残されている。国際庭園とともに公開されている。また整備された跡地にはパーベキューサイトやキャンプサイトが市民に開放されている。

つしまべじんじや「津嶋部神社」大窪庄五ヶ村と覆屋川黒原対馬江の氏神。高瀬神社と共に「延喜式神名帳」に記された千年以上の歴史がある由緒あるお宮。祭神は津嶋女神・素戔鳴尊・菅原道真。大坂夏の陣で社殿が炎上したが、元禄年間再建され、大宮天満宮と

称されて崇敬された。

《て》

てらかたちょうちんおどり「寺方提灯踊り」守口市を代表する郷土芸能。発祥年代は不祥。この踊りは門外不出で「子相伝といわれ、ひそかに継承された。河内音頭寺方節にあわせて太鼓を使った囃しに、片手に提灯を持った独特な踊りは外に類例がない。

《と》

とうかいどうごじゅうななつぎもりぐちしゆく「東海道五十七次守口宿」徳川家康が五街道を設けた元和二年（二月一日）に東海道の宿場町として「守口宿」を定めた。本陣、問屋場などの公的施設が設けられる。本陣は代々吉田八兵衛

家が継承し、大坂から二里に位置していたため宿泊する大名は少なく、多くは小休本陣として利用された。問屋場も人足百人を常備するだけで、馬百疋の馬継などはなかった。東海道とは江戸日本橋から大坂高麗橋までをいう。

トークティもりぐち「トークティ守口」市民と新しいまちのふれあいつくりとより豊かな暮らしと生活向上のため商業・公共・文化・憩いの施設を結合した町。昭和六十年十月に事業が完成。ページュを基調にした都会的センスあふれる町。京阪百貨店・専門店街・ホテル・銀行・体育館・文化ホールが配置されている。

とうようぼう「東洋紡」我が国の代表的な総合繊維メーカー。繊維部門のほか医薬品やバイオ産業などの非繊維部門にも進出。女子バレーボールの東洋紡オーキスはバレーボールの名門。

どうろ「道路」高速道路は阪神高

速道路守口線（二二号）と近畿自動車道が市内を縦横断。国道は一号線・一六三号線（四日市線）・四七九号線（内環状線）。府道は大坂中央環状線・北大日竜田線・八尾茨木線・守口門真線・深野南寺方大阪線・金田門真停車場線・京都守口線・平野守口線。市道は全八〇一線。全市の道路の総延長は二二万一六九九メートル。延べ面積は一五八万五九〇五平方メートル。守口市の総面積の約十二パーセントに及ぶ。

トヨタオートおおさかびる「トヨタオート大阪ビル」照明の色で翌日のお天気を知らせるビル。

とりかいおおはし「鳥飼大橋」昭和二年木造橋として完成。現在の橋は昭和二九年に完成。全国初の有料道路橋。

とんど「とんど」毎年一月一五日前後にしめなわや門松などを燃やして、無病息災を願う新年の風物詩。市内数ヶ所で行われ、大久保

町のもはその規模が大きい。左義長。

《な》

なかにしけじゅうたく「中西家住宅」清和源氏多田満仲を祖先に持つ名家。当家一三代重久がこの地を訪れて開墾したことが大窪庄五ヶ村の始まりといわれる。建物は中世土豪屋敷をしのばせて極めて貴重である。

なにわっこランド「なにわっこランド」鶴見緑地公園内にあることものためのレジャー施設。ジャンボスライダー（巨大すべり台）や恐竜ナツシーなどの遊び心がいっぱいの遊戯施設で休日には子供連れの家族で大賑わい。

なんしゅうじ「難宗寺」蓮如上人の守口坊として建てられ「西御坊」「御坊さん」と呼ばれる。お寺の掘つたいには道標と記念碑が建つ

ている。お寺の境内には昭和五〇年、大阪府指定天然記念物の樹齢約五百年の大銀杏がある。

《に》

ニューウエストミンスターし「ニューウエストミンスター市」カナダのブリティッシュ・コロンビア州の都市。昭和三八年四月一〇日姉妹都市締結。故木崎正隆市長が欧米の地方自治制度を視察したことが契機。バンクーバー近郊の古都。
にしさんそうゆとりみち「西三莊ゆとり道」鶴見緑地公園から天乃橋までの約一・九キロメートルにわたる西三莊水路を暗渠にしたもの。遊歩道は五つのゾーンに分かれ、「緑と空間のゾーン」「文化・教養のゾーン」「フィットネスゾーン」「水のゾーン」「花のゾーン」となっている。将来的には淀川河

川公園を結び市内縦断遊歩道としての構想がある。

にしださちこ「西田佐知子」タレントの関口宏夫人。元歌手で「アカシアの雨が止む時」のヒットで知られる。帝国滝井高校（現・大阪国際滝井高校）に在籍。

《の》

のさかあきゆき「野坂昭如」戦後の混乱期、市内に在住。一九六八年の下半期に「火垂の墓／アメリカひじき」で直木賞を受賞。現在は文化人・コメンテーターとして活躍中。

《は》

はしもとこうゆう「橋本好祐」市内在住のフリーカメラマン。守口市にゆかりのあるダルマや船など

を収集されている。

はなずかん「花図かん」「花・緑」に関する図書閲覧や情報提供・相談などを行う、下島公園内にある情報スペース。近くには「わんぱくととりで」や「ふれあいテック」などの施設がある。

《ひ》

ひなだ「ひなだ」かつて水路が縦横に入っていたころの船着き場。石段のものや木を渡しただけのものがあり、古き時代はそこで洗濯などをしていた。この名称は雛祭りの「ひなだん」が訛って「ひなだ」となったともいわれる。

《ふ》

ふくまおさむ「福岡納」元阪神タイガースの投手。背番号一二番。

現在では野球解説者。松下電器から
ロツテ（現・千葉ロツテ）に入団
後、阪神に移籍し中継ぎや押さえ
の切札として八面六臂の活躍。現
役時代は持ち前のキヤラクターで
ファンに愛され、当時のシーズン
最多登板などの記録を達成。世木
（高瀬町）に住んでいた。

「ふるさともりぐちをたずねて」

「ふる里守口を訪ねて」守口市
の郷土歴史家・駒井正三氏が著し
た市内全域の歴史・文化を記した
著書。自分たちが住む町を愛する
「心」を芽生えさせるための好著。

「ふれあいのいえ」「ふれあいの家」
平成二年に開催された花博のとき
に、集団宿泊生活を通じて人間性
豊かで協同と友愛の精神を基礎と
した健全な心身育成を目指して建
設された教育施設。槻小学校内に
ある。

「ぶんろくつつみ」「文禄堤」豊臣秀
吉が文禄三年（一五九四年）毛利
三家に命じて築造させたため、当

時の年号からこのように呼ばれ
る。伏見と大坂を結ぶ陸路が不便
であったため、距離短縮の目的で
築造された約二七キロメートルの
道路。当時は大名行列など多くの
人家で賑わった。

《ほ》

ほうちじてんしゃだいにちほかん
じょ「放置自転車大日保管所」守
口市内の全駅の自転車等放置禁止
区域の自転車・バイクを移送・保
管する所。返還時間は午前〇時
から午後七時まで。返還手続きに
は身分証明書、印鑑、鍵、移送保
管手数料千五百円（バイクは二千
円）が必要。引取りのない自転車
等は廃棄処分にされる。

《ま》

まえのやま「前の山」現在は高田
川親方として相撲部屋を構え、剣
晃・鬼雷砲ら後進の育成に励む。
その指導力には定評があり現役時
代は大関が最高位。八雲町出身。

まつしたぎねんびょういん「松下
記念病院」昭和十五年、守口市の
日吉町に松下病院として設立。昭
和六一年現在の外島町に松下記念
病院として移転。

まつしたこうのすけ「松下幸之助」
世に「経営の神様」と称えられた
松下グループの総帥。八人兄弟の
末っ子生まれ、大阪電燈の見習工
員の後に独立。ソケット製造業を
開始する、その後松下電器製作所
を設立、自動車ランプなどで成功
し松下グループを世界的家電メー
カーに育て上げる。一方、PHP
研究所を設立、松下政経塾を開設
するなど独自の運動を展開。平成
元年（一九八九年）に死去。

まつしたこうのすけきねんかん
「松下幸之助記念館」松下幸之助

と電池事業との関わりとその歩みを綴った「伝統の館」と未来社会で活躍が期待されるさまざまな電池の夢を描いた「未来の館」がある。

まつしたでんき「松下電器」我が国の家電業界のトップメーカー。大正七年松下電器器具製作所を個人創業。昭和一〇年に現社を設立。国内のほとんどの製品で第一位にある。本社は門真市。

まどかひろし「円広志」本名、篠原義彦。ヤマハポピュラーコンテスタを経て「夢想花」でデビュー。現在は司会・作曲・タレントとしてマルチに活躍中。守口高校卒業。

《み》

みょうらくじ「妙案寺」創建一六八二年唱阿上人の開基。一度洪水で本堂など全てが流出した後、一空知三唱阿上人が現在の寺を創

建。寺の中には役行者の木造や弘法大師の石仏があり、裏庭には大阪府指定天然記念物で樹齢約三百年の大ツツジがある。

《む》

むぐるまたくや「六車卓也」元ボクシングWBA世界バンタム級チャンピオン。現在はスポーツメーカーの社員。守口市体育館で防衛戦するも惜しくも判定で敗れる。

《も》

もすしょうへい「もす唱平」守口小学校卒業の作曲家。代表作に「花街の母」などがある。

ももまちりよくどうこうえん「桃町緑道公園」外島と狼島(中州)の境界で淀川の水路が入りこんでいた所。この水路を暗渠にして遊

歩道が作られている。桜の季節になると素晴らしく「大阪みどりの百選」に選ばれている。

もりいんじや「守居神社」社記によると九一八年の洪水で人々を救うために、天道神の夢のおついで「土を居いて」お祀りしたのが始まりといわれる。祭神は素戔嗚尊。最初は土居神社と称したが、守口と土居の各一字をとって守居と呼ばれるようになった。土居商店街のオアシス。

もりぐちこどもまつり「守口こどもまつり」毎年四月に淀川河川公園八雲地区で開催される、こどもが主役のおまつり。各種団体が参加。

もりぐちし「守口市」昭和二一年一月一日に守口市と三郷村が合併して誕生。日本で二〇九番目、大阪府下で一番目の都市。当時の面積は五・七七平方キロメートル。昭和三二年四月に庭窪町と合併。

もりぐちしえいじゅうたく【**守口市宮住宅**】昭和二三年南寺方北通に第一号が建設される。現在の住宅数は七五四戸数（平成五年九月一日現在）

もりぐちしえいテニスコート【**守口市宮テニスコート**】大枝に四面、八雲に二面、いずれもアンツーカーのコート。一時間につき一般四百円、学生等二百円で利用できる。

もりぐちしか【**守口市歌**】昭和二六年一月の市制五周年を記念して制定される。作詞は安西冬衛、作曲は古関裕而。

もりぐちししょう【**守口市章**】昭和二六年一月の市制五周年を記念して制定される。市民から募集した結果、守口市の「守口」の二文字を図案化したもの

もりぐちししょうがいがくしゅうじょうほうセンター【**守口市生涯学習情報センター**】別名ムーブ21。平成五年八月二十八日に誕生。最終蔵書規模約二十七万冊の図書フロ

ア、CDやビデオの視聴覚コーナー、最新式プラネタリウム、同時通訳施設を備えた会議室などを市民に提供している。

もりぐちシルバージンざいせん【**守口市シルバリー人材センター**】高齢者の長年にわたる経験や技能を生かせる機会を作ることにより、生きがいや健康向上を目的に昭和五四年四月二一日発足、昭和五五年一月二〇日現在の名称に改める。現在の会員数は七百人を越している。

もりぐちしそごうたいいくたいかい【**守口市総合体育大会**】春季・秋季・冬季に市民スポーツの振興とアマチュアスポーツ精神の高揚を目指すとともに、市民の健康作りと親睦を図る。

もりぐちしびじゅつてん【**守口市美術展**】広く市民に公募して開催される美術展。日本画・洋画・書道・陶芸・工芸・彫刻の六部門。
もりぐちしみんかいかん【**守口市**

民会館】愛称はさつきホール。昭和四一年に建設され、現在は平成五年四月一五日にリフレッシュアップ。千八人収容の大ホールや結婚式、披露宴もとり行える。

もりぐちしみんぎょうじょう【**守口市民球場**】中堅一〇メートル、両翼九〇メートル。千五百人収容のスタンド。二時間につき一般は二千円、学生等は千円で利用できる。

もりぐちしみんけんしょう【**守口市民憲章**】昭和四八年五月三日に制定。「わたしたちは、自由と平和を愛し、人間尊重と自主自立の精神に立ち、互いに協力してよりよい生活を営むためにこの憲章を制定します」の前文と五条からなっている。

もりぐちしみんたいいくかん【**守口市民体育館**】収容人数四千人を誇る体育室を始め、武道室やトレーニング室などを設置している。開館時間は午前九時から午後九時

まで。第一・第三水曜日が休館となつてゐる。

もりぐちしみんプール【守口市民プール】日吉・大枝・八雲・橋波・藤田の五ヶ所。一時間二〇円で利用できる。いずれも二五メートルの六コース。七月一日から八月三十一日に開設される。

もりぐちしみんまつり【守口市民まつり】昭和六十一年の市制四十周年を契機に、すべての市民が集い、参加する企画をといつことから、市民憲章普及推進協議会・公民館地区運営委員長会・社会福祉協議会・守口門真商工会議所・守口青年会議所・日本赤十字奉仕団守口支部の六団体が発起人会となつて、守口市民まつり実行委員会が発足。毎年「テーマ」が決定され運営される。

もりぐちしゅくぼんじんあと【守口宿本陣跡】大名や役人が宿泊した公認宿舎で現在の竜田通にあつた。その痕跡は運送会社の社屋の

一部に見られる。

もりぐちスポーツプラザ【守口スポーツプラザ】守口フィットネスリゾートとも称される。夏にはプール、冬にはスケートが楽しめるスポーツ施設。

もりぐちだいこん【守口大根】守口市が原産の一メートルに及ぶ細長い大根。もつぱら奈良漬けに使用される。現在は岐阜県が主産地で当市ではわずかに教材用に栽培されている。

もりぐちだいこんまんじゅう【守口大根饅頭】花博を契機に、守口市ゆかりの守口大根を模して作られた細長い和菓子。

もりぐちぶんかセンター【守口文化センター】昭和六〇年に完成した市民が利用できる施設。中のエナジーホールは四三六席の多目的ホール。毎週木曜日が休館となつている。

もりぐちぶんこ【守口文庫】昭和五五年九月二三日に守口市松町に

オーブン。守口宿関係文書及び守口町庄屋文書などの近世史料が約六千点おさめられている。開館時間は午前九時から午後五時まで。休館日は水曜日・土曜日・日曜日・年末年始。

もりぐちまちなみしょう【守口まちなみ賞】平成三年から始められた、将来的に守口らしさをリードする建物や美しい景観や町並みを作り出して行くものを市民から推薦し、表彰する賞。

もりぐちろうじんほけんしせつ【守口老人保健施設】平成二年の老人福祉法及び老人保健法の改正で平成五年から新たな老人保健福祉計画（ゴールドプラン）を定める規定が加えられ、八雲中町に長生苑、大久保町にラガールが設置される。

もりぐちわんぱくすもう【守口わんぱく相撲】守口市全域の小学生を対象に青少年健全育成を旨とす、全国大会の予選も兼ねた大会。

平成元年より守口青年会議所が主催している。

もりのみず【もりの水】正式名称は守口市高度浄水処理水。平成四年度からオゾン・活性炭処理による高度浄水処理施設で、かび臭さや有機物質を除去した水を製造。平成九年度には同程度の水道水を供給する予定。守口市水道局が販売者。

《や》

やじえもん【弥治右衛門】藤田の庄屋。小泉弥治右衛門。水害に苦しむ農民を救済するために無断で排水樋を設置したことが幕府の怒りを買ひ、一族郎党が処刑され田畑も没収された義農。村人達は犠牲になった弥治右衛門を敬慕し、お墓がわりに道標をつくり後世に伝えた。昭和七年には藤田公園内に記念碑が建立された。

やくもいせき【八雲遺跡】府宮八雲北住宅付近にあり、縄文晩期の土器や、奈良時代の土器、近世の陶磁器やくわわんか茶碗が出土するなど大複合遺跡。

やくもじんじゃ【八雲神社】天保年間に再建され現在の社になる。旧八番村・北十番村・下島村・南十番村の下番四ヶ村の氏神。秋祭には旧八番村・北十番村・下島村・南十番村と新たに八雲中町の村々から計五台の地車が村中を練り歩き、先を争って宮入りする光景は貴重な民族文化財である。

やかんがつきゅう【夜間学級】守口第三中学校内にある北河内で唯一の中学校夜間学級。近隣の都市から通学される生徒も多い。

《ゆ》

ゆうゆうのさと【ゆうゆうの里】昭和六〇年完成の京阪守口市駅再

開発地域にある全国でも少ない都市型有料老人施設。

《よ》

よしのぶほろぎゅう【吉延豊丘】市内在住の文化人。備前焼きの陶芸家。毎年の敬老の日に自作の備前焼の湯のみを自分の年齢の数だけ市に寄託。その数は八百を越える。

よどがわかせんこうえん【淀川河川公園】三川合流点から最南端は海老江地区まで広域に広がる河川公園。陸上トラックや野球場を備え休日の市民の憩いの場になっている。市内には佐太西地区・大日地区・八雲地区・外島地区がある。

《5》

らいこうざか「来迎坂」この坂を下りて難宗寺の南側を経て旧奈良街道に通じる守口で最も古い街道。坂の登頂に道標「右ならのざき」と記されてある。

らいこうじ「来迎寺」実尊上人が正平二年（一三四七年）守口村に建立したのが始まりといわれる。住職が代わるたびに本尊を移し、現在の位置になるまで二五回移転した。多くの文化財がある事で知られ、「絹本著色八幡曼荼羅図」は国の重要文化財に指定されている。

《ろ》

ろうじんふくしセンター「老人福祉センター」お年寄りの健康増進、教養の向上やレクリエーションを通じた憩いの場づくりを目指して昭和四五年四月一日佐太に昭和五〇年四月一日に菊水通に開設され

た。

《わ》

わたしたちのきょうりゅうランド「私たちの恐竜ランド」松下電池工業本社工場の社屋の壁をキャンパスに見立てた大壁画。寺方小学校の児童が描いた恐竜の原画を合成した楽しい絵。全校生徒が入れ替わった六年後に再び描き直す。関西で二番目の大きさを一六〇〇平方メートル。

わたしぶね「渡し舟」かつて淀川の川向かいへ舟で渡っていた。昭和四八年に淀川新橋の完成に伴い廃止。佐太の渡し・七番の渡し・下嶋の渡しの三ヶ所があった。

わんど「湾処」淀川の両岸沿いにある浅い池。川とつながったものや切り離されたものがある。わんどにしかない水棲生物が多く棲息する。

おわりに

守口や守口の歴史について駒井先生や中島先生など「先生」と呼ばれている方々によって書かれた本は今までいくつかありますが、先生でも専門家でもない私達一般市民がコラム辞典という形で守口市を紹介した本はありません。このような形、このような試みは守口市どころか、日本でもおそらく初めてのことでしょう。

この試みが多くの人に読んでいただけるレベルの本として成り立つのかどうかということは、本の企画段階では実は非常に心配でしたが、コラムを担当したメンバーの守口を想う気持ち、当初の心配をあつという間に吹き飛ばしてくれました。

この本はもしかしたらコラムニスト達の守口市に対するラブレター集だったのかもしれません。今回は二八人が六五のラブレターを書きました。今回、そう今回です。これらのコラムを読んで「なんや、こんなんでええんやったらワシおもしろいネタ知ってんねんけどな」とか「私もいつべんコラムうちゅうの書いてみたいわあ」とか思われた方、手を上げて下さい。手を上げた方、次回はあなたの出番です。当然のことながら、この本はまだ守口市の一部を紹介したに過ぎません。できることなら第二版、第三版と版を重ねて百人、千人のラブレターをつくり、いつの日かそ

れが「守口よもやま大辞典」になることを夢んでいます。
 最後になりましたが、ご協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。中には
 ご協力いただきながら紙面の都合上、割愛させていただいたものもございます。ま
 た、誤字脱字は極力排除し、公正さを維持したつもりですが、叱咤いただくべき部
 分もあろうことと思ひます。この場をお借りしておわび申し上げます。

平成七年一月吉日

社団法人守口青年会議所

理事長	神原 由次	委員	奥山 享司	委員	高見 順子
担当副理事長	岡崎 隆彦	委員	國見 和史	委員	田中 丈平
まちづくり室長	末松 広之	委員	黒川 雅樹	委員	土川 純子
地域政策委員長	水谷 治人	委員	児玉 慶典	委員	福島 賢二
副委員長	辻本 卓郎	委員	佐藤 裕己	委員	満潮 功
副委員長	寺崎 正也	委員	鮫島 勝治	委員	南元 俊明
副委員長	中島 淳	委員	渡邊 祐嗣	委員	美濃 学
		委員	下川 欣一		

参考文献（順不同）

- 幣原喜重郎『外交五十年』中央公論社
『日本百科大事典』小学館
『ふる里守口を訪ねて』守口市
『守口市史』守口市
『大阪百景』大阪新聞社
『守口市統計書』守口市
中島三佳『東海道五十七次一京街道四宿一』
『日本地名大辞典』角川書店
『淀川の自然』大阪市立自然史博物館友の会
五嶋節『雨の歌』ワニブックス
『鉄道ピクトリアル』鉄道図書刊行会
『京阪電車・車両七〇年』京阪電気鉄道株式会社
『大百科事典』平凡社
『週間ダイヤモンド第八三巻』ダイヤモンド社
『関西病院ランキング（別冊宝島）』宝島社
『もりぐち探検マップ』守口市教育委員会
『もりぐち市政の概要』守口市議会事務局
『広報もりぐち』守口市市長室広報
『QA』平凡社
国連大学「ゼロエミッション」研究構想
後藤清一『こけたら立ちなはれ』PHP文庫
『よくわかる家電業界』日本実業出版社
中島誠『司馬遼太郎がゆく』第三文明社
江戸川乱歩『D坂の殺人事件』
『新潮日本文学アルバム・江戸川乱歩』新潮社
『郷土史守口というところ』守口史談会
『グランド現代百科事典』学研

わたしの街の“暮らすメイド”



FM MORIGUCHI CO.,LTD.



COLUMN DE MORIGUCHI